

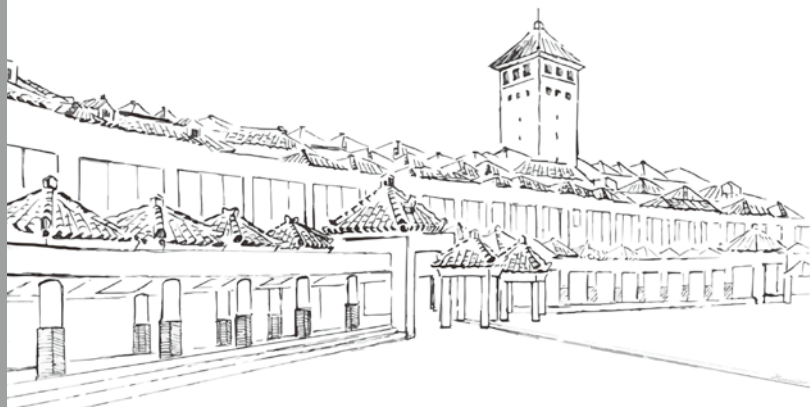


令和7(2025)年度

沖縄県平和祈念資料館年報 第26号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum



沖縄県平和祈念資料館 設立理念

1945年3月末、史上まれにみる激烈な戦火がこの島々に襲ってきました。90日におよぶ鉄の暴風は島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し、20数万の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。

沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることにあり、その数は10数万におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追いつめられて自ら命を断たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像を絶する極限状況の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかってきた沖縄のこころの原点であります。

“沖縄のこころ”とは人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。私たちは戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立いたします。

1975年(2000年4月1日一部修正) 沖縄県

表紙：令和7(2025)年度 第35回児童・生徒の平和メッセージ

図画部門：特別支援学校・学級の部

最優秀賞：「平和が続きますように」

平和が続くようにと願いを込めて描きました。
戦争の様子と平和の鳩を描きました。

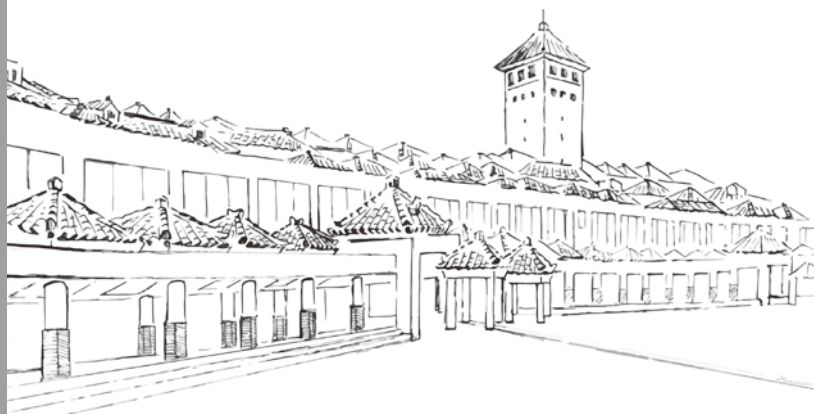
図画／那覇市立金城小学校6年 村田 蒼真

令和7(2025)年度

沖縄県平和祈念資料館年報 第26号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum



は じ め に

沖縄県平和祈念資料館では、開館以来、沖縄戦の歴史的体験等により培われた平和を希求する「沖縄のこころ」を国内外に広く発信し、世界の恒久平和の実現に寄与するため、展示企画事業や資料収集・活用事業、教育普及事業等に取り組んでまいりました。お陰をもちまして、令和8年2月には来館者900万人を達成したところです。

史上まれに見る苛烈を極めた沖縄戦から80年の節目となった令和7年度は、祈念事業として「島々の沖縄戦」と銘打ち、座間味村阿嘉島、伊江島、宮古島、石垣島、与那国島の5か所で巡回展を開催しました。各地域で諸相が異なる沖縄戦の実相は、私たちが未来へ受け継ぐべき記憶であり、当館への来館が難しい離島在住者等を対象に、沖縄戦について再認識し、改めて平和への思いを深める機会の創出を図るものとなりました。

戦争体験者の減少に伴い、沖縄戦の歴史的教訓の次世代への継承が課題となる中、記憶の継承に際し「人からモノへ」、その活用の重要性が増しています。このような中、ギャラリー展「ー建設30年ー平和の礎が伝えてきたもの」を開催しました。平和の礎は、建設から30年の時を経て、今後何を伝えていくことができるのか。本展では、平和の礎の基本理念等を紹介するとともに、刻銘者やその家族のライフストーリー等を展示し、沖縄戦の歴史や戦禍に生きた人々の思いを自分事として捉え、学び直す機会としました。

令和6年度に開設した「沖縄戦の語り継ぎ手養成講座」は2回目を迎え、沖縄本島と石垣島の2か所で実施し、37名の修了者を認定しました。修了された方々は、戦争体験者の証言に加え、戦争遺跡の活用等、伝達手法の効果的な転換を図りながら、教育現場等での平和学習や、国内外からの観光客の方々に対し、沖縄戦の実相を伝え、生命と平和を何よりも大切に「沖縄のこころ」を発信し続けてほしいと切に願っています。

国内外の平和関連施設とのネットワークも進展しており、当館と東アジアの平和関連施設が2012年に締結した「東アジア民主平和人権ネットワーク」の覚書に基づき、台湾二二八国家祈念館及び済州4.3平和財団（平和祈念館）との相互展が当館及び両館において開催されました。県内においても、8つの平和関連施設による「沖縄・平和と人権博物館ネットワーク」が構築され、シンポジウムや8館を巡るスタンプラリーツアーが開催されるなど、県内はもとより

国内外の類似施設との連携が図られつつあります。（※相互展、シンポジウム、スタンプラリーツアーについては沖縄県知事公室平和・地域外交推進課所管事業として実施されました。）

当館においても、アジア諸国・地域の戦争等経験国・地域の若者と、沖縄、広島、長崎の若者が沖縄で1週間の共同学習を行い、共通理解を深めることで、アジア・太平洋地域の安定と平和構築を目指す「『平和への思い』発信・交流・継承事業」を実施し、国際平和の実現に資する次世代ネットワークの構築に取り組みました。

「第35回児童・生徒の平和メッセージ事業」においては、県内78校から、1,976点の作品が寄せられ、図画・作文・詩の3部門から214点の優れた作品を選定し、優秀賞以上の41点について、県内5会場で巡回展を開催しました。児童生徒の作品には、家族の大切さや命の尊さ、そして、何より二度と戦争は繰り返さない、平和な未来を創っていくという強い気持ちが表現されており、これらの作品は、県内外へ広く発信されています。

子ども・プロセス企画展では、「捕虜になった時ー多くの命を救った決断ー」、「チャレンジ!夏休み自由研究ー沖縄戦について調べてみよう!!ー」、「民間人収容所と捕虜収容所」など、子ども達の平和学習に対する興味・関心を引き出すような企画展を開催しました。

八重山平和祈念館における企画展では、本館ギャラリー展との合同展「ー建設30年ー平和の礎が伝えてきたもの」や、公益財団法人沖縄県女師・一高女ひめゆり平和祈念財団との共催移動展「ひめゆりと八重山」を開催したほか、単独企画展「移民と八重山ーなぜ人びとは八重山へ渡ってきたのかー」においても、外部団体との共催により関連ワークショップを実施するなど、関係団体と連携し、館内外の知識やノウハウ等を活用した展示活動を行いました。

当館及び八重山平和祈念館は、「沖縄戦」の実相を通して世界の平和について考える“学びの場”として、今後とも多くの皆さまに利活用して頂きたいと考えています。

活動状況をまとめた本冊子を広くご活用いただければ幸いです。

令和8年8月

沖縄県平和祈念資料館
館長 大城 友恵

目 次

沖縄県平和祈念資料館設立理念
はじめに

I 概要

1	沿革	1
2	施設	8
3	組織	11
4	令和7年度歳入歳出決算（本館及び分館）	17
5	沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会	18
6	施設の改修等の状況	20
7	令和7年度に来館された方々	22

II 調査研究事業

1	第32回日本平和博物館会議	23
---	---------------	----

III 展示企画事業

1	常設展	24
2	企画展	26
(1)	子ども・プロセス企画展	26
(2)	ギャラリー展「建設30年 平和の礎が伝えてきたもの」	28

IV 資料収集・活用事業

1	新収蔵品目録	29
(1)	実物資料	29
(2)	図書資料	29
(3)	購入図書一覧	36
2	資料貸出実績	37
(1)	資料の貸出	37
(2)	証言映像の貸出	40
3	撮影・掲載等利用／特別利用一覧	41

V 教育普及事業

1	教育普及事業	44
(1)	第35回「児童・生徒の平和メッセージ展」	44
(2)	「こどもの日」ビデオ上映会	47
(3)	「慰霊の日」沖縄戦関連ビデオ上映会	47
(4)	夏休み子ども向け企画	47
2	教育機関等との連携	48
(1)	平和講話	48
(2)	離島・遠隔地講師派遣事業	48
(3)	児童・生徒の職場体験（インターンシップ）の受け入れ	48
(4)	沖縄少年院連携事業	48
(5)	大学連携事業	49
(6)	博物館学芸員実習の受け入れ	49
(7)	大人のための平和学習	49
3	講座・講習会・研修会	50
(1)	沖縄県平和祈念資料館利用案内説明会	50
(2)	県立学校初任者研修	50
(3)	養護教諭初任者研修	50
(4)	島尻教育事務所中堅教諭等資質向上研修	51
(5)	幼稚園・幼保連携型認定こども園初任者研修	51
(6)	島尻教育事務所初任者研修	51
(7)	那覇教育事務所初任者研修	51

(8) 学校栄養職員初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修	52
(9) JICA 課題別研修	52
(10) JICA 日系社会研修	52
(11) JICA 国別研修	52
(12) 沖縄県平和祈念資料館講習会	53

VI 広報活動・出版物等

刊行物	54
-----	----

VII 展示更新事業

1 沖縄県平和祈念資料館展示更新事業 実績	55
2 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会	55
(1) 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会名簿	55
(2) 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会経過	55

VIII その他の事業

1 証言映像収録・編集・発信事業（沖縄平和啓発プロモーション事業）	57
2 「平和への思い（ウムイ）」発信・交流・継承事業（沖縄平和啓発プロモーション事業）	59
3 沖縄戦の語り継ぎ手養成事業（沖縄平和啓発プロモーション事業）	61
4 平和発信・継承活動強化事業（戦後80年平和祈念巡回展「島々の沖縄戦」）	62

IX 沖縄県平和祈念資料館（本館）入館者状況

1 月別入館者数	63
2 年度別入館者数	64
3 月別県内・県外学校、その他団体見学者（小人）観覧状況	65
4 市町村別団体入館者数	66
5 都道府県別団体入館者数	67
6 県内小・中・高校の地区別入館状況	68
7 県外修学旅行団の地方別入館状況	69
8 月別入館者数	70
9 展示案内対応一覧	71

X 八重山平和祈念館（分館）

1 概要	72
2 施設	74
3 事業概要	76
(1) 展示活動	76
(2) 平和教育活動	78
(3) 調査研究活動	79
(4) 共催事業	80
4 月別入館者数	81

XI 沖縄県平和祈念資料館友の会

1 活動紹介	82
2 講話・ガイド活動状況	82
3 活動内容	82

XII 関係条例・規則・要綱

1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例	85
2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則	89
3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱	112
4 沖縄県平和祈念資料館資料貸出要項	113
5 沖縄県平和祈念資料館保管資料の特別利用許可要項	120
6 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会設置要綱	125

XIII 沖縄県立平和祈念資料館(旧館)年度別入館状況

	127
--	-----

I 概要

1 沿革

[沖縄県立平和祈念資料館] (旧館)

1972(昭和 47) 年沖縄県援護課を主管に資料館構想がつくられ、1974(昭和 49) 年に鉄筋コンクリート 2 階建て(延床面積 1,003㎡) の館落成。管理運営を財団法人沖縄県戦没者慰霊奉賛会に委託して 1975(昭和 50) 年 6 月 11 日に開館した。以来、沖縄戦について学び、平和について考える施設として活動を続ける。2000(平成 12) 年 3 月 31 日に閉館。

[沖縄県平和祈念資料館] (新館)

旧資料館の「設立理念」と「展示むすびのことば」の精神を継承し、平和の創造と人類の恒久平和に寄与する拠点的な施設として移転改築した。2000(平成 12) 年 3 月 29 日に開館記念式典が挙行され、4 月 1 日に開館。

[歴代館長]

外 間 盛 治	2000(平成 12) 年 4 月～ 2002(平成 14) 年 3 月
阿波根 昌 安	2002(平成 14) 年 4 月～ 2003(平成 15) 年 3 月
島 袋 記美子	2003(平成 15) 年 4 月～ 2005(平成 17) 年 3 月
川 満 茂 雄	2005(平成 17) 年 4 月～ 2007(平成 19) 年 3 月
宮 城 智 子	2007(平成 19) 年 4 月～ 2009(平成 21) 年 3 月
大 川 芳 子	2009(平成 21) 年 4 月～ 2011(平成 23) 年 3 月
呉 屋 禮 子	2011(平成 23) 年 4 月～ 2013(平成 25) 年 3 月
上與那原美和子	2013(平成 25) 年 4 月～ 2014(平成 26) 年 3 月
國 仲 功	2014(平成 26) 年 4 月～ 2016(平成 28) 年 3 月
原 田 直 美	2016(平成 28) 年 4 月～ 2019(平成 31) 年 3 月
外 間 裕 朋	2019(平成 31) 年 4 月～ 2021(令和 3) 年 3 月
雉 鼻 章 郎	2021(令和 3) 年 4 月～ 2022(令和 4) 年 3 月
前 川 早由利	2022(令和 4) 年 4 月～ 2025(令和 7) 年 3 月
大 城 友 恵	2025(令和 7) 年 4 月～

[主な事項]

1993(平成 5) 年度	12 月 7 日 「平和祈念資料館移転改築事業」 基本計画及び展示基本設計調査業務委託契約を沖縄県平和祈念資料館移転改築事業・基本計画及び展示設計調査業務共同企業体(商工美術(株)(株)沖縄ノムラ)と締結する。 1 月 31 日 第 1 回「平和祈念資料館移転改築事業」推進検討委員会開催
1994(平成 6) 年度	10 月 12 日 第 1 回「平和祈念資料館移転改築基本計画」検討委員会開催
1995(平成 7) 年度	3 月 28 日 沖縄県平和祈念資料館(仮称)設計プロポーザル・エスキス競技最優秀賞 team DREAM に決定
1996(平成 8) 年度	6 月 25 日 沖縄県平和祈念資料館(仮称)展示設計プロポーザル競技により(株)乃村工藝社を設計者に選定 9 月 26 日 第 1 回沖縄県平和祈念資料館(仮称)監修委員会開催

1997(平成9)年度	10月21日 県議会：建設工事請負契約議決 10月22日 沖縄県平和祈念資料館（仮称）建設工事着工 12月22日 県議会：展示製作委託業務契約議決 3月17日 沖縄県平和祈念資料館（仮称）・資料収集広報キャンペーンを開催（巡回展、講演会）
1999(平成11)年度	6月30日 沖縄県平和祈念資料館（仮称）建設工事完了 3月29日 沖縄県平和祈念資料館 開館記念式典・内覧会挙行 3月30日 沖縄県平和祈念資料館監修委員会（最終）開催 3月31日 沖縄県立平和祈念資料館（旧資料館）閉館
2000(平成12)年度	4月1日 開館（一般公開始まる） 5月28日 入館者 10 万人達成 7月14日 「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」開催 主催：広島市、長崎市（～ 27 日） 7月21日 九州・沖縄サミット首脳会合沖縄開催（～ 23 日） アメリカ大統領「平和の礎」訪問 3月23日 『沖縄県平和祈念資料館総合案内』発刊 3月30日 『資料館学習の手引き』発刊
2001(平成13)年度	4月25日 入館者 50 万人達成
2002(平成14)年度	10月18日 入館者 100 万人達成
2003(平成15)年度	12月11日 入館者 150 万人達成 1月10日 「ピース&ヒューマンライツフェスティバル」開催
2004(平成16)年度	7月24日 第1回ボランティア養成講座開始（～ 12 月 18 日）平成 18 年度まで 1月29日 沖縄県平和祈念資料館友の会発足
2005(平成17)年度	4月7日 入館者 200 万人達成
2006(平成18)年度	4月12日 沖縄県新採用職員研修 6月1日 入館者 250 万人達成
2007(平成19)年度	6月21日 ミュージアムショップ開店（運営：沖縄県平和祈念財団） 7月6日 入館者 300 万人達成
2008(平成20)年度	4月23日 八重山平和祈念館の正面展示パネル刷新 10月9日 入館者 350 万人達成

- 2009(平成21)年度 5月19日 「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」事業（～2012年3月）
 11月18日 入館者 400 万人達成
 12月22日 常設展示のキャプション整備（英文表記追加）
 12月23日 常設展示室等映像機器等入れ替え（～3月31日）
 1月25日 特別収蔵庫空調機修繕入れ替え（～3月19日）
- 2010(平成22)年度 4月1日 収蔵品等整理業務委託（～H24年3月31日）
 7月15日 ピースメモリアルグッズ開発事業委託（～H24年3月31日）
 7月28日 皇太子行啓
 10月10日 沖縄県平和祈念資料館ジュニア版ガイドブック発刊
 10月30日 『詩集 写真の中の少年』を刊行
 2月3日 入館者 450 万人達成
- 2011(平成23)年度 10月20日 人数カウンター設置工事開始（～10月30日）
 3月6日 ノーベル科学賞受賞者鈴木章氏来館
 3月7日 合同企画展「2つの平和博物館の平和創造展」カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館にて開催
- 2012(平成24)年度 5月17日 東アジア民主平和人権ネットワーク MOU（覚書）締結
 (1) 釜山民主抗争記念事業会、(2) 広島平和記念資料館
 (3) 済州4・3平和財団、(4) 韓国民主化運動記念事業会
 (5) 二二八事件記念基金会、(6) ノ・グンリ平和財団
 (7) 沖縄県平和祈念資料館、(8) 国家人権博物館準備室
 (9) 5・18 記念財団 ※アルファベット順
 5月28日 入館者 500 万人達成
 7月13日 「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」（～H24年3月27日）
 12月1日 沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業
 （～2015年3月）
- 2013(平成25)年度 10月29日 入館者 550 万人達成
 2月12日 キャロライン・ケネディ駐日アメリカ合衆国大使来館
- 2014(平成26)年度 2月7日 入館者 600 万人達成
- 2015(平成27)年度 10月10日 デービッド・イゲ ハワイ州知事来館
 10月16日 「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業
 JICA 理事長賞受賞
 3月1日 「沖縄のこころ」平和発信強化事業多言語タブレット等運用開始
- 2016(平成28)年度 6月15日 入館者 650 万人達成
 7月 沖縄・カンボジア「博物館から発信する平和教育普及プロジェクト」
 事業 ※ JICA 草の根技術協力事業（～2017年6月）

2017(平成29)年度	4月16日 喫茶室開店（運営：沖縄県平和祈念財団） 4月19日 李俊揆（イ ジュンギョ）駐日大韓民特命全権大使視察 11月9日 入館者 700 万人達成 11月13日 ウィリアム・F・ハガティ駐日アメリカ合衆国大使視察
2018(平成30)年度	6月22日 韓国済州島済州道立美術館のギム・シュンギ館長一行来館 7月20日 ハリール・アルムーサウイー駐日イラク大使視察
2019(令和元)年度	4月20日 入館者 750 万人達成 12月28日 マハティール・ビン・モハマド首相（マレーシア）視察
2020(令和2)年度	10月17日 戦の語り部功労者に対する感謝状贈呈式 12月10日 ミハイル Y. ガルージン 駐日ロシア連邦大使視察 3月31日 ミュージアムショップ閉店
2021(令和3)年度	7月29日 駐日米国大使館キャロリン・グラスマン広報・文化交流担当公使視察 3月31日 喫茶室閉店
2022(令和4)年度	4月27日 ラーム・エマニュエル駐日米国大使来館 7月20日 入館者 800 万人達成 9月23日 インガ M.W. ニーハマル駐日ノルウェー大使来館 10月22日 天皇・皇后陛下行幸啓 12月1日 館内工事のため休館（～4月30日まで）
2023(令和5)年度	5月1日 館内工事終了につき開館 6月18日 キム・ヒヒョン済州特別自治直副知事来館 6月23日 韓国済州4・3平和財団コ・フェボム理事長来館 8月27日 高円宮妃殿下来館 10月27日 ミレーン・デ・ホヤ・ガルシアーアルバノ駐日フィリピン大使来館 11月5日 カンボジアCMACヘン・ラタナ長官来館 12月5日 ペドロ・オイアルサバル博士（バスク研究者）来館

- 2024(令和6)年度
- 5月21日 乃村工藝社と「令和6年度沖縄県平和祈念資料館展示更新基本構想・基本計画策定業務委託」契約締結（企画提案）
 - 6月13日 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会による検討開始
 - 6月23日 金鍾旻（キム・ジョンミン）済州4・3平和財団理事長来館
 - 7月16日 ウォン・スンソク5・18記念財団理事長来館
 - 9月9日 入館者850万人達成
 - 11月15日 呉怜勲（オ・ヨンフン）済州特別自治道知事来館
 - 1月16日 沖縄県平和祈念資料館及び八重山平和祈念館展示更新基本構想策定
 - 2月9日 沖縄・平和と人権博物館ネットワーク加盟
 (1) 沖縄愛楽園、(2) スチドゥタカラの家、(3) 佐喜眞美術館
 (4) 不屈館、(5) 対馬丸記念館、(6) ひめゆり平和祈念資料館
 (7) 沖縄県平和祈念資料館、(8) 南風原文化センター
- 2025(令和7)年度
- 4月24日 ジョージ・グラス駐日米国大使来館
 - 6月1日 八重山平和祈念館友の会発足
 - 6月4日 行幸啓
 - 6月23日 中満泉 国際連合事務次長、田中重光 日本原水爆被害者団体協議会代表委員、金鍾旻（キム・ジョンミン）済州4・3平和財団理事長来館
 - 9月3日 乃村工藝社と「令和7年度沖縄県平和祈念資料館展示更新基本設計業務委託」契約締結（企画提案）
 - 9月28日 金愛淑（キム・エスク）済州特別自治道政務副知事来館
 - 9月30日 蔡韵（ツァイ・イン）氏（子ども・プロセス展示室の「世界の子ども」コーナーで紹介されている方）来館
 - 10月6日 沖縄県平和祈念資料館及び八重山平和祈念館展示更新基本計画策定
 - 12月25日 「沖縄のこころ」平和発信強化事業多言語タブレット等運用停止（経年劣化によるバッテリー膨張）
 - 1月22日 蘭士博 財団法人二二八事件記念基金会執行長来館、台湾228事件特別展「歴史の残響 記憶の叫び」（平和・地域外交推進課所管事業、3月13日まで）
 - 2月25日 入館者900万人達成
 - 3月25日 林文喆（イム・ムンチョル）済州4・3平和財団理事長来館
 - 3月26日 済州4・3事件特別展「椿の花として咲く、済州4・3」（平和・地域外交推進課所管事業、5月26日まで）

【主な企画展等、その他催し】

2000(平成12)年度	企画展「寄贈・寄託展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展
2001(平成13)年度	特別企画展「収蔵品展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会(2回)
2002(平成14)年度	企画展「占領下のこども文化展」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
2003(平成15)年度	企画展「銃後を護れー戦時下のくらしと情報統制ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
2004(平成16)年度	特別企画展「寄贈・寄託品展ー語りかける歴史の証言者たちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
2005(平成17)年度	特別企画展「沖縄戦と疎開ー引き裂かれた戦時下の家族ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(3回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
2006(平成18)年度	特別企画展「沖縄戦における住民動員ー戦時下の根こそぎ動員と失われた明日ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
2007(平成19)年度	特別企画展「沖縄戦と戦争遺跡ー戦世(イクサー)の真実を伝えるためにー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座(2回)
2008(平成20)年度	特別企画展「カンポヌクェヌクサーー沖縄戦後混乱から復興へー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座、新収蔵品展
2009(平成21)年度	特別企画展「イクサユヌワラビー戦時下の教育と子どもたちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「ひびけ!! 平和創造のうた」、新収蔵品展
2010(平成22)年度	特別企画展『「沖縄のこころを世界へ」ー過去をつたえ、現在をみつめ、未来をひらくー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「平和音楽祭 2010」(20回)、新収蔵品展、「平和教育の公開授業とパネルディスカッション」、「『NAHA マラソンの道』ー走る道、逃げる道ー」展、「子ども・未来・メッセージ展」(台湾・沖縄交流事業)
2011(平成23)年度	特別企画展『「アメリカ世(ユー)の沖縄」ー逞しくしたたかに生きてきたウチナンチューー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、新収蔵品展、大城弘明写真展「沖縄・終わらない戦後」
2012(平成24)年度	特別企画展『沖縄人が見た戦世とアメリカ世』児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「絵本が語りつぐ戦世」展

2013(平成25)年度	特別企画展『ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座「ハワイ日系二世兵が見た戦争と沖縄」、新収蔵品展、「カンボジア光と影Ⅱ」展
2014(平成26)年度	特別企画展『南洋の群星が見た理想郷と戦』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座「日系二世ウチナーンチュが見た戦中・戦後」、「平成26年度子や孫につなぐ平和のウミイ事業成果」報告展、企画展「絵本原画展及びオーサーストーク」「日系米国人版戦争体験収録事業」報告展、「カンボジア光と影Ⅲ」展
2015(平成27)年度	特別企画展『ウチナーンチュが見た 戦前・戦時下の台湾・フィリピン』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄戦講座「東アジアの歴史と展望」、沖縄県平和祈念資料館講習会、企画展「戦時中の手紙・手記から見る家族の絆」展、企画展「新収蔵品展(平成25年度・26年度寄贈)」、日本平和博物館会議「戦後70年共同展示」巡回展、沖縄県博物館協会総会・春の研修会、全県高等学校生徒代表者会議
2016(平成28)年度	特別企画展『ウチナーンチュが見た満洲～『旧満州国』・『偽満洲国』～』、児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所、国外1カ所)、子ども・プロセス企画展(5回)、特別講座「“回想”～遙かなる大地、満洲～」、沖縄県平和祈念資料館講習会
2017(平成29)年度	特別企画展『戦世と沖縄芝居 ～夢に見る沖縄 元姿やしが～』、児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所、国外1カ所)、特別講座「戦世と沖縄文化－文化財と芝居の視点から－」、企画展「新収蔵品展(平成27年度・28年度寄贈)」、新企画展「ギャラリー展」(5回)、子ども・プロセス企画展(5回) 沖縄県平和祈念資料館講習会、第24回日本平和博物館会議(当館開催)
2018(平成30)年度	特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」、児童・生徒の平和メッセージ展(県内4カ所、国外1カ所)、特別講座「沖縄戦の教訓をどのように伝え、平和の創造へ繋げていくのか」、新企画展「ギャラリー展」(4回)、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
2019(令和元)年度	特別展「武田美通・鉄の造形30作品展 戦死者たちからのメッセージ」、児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所)、ギャラリー展(4回)、子ども・プロセス企画展(4回)
2020(令和2)年度	戦後75年事業「戦の語り部功労者感謝状贈呈式及びパネル展」、特別展「戦時中の少女たちがつづった『学級日誌』～滋賀県瀬田国民学校五年智組～1944-1945」、児童・生徒の平和メッセージ展(県内3カ所)、ギャラリー展(4回)、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
2021(令和3)年度	特別展「戦時体制下の国民の生活」～制限下の庶民の暮らし～、企画展「新収蔵品展(令和元年度・2年度寄贈)」、児童・生徒の平和メッセージ展(県内4カ所)、ギャラリー展(3回)、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
2022(令和4)年度	特別企画展「アメリカ世の記憶 ～日本復帰50周年記念企画展～」、特別講座「島ぐるみ闘争から復帰まで」、児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所)、ギャラリー展(2回)、子ども・プロセス企画展(3回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
2023(令和5)年度	特別企画展「沖縄島北部の戦争遺跡・跡地」、企画展「新収蔵品展(令和3年度・4年度寄贈)」、児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所)、ギャラリー展(2回)、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会

- 2024(令和6)年度 企画展「新収蔵品展(令和3年度・4年度寄贈)」、企画展「第32軍司令部壕模型展」、児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所)、ギャラリー展(1回)、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2025(令和7)年度 ギャラリー展「ー建設30年ー平和の礎が伝えてきたもの」、児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所)、戦後80年祈念巡回展「島々の沖縄戦」(会場:阿嘉島、伊江島、宮古島、与那国島、石垣島)、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄県平和祈念資料館講習会

2 施 設

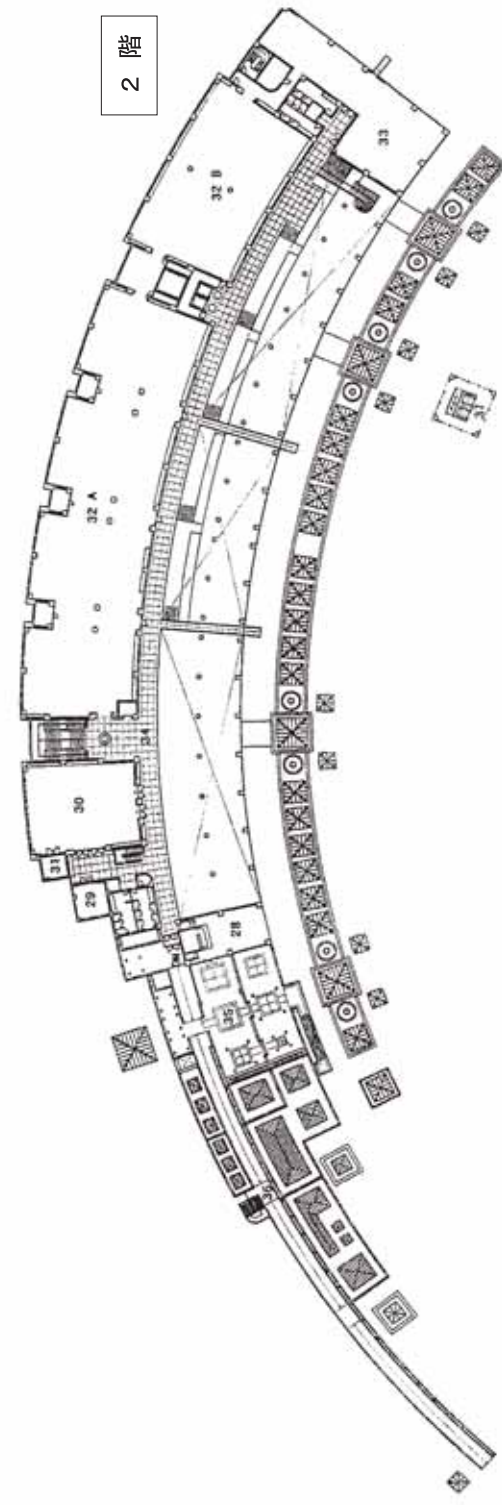
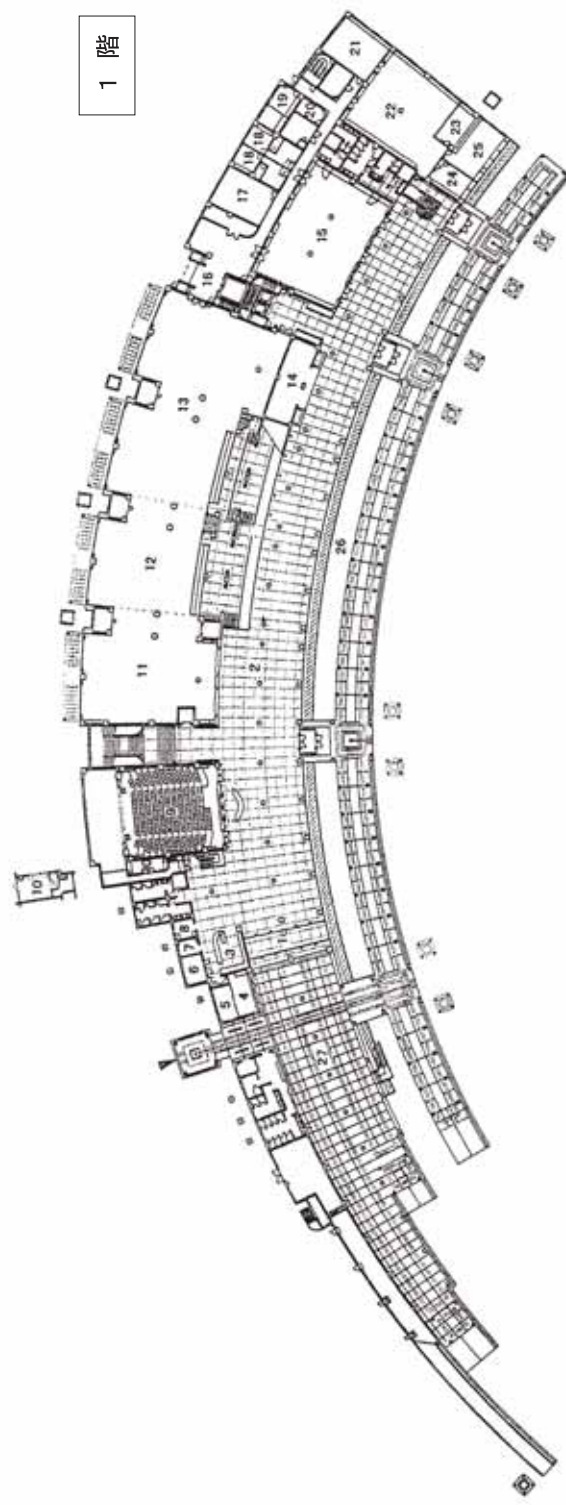
(1) 平和祈念資料館の役割

- ア 全戦没者への追悼と恒久平和の祈念
沖縄戦の実相と教訓を継承し、沖縄戦で亡くなられた20万余の国内外のすべての人々に追悼の意を表すとともに、世界の恒久平和を祈念する場とする。
- イ 平和の発信と創造
沖縄の先達から受け継いだ「沖縄のこころ」を原点に、県民が主体的かつ積極的に平和の創造に関わり、平和を発信する拠点施設とする。
- ウ 平和教育、平和交流及び人材育成
平和を求める人々の積極的な参加と交流を促進する各種の平和教育、平和交流等の活動を展開する。また、平和学習等に必要の人材育成を支援する。
- エ 平和のネットワークの構築
平和をテーマとした内外の関連施設を中核として、学校、図書館等の公共の施設等と平和ネットワークを構築し、情報交換や平和研究等の人的交流を促進し、平和活動を支援する。
- オ 平和のデータベースと調査研究
沖縄戦や平和に関する資料・情報及び調査研究の成果等をデータベースとして構築し、県民をはじめ、広く内外に提供するとともに、展示や事業活動を展開するための調査研究を実施するなど平和活動等に寄与する。

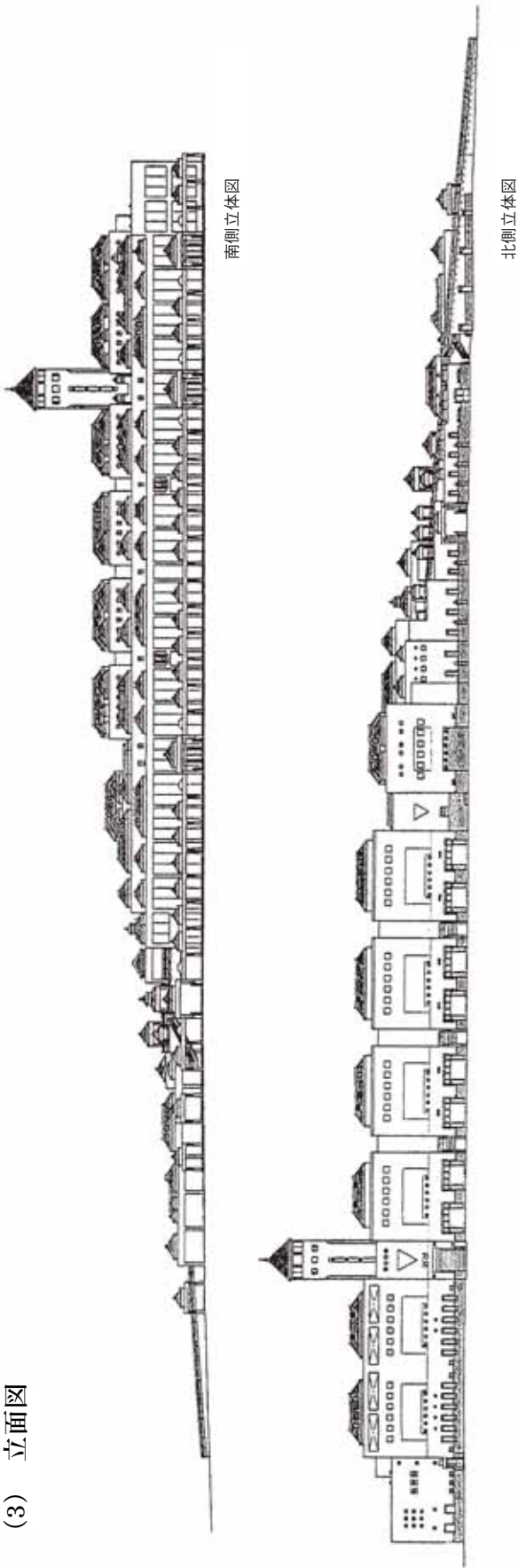
(2) 建設概要

- ア 事業期間 平成5年度～平成11年度
- イ 事業規模 地下1階地上2階 RC造り
敷地面積 約12,808平方メートル
延床面積 10,179平方メートル
- ウ 総事業費 約7,291百万円(県債6,510、施設整備基金139、一般642)
- | | | |
|--------|-------|-----|
| 工 事 費 | 4,900 | 百万円 |
| 設 計 費 | 155 | 〃 |
| 展示工事費 | 1,535 | 〃 |
| 展示設計費 | 126 | 〃 |
| 情報システム | 171 | 〃 |
| そ の 他 | 404 | 〃 |
- エ 主な施設
- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 常設展示室(1～5室) | 1,360 | 平方メートル |
| 企画展示室 | 255 | 〃 |
| 子ども・プロセス展示室 | 518 | 〃 |
| 情報ライブラリー | 472 | 〃 |
| 平和祈念ホール | 245 | 〃 |
| 海と礎の回廊 | 256 | 〃 |
| 会 議 室 | 200 | 〃 |
| 一般収蔵庫 | 1,201(1階、2階) | 〃 |
| 特別収蔵庫 | 281(1階、2階) | 〃 |

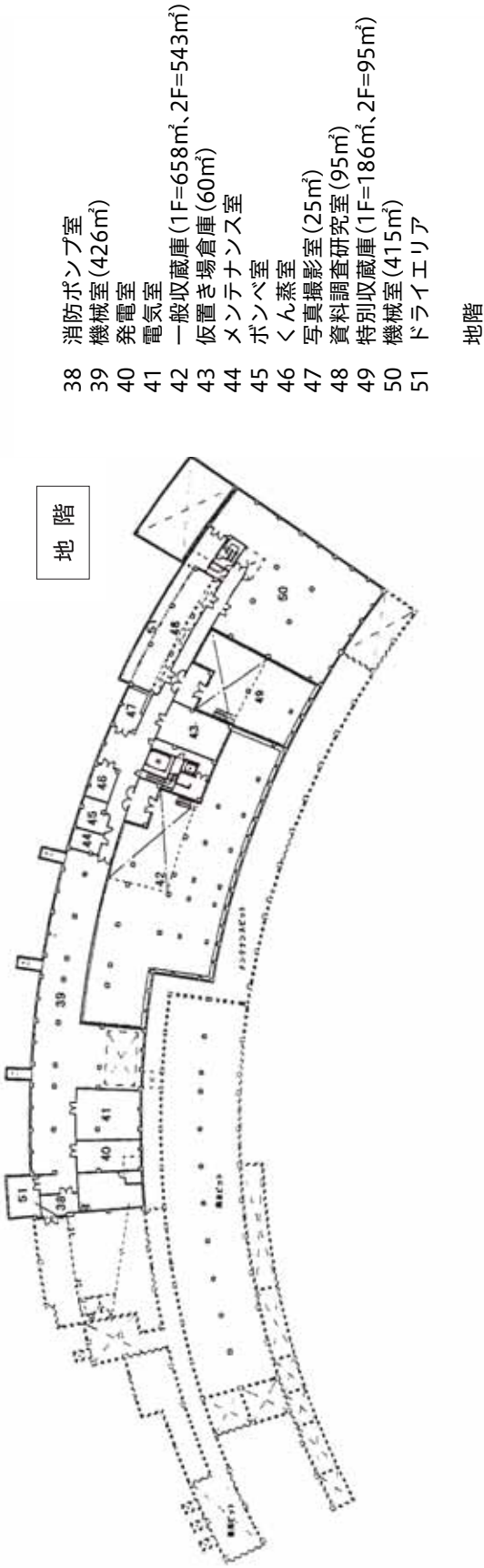
- 1 エントランス
 - 2 ホール(1510㎡)
 - 3 (調整中:旧ミュージアムショップ)(28㎡)
 - 4 事務スペース・倉庫
 - 5 ボランティア室
 - 6 授乳・救護室
 - 7 自販機室
 - 8 ロッカー・自販機室
 - 9 平和祈念ホール(245㎡・231席)
 - 10 楽屋・調整室
 - 11 子供展示室(285㎡)
 - 12 プロセス展示室(233㎡)
 - 13 情報ライブラリー(472㎡)
 - 14 クイズコーナー
 - 15 企画展示室(255㎡)
 - 16 荷置き室
 - 17 情報処理室(49㎡)
 - 18 職員休憩室
 - 19 守衛室
 - 20 給湯室
 - 21 事務会議室(52㎡)
 - 22 事務室(158㎡)
 - 23 小会議室
 - 24 館長室
 - 25 応接室
 - 26 中庭
 - 27 ピロティー
-
- 1階
 - 28 喫茶室(86㎡)
 - 29 事務スペース・倉庫
 - 30 会議研修室(200㎡・100席)
 - 31 調整室
 - 32 A常設展示室 1~4(957㎡)
 - 32 B常設展示室 5(403㎡)
 - 33 海と礎の回廊(256㎡)
 - 34 ギャラリー(373㎡)
 - 35 テラス
 - 36 外部スロープ
 - 37 展望室
 - 2階



(3) 立面図

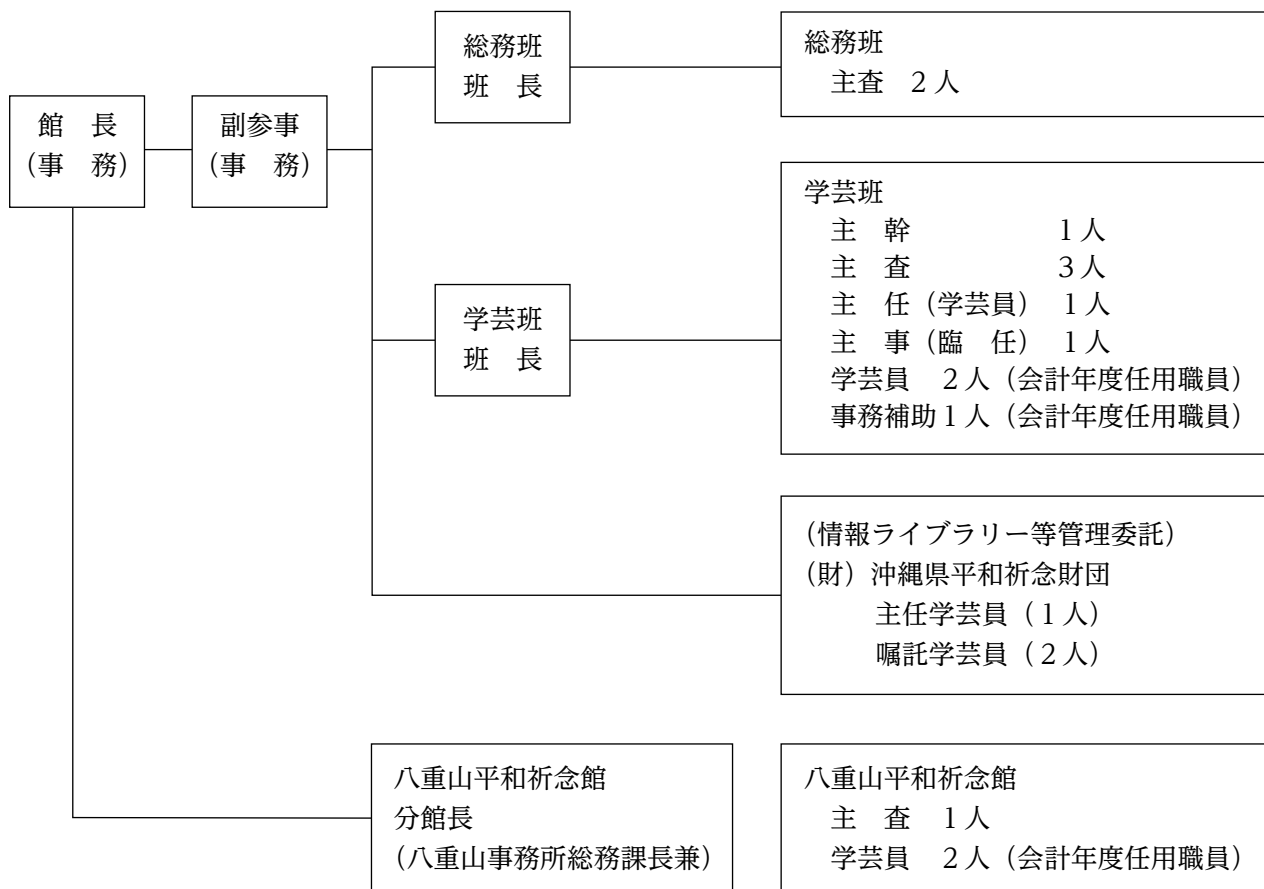


(4) 平面図



3 組 織

(1) 機構（令和7年4月1日現在）



*その他ビル管理会社の常駐委託職員

受付 (3人)、警備 (2人)、清掃 (2人)、機械設備管理 (1人)

(2) 職員構成（令和7年4月1日現在）

職 名	氏 名	担 当 業 務
館 長	大城 友恵	資料館業務の総理に関すること
副参事	平良 智子	展示リニューアルの総括に関する事項

総 務 班

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職 名	氏 名	担 当 業 務
班 長	與儀 桂 (出納員)	総務班業務の総括に関する事項 出納員に関する事項 平和祈念資料館中長期計画の進捗に関する事項 予算、決算、監査の総括に関すること 人事、組織・定数に関すること 財産管理の総括に関する事項（財産の維持、保全補修等管理全般、金庫の鍵、公印保管等） 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 労働・安全衛生に関する事項 議会関係に関する事項 委託業者の監督調整等に関する対外的事項に関する事項 運営協議会に関する事項（公募に関する事項） 土日祝日勤務割り振りに関する事項 その他総務班に関する事項 その他特に上司の命ずる事項
主 査	志良堂 史	予算執行（旅費、役務費、使用料・賃借料、食糧費、委託料（新業務 OA 等））に関すること 旅費に関する事項（正） 会計年度任用職員の雇用手続き及び賃金支払に関する事項（正） 諸手当の認定、給与支払い事務に関する事項（正） 服務、出勤簿及び休暇台帳の整理、社会保険料・労働保険料に関すること 職員の福利厚生、健康・安全管理（健康診断・人間ドック）、共済組合・公務災害に関すること 運営協議会等に関する事項（開催の庶務的事項） 郵便切手の受払いに関する事項（正） 情報システム等機器のリース・運用に関する事項 システムの更新に関する事項（正） ホームページの更新（総務班関連）に関すること 文書の収受、発送、保管に関する事項 公印に関する事項（保管を除く）（正） 拾得物に関する事項 その他庶務会計に関する事項（共通） その他特に上司の命ずる事項
主 査	安里 綾香	予算執行（需要費（食糧費除く）、委託料（新業務 OA 等除く）、備品購入費、工事請負費）に関する事項 歳入事務（観覧料等）に関する事項 公有財産・備品等の事務に関すること 個別施設計画に関する事項（R8 改修工事含む） 公共施設マネジメント推進事業に関する事項 音響・映像機器（音声ガイダンス含む）の管理に関する事項 団体入館及び会議室予約に関する事項（サイネージへの入力業務含む） 電子申請予約への対応及び混雑予想の HP 掲載に関する事項（副） ホームページの更新（総務班関連）に関する事項（副） その他庶務・会計に関する事項（共通） 旅費に関する事項（副） 文書の収受、発送、保管に関すること（副） 公印に関する事項（保管を除く）（副） その他特に上司の命ずる事項

学芸班

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職 名	氏 名	担 当 業 務
班 長	中山 晋	学芸班業務の総括に関する事項 展示リニューアルの総括に関する事項 監修委員会（部会）の総括に関する事項 沖縄県平和祈念資料館中長期計画の更新に関する事項（学芸業務） 事業計画及び展示活動事業執行の統括に関する事項 予算・決算・議会対応の総括に関する事項 要人・議員団・その他公的研修等案内及び割り振り 質問照会の回答及び割り振りに関する事項 JICA、国外関係機関等との連携に関する事項 （主）運営協議会に関する事項 その他学芸業務に関する事項 その他上司の命ずる事項
主 幹	比嘉 栄司	（主）展示リニューアルに関する事項 （主）監修委員会（部会）の運営に関する事項 （主）平和博物館等の先進地視察・調査に関する事項 （副）展示リニューアルに係る予算に関する事項 （副）情報化推進に関する事項※主は総務班員 その他学芸業務に関する事項 その他上司の命ずる事項
主 査	嶺井 京子	（主）展示リニューアルに係る予算に関する事項 （副）展示リニューアルに関する事項 （副）監修委員会（部会）の運営に関する事項 （副）平和博物館等の先進地視察・調査に関する事項 （副）運営協議会に関する事項 その他学芸業務に関する事項 その他上司の命ずる事項
主 査	棚原 和宏	「平和への思い」発信・交流・継承事業に関する事項 沖縄戦の語り継ぎ手養成事業に関する事項 広報（ホームページの管理含む）に関する事項 少年院連携事業に関する事項 平和祈念資料館講習会に関する事項 友の会活動の支援・推進に関する事項 キャリア教育（職場体験・インターンシップ）に関する事項 常設展示室（第1・2室）の管理運営に関する事項 サイネージ、常設展示室タブレットの管理に関する事項 韓国済州（済州4・3平和財団含む）との交流に関する事項 （主）教育庁、県庁、JICA等研修の講師に関する事項 （副）児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項 （共）要人・議員団・その他公的研修等案内に関する事項 （共）平和講話に関する事項 （共）質問照会の回答に関する事項 （共）展示リニューアルに関する事項 その他学芸業務に関する事項 その他上司の命ずる事項

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 査	呉屋 広徳	「戦後の証言映像収録・公開事業」に関する事項 「年報」「資料館だより」の編集・発行に関する事項 収蔵資料・証言映像の貸出に関する事項 夏休み親子平和学習に関する事項 こどもの日・慰霊の日のアニメ上映会に関する事項 離島・遠隔地講師派遣事業に関する事項 常設展示室（第3・4室）の管理に関する事項 （主）児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項 （主）沖縄県平和祈念資料館利用案内説明会（学校向け） （主）大学との連携に関する事項 （副）教育庁、県庁、JICA等研修の講師に関する事項 （共）展示リニューアルに関する事項 （共）要人・議員団・その他公的研修等案内 （共）平和講話に関する事項 （共）質問照会の回答に関する事項 その他学芸業務に関する事項 その他上司の命ずる事項
主 任 (学芸員)	仲程 勝哉	展示リニューアルに係る実物資料選定に関する事項 寄贈資料の受理、整理保存に関する事項 展示物等の撮影許可・著作権申請等及びマニュアル作成に関する事項 学芸員実習生の受け入れ等に関する事項 収蔵資料の管理に関する事項 子ども平和展示室・情報ライブラリーの管理運営に関する事項 博物館会議関連に関する事項（日本平和博物館会議、沖縄県博物館協会、 沖縄県地域史協議会等） 燻蒸・消毒の実施に関する事項（令和7年度は収蔵庫） 収蔵品展に関する事項（※令和8年度実施予定。概ね3年に一度実施） 八重山平和祈念館との連携に関する事項 沖縄・平和と人権博物館ネットワークに関する事項 （主）平和発信・継承活動強化事業（戦後80年祈念事業）に関する事項 （共）展示リニューアルに関する事項 （共）要人・議員団・その他公的研修等案内 （共）平和講話に関する事項 （共）質問照会の回答に関する事項 その他学芸業務に関する事項 その他上司の命ずる事項
学芸員 (任期付)	大城 航 (R7.5.26～)	（主）展示リニューアルに係る資料作成に関する事項 （主）監修委員との連絡調整に関する事項 （主）大人のための平和学習に関する事項 （共）展示リニューアルに関する事項 （共）要人・議員団・その他公的研修等案内 （共）平和講話に関する事項 （共）質問照会の回答に関する事項 その他学芸業務に関する事項 その他上司の命ずる事項

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 事 (臨時的任用職員)	川満 彰	(主) 展示リニューアルに係る資料作成に関する事項 (主) 監修委員との連絡調整に関する事項 (副) 大学との連携に関する事項 (副) 大人のための平和学習に関する事項 (副) 平和発信・継承活動強化事業（戦後 80 年祈念事業）に関する事項 (共) 展示リニューアルに関する事項 (共) 要人・議員団・その他公的研修等案内 その他学芸業務に関する事項 その他上司の命ずる事項
学芸員 (会計年度任用職員)	大城 航 (～ R7.5.25) 仲本 和 佐々木拓二 (R7.6.18 ～)	資料・収蔵品の登録・整理・管理に関する事項 収蔵資料・証言映像の貸出の補助に関する事項 児童・生徒の平和メッセージ事業の補助に関する事項 展示リニューアルに係る実物資料選定の補助に関する事項 質問照会の回答に関する事項 ホームページの更新に関する事項 ギャラリー展に関する事項 観覧者アンケート統計、分析、月ごとの総括に関する事項 千羽鶴の受理に関する事項 館内事業案内掲示など広報等に関する事項 電話・来客対応等 沖縄戦、平和教育に関わる記事の整理・保存等に関する事項 県内小中高校生への平和講話等の対応に関する事項 (共) 展示リニューアルに関する事項 (共) 平和講話に関する事項 その他学芸業務に関する事項 その他上司の命ずる事項
事務補助 (会計年度任用職員)	糸満 祐香	電話・来客対応等 展示活動、資料発送等に関わる事項 沖縄戦、平和教育に関わる記事の整理・保存等に関する事項 団体入館（電子申請予約含む）対応及び会議室予約に関する補助業務 その他学芸業務に関する事項 その他上司の命ずる事項

委 託（沖縄県平和祈念財団）

職 名	氏 名	担 当 業 務
主任学芸員	平田 守	施設の設備の管理 施設の図書資料等の管理 子ども・プロセス企画展の開催 施設の利用促進 沖縄戦に関するレファレンス業務 資料館が企画する講演会・講習会等の講師 特別企画展に関する事項全般への指導助言 収蔵資料の登録、整理に関する指導助言 展示リニューアルに関する事項（共） その他上司の命ずる事項（共）
嘱託学芸員	神尾 史扇 仲地 華	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の管理に関する事項 収蔵資料の整理に関する事項 その他上司の命ずる事項（共）

八重山平和祈念館

職 名	氏 名	担 当 業 務
分 館 長	親 盛 剛	分館の事務を処理し、所属職員を指揮監督すること
主 査	上原 峻斗	館の施設、備品等の維持管理に関する事項 契約事務、支出事務に関する事項 資料の寄贈、寄託関係に関する手続き事務に関する事項 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 施設・設備、財産の使用・貸出等の手続きに関する事項 企画展に関する事項（企画立案、資料収集、広報、展示等） 運営協議会・八重山部会に関する事項 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会八重山部会に関する事項 教員向け説明会に関する事項 要人（大臣、国会議員等）の来館時対応に関する事項 その他、館の運営及び指示された事項 その他上司の命ずる事項
学芸員 （会計年度 任用職員）	綿貫 円 鈴木 理紗	展示物及び資料の収集、保存及び管理に関する事項 展示物及び資料の説明に関する事項 企画展に関する事項（企画立案、資料収集、広報、展示等） 館の施設及び備品等の維持管理に関する事項 観覧料の収納事務に関する事項 その他八重山平和祈念館の管理運営に関する事項 その他上司の命ずる事項



アカナちゃん

4 令和7年度 歳入歳出決算（本館及び分館）

歳 入

単位：円

科 目	常設展示室	ホール、会議室等使用料	自動販売機（財団・友の会・母子寡婦）	自動販売機（公募）	自販機電気料金、雇用保険料	合計
資料館観覧料	51,900,110	0	0	0	0	51,900,110
本館	51,469,880					51,469,880
分館	430,230					430,230
資料館使用料	0	800,665	0	0	0	800,665
本館		799,865				799,865
分館		800				800
建物使用料	0	0	44,340	0	0	44,340
本館			44,340			44,340
分館						0
建物貸付料(本館)				199,650	0	199,650
寄 附 金						0
雑 入	0	0	0	0	257,203	257,203
本館				0	224,948	224,948
分館					32,255	32,255
合 計	51,900,110	800,665	44,340	199,650	257,203	53,201,968
本館	51,469,880	799,865	44,340	199,650	224,948	52,738,683
分館	430,230	800	0	0	32,255	463,285

歳 出

単位：円

科 目	平和祈念資料館管理運営事業	平和祈念資料館展示活動事業	「平和への思い」発信・交流・継承事業	沖縄平和啓発プロモーション事業	平和祈念資料館展示更新事業	平和発信・継承活動強化事業	合 計
報 酬	158,100	11,215,352	0	0	0	0	11,373,452
本館	158,100	6,634,410					6,792,510
分館		4,580,942					4,580,942
職 員 手 当	0	3,369,155	0	0	0	0	3,369,155
本館		1,743,022					1,743,022
分館		1,626,133					1,626,133
報 償 費	9,300						9,300
旅 費	415,568	509,110	7,280	73,268	516,100	328,029	1,849,355
本館	308,088	468,740	7,280	73,268	422,800	328,029	1,608,205
分館	107,480	40,370			93,300		241,150
需 用 費	34,855,619	550,350	0	0	0	0	35,405,969
本館	32,921,839	493,466					33,415,305
分館	1,933,780	56,884					1,990,664
役 務 費	1,218,699	76,800	0	0	0	0	1,295,499
本館	1,111,214	40,000					1,151,214
分館	107,485	36,800					144,285
委 託 料	85,196,272	15,199,000	26,066,874	16,142,206	14,190,000	7,007,000	163,801,352
本館	83,486,542	15,199,000	26,066,874	16,142,206	14,190,000	7,007,000	162,091,622
分館	1,709,730						1,709,730
使用料及び賃借料	4,915,744	0	0	0	4,600	0	4,920,344
本館	4,915,744				4,600		4,920,344
分館							0
工 事 請 負 費	0						0
備 品 購 入 費	0	0	0	0	0	0	0
本館	0						0
分館							0
負担金補助及び交付金（本館）	10,000						10,000
合 計	126,779,302	30,919,767	26,074,154	16,215,474	14,710,700	7,335,029	222,034,426
本館	122,920,827	24,578,638	26,074,154	16,215,474	14,617,400	7,335,029	211,741,522
分館	3,858,475	6,341,129	0	0	93,300	0	10,292,904

5 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会

(1) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会委員名簿

(任期：令和6年10月30日～令和8年10月29日)

区 分	役職名	氏 名	現 職 名
教育関係者	会 長	久保田 暁	沖縄県平和祈念資料館友の会会長
学識経験者	副会長	里 井 洋 一	沖縄県立博物館・美術館館長
観光分野関係	委 員	浜 田 京 介	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー会長
学識経験者	委 員	前 泊 克 美	ひめゆり平和祈念資料館学芸員
	委 員	田 里 一 寿	宜野座村教育委員会主幹
	委 員	平 敷 兼 哉	宜野湾市立博物館館長
教育関係者	委 員	平 良 正 栄	鏡水自治会長
	委 員	大 仲 るみ子	多文化ネットワーク f u ふ！沖縄設立代表者
	委 員	大 城 敏 子	南風原町女性の翼の会会長
人権・福祉関係	委 員	亀 濱 玲 子	公益財団法人おきなわ女性財団理事長
行政経験者	委 員	松 川 満	公益財団法人沖縄県平和祈念財団事務局長
公 募	委 員	和 田 香	自営業（元公立小学校教諭）

※浜田委員、亀濱委員の任期は令和7年10月29日から令和8年10月29日まで。

(2) 八重山平和祈念館部会委員名簿

代表区分	職 名	氏 名	現 職 名
学識関係者	部会長	里 井 洋 一	沖縄県立博物館・美術館館長
	委 員	平 敷 兼 哉	宜野湾市立博物館館長
教育関係者	委 員	田 里 一 寿	宜野座村教育委員会主幹

(3) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会活動経過

ア 第1回運営協議会

日時：令和7年10月29日（水）14:00～16:06

場所：平和祈念資料館 2階大会議室

内容：（ア）委嘱状交付

（イ）議題

a 展示更新基本計画及び基本設計について

（ウ）報告

a 八重山平和祈念資料館友の会発足

b 令和7年度沖縄県平和祈念資料館運営協議会八重山平和祈念館部会

c 沖縄戦学習動画の利用状況

d 証言映像収録

e 沖縄戦の語り継ぎ手養成事業



委嘱状交付の様子



第1回運営協議会の様子

- f 「平和への思い」発信・交流・継承事業
- g 戦後 80 年祈念巡回展「島々の沖縄戦」
- h 沖縄・平和と人権博物館ネットワーク
- i 沖縄県平和関連施設ネットワーク構築事業

イ 第 2 回運営協議会

日時：令和 8 年 3 月 19 日（木）14:00 ～ 16:05

場所：平和祈念資料館 2 階大会議室

内容：（ア） 議題

- a 令和 8 年度職員配置定数について
- b 令和 8 年度歳入歳出繰越予算（案）
- c 年度別入館者数（本館・分館）
- d 沖縄県平和祈念資料館展示更新事業について
- e 令和 7 年度事業報告及び令和 8 年度事業計画（本館・分館）



第 2 回運営協議会の様子 1



第 2 回運営協議会の様子 2

（4）沖縄県平和祈念資料館運営協議会八重山平和祈念館部会活動経過

八重山平和祈念館部会

日時：令和 7 年 8 月 29 日（金）14:30 ～ 16:30

場所：八重山平和祈念館

内容：ア 企画展視察

- （ア） ひめゆり平和祈念資料館戦後 80 年移動展「ひめゆりと八重山」
（八重山平和祈念館共催・8 月企画展）

イ 報 告

- （ア） 令和 6 年度運営協議会部会における主な委員意見への対応状況について
- （イ） 「八重山平和祈念館友の会」の発足について
- （ウ） 令和 7 年度事業経過報告（展示活動・平和教育活動）について



企画展視察の様子



八重山平和祈念館部会の様子

6 施設の改修等の状況

これまでの改修等の状況

年 度	事業内容等	事業費（千円）
2009（平成 21）年度	屋根瓦修繕工事	19,453
〃	非常用バッテリー等修繕	5,565
〃	特別収蔵庫空調機	2,048
〃	その他修繕	694
2010（平成 22）年度	外壁等改修工事	38,870
〃	その他修繕	1,341
2011（平成 23）年度	空調機室外機 9 台	546
〃	その他修繕	2,072
2012（平成 24）年度	全自動循環及び全自動活性炭ろ過装置ろ材取替	1,995
〃	その他修繕	1,860
2013（平成 25）年度	一般収蔵庫の恒温恒湿空調機修繕	4,935
〃	電話交換機修繕	945
〃	その他修繕	1,898
2014（平成 26）年度	各展示室、事務学芸員室、大会議室 L E D 化工事	13,824
〃	ブラインチラー等更新工事	35,316
〃	業務用エアコン更新工事	18,954
〃	その他修繕	1,710
2015（平成 27）年度	映像機器修繕	924
〃	自動制御設備不具合修繕	864
〃	石材修繕	1,782
〃	展示室スクリーン・プロジェクター修繕	1,696
〃	その他修繕	1,163
2016（平成 28）年度	浄化槽修繕	904
〃	中央監視修繕	2,376
〃	その他修繕	3,035
2017（平成 29）年度	給水管修繕	994
〃	屋上排気口、天井ダクト修繕	1,815
〃	突風被害緊急対応	1,553
〃	二次冷水管保温材修繕（地下機械室）	756
〃	污水处理施設微細目スクリーン修繕	756
〃	その他修繕	1,691
2018（平成 30）年度	排煙ダクト修繕	1,782
〃	突風被害箇所及び関連場所補修工事	15,358
〃	非常用発電機装置整備修繕	2,484
〃	中水用圧力タンクポンプエント取替修繕	2,754
〃	直流電源装置用蓄電池更新取替	4,860
〃	天井補修 2 箇所（台風被害）	676
〃	送風機異音修繕（空調）	929
〃	水中ポンプ取替	1,603
〃	その他修繕	3,597
2019（令和元）年度	1 階ガラス壁及び屋根瓦補修工事	101,183
〃	発電機起動用蓄電池修繕	957
〃	消防設備修繕	671
〃	1F 多目的ホール前トイレ排気ファン交換修繕	583
〃	2F 東側トイレ排気ファン交換修繕	583
〃	その他修繕	1,620

年 度	事業内容等	事業費（千円）
2020（令和2）年度	各トイレ排気ファン交換修繕	1,375
〃	地下オイルタンク埋設配管改修工事	2,200
〃	中央監視装置リモートコントローラ3系統修繕	2,497
〃	自動制御設備機器電磁流量計修繕	1,760
〃	高圧引込埋設配管漏水修繕工事	2,035
〃	1階大ホール部分NO1系統AHU-3送風機修繕	528
〃	エレベーター1・2号機各種部品取替修繕	827
〃	東側事務所窓9箇所台風対策雨戸設置	1,210
〃	消防設備修繕	2,497
〃	電話機器一式修繕工事	2,491
〃	防災設備更新工事	12,595
〃	その他修繕	1,695
2021（令和3）年度	差圧発信器修繕	1,278
〃	リモートコントローラ4系統修繕	3,630
〃	照明制御盤更新工事	5,170
〃	消防設備修繕	1,278
〃	上水加圧給水ポンプ更新工事	3,190
〃	直流電源装置更新工事	5,148
〃	空調機予防保全工事	2,496
〃	消防設備修繕	770
〃	海と礎の回廊窓フィルム取替修繕	661
〃	その他修繕	3,007
2022（令和4）年度	デジタルサイネージ修繕	1,804
〃	誘導灯及び誘導標識修繕	979
〃	キュービクル内換気扇取替	737
〃	常設展示室タブレット端末バッテリー交換	524
〃	消火器取替及び誘導灯更新	550
〃	排煙設備及び防排煙制御設備修繕工事	2,860
〃	貯留槽及び機械室界壁修繕工事	4,598
〃	令和4年度平和祈念資料館改修工事（建築）	57,345
〃	令和4年度平和祈念資料館改修工事（空調）	109,428
〃	令和4年度平和祈念資料館改修工事（衛生）	17,600
〃	令和4年度平和祈念資料館改修工事（電気）	69,212
〃	その他修繕	2,835
2023（令和5）年度	令和5年度平和祈念資料館改修工事（建築）	104,751
〃	令和5年度平和祈念資料館改修工事（空調）	167,541
〃	令和5年度平和祈念資料館改修工事（衛生）	26,510
〃	令和5年度平和祈念資料館改修工事（電気）	108,229
〃	消防設備修繕	521
〃	防煙防火ダンパー及び温度ヒューズ更新工事	3,158
〃	空調機器修繕工事（台風被害）	2,009
〃	排煙窓等修繕工事	7,095
〃	浄化槽調整槽エア配管取替	984
〃	計装盤避雷器設置	878
〃	その他修繕	3,819

年 度	事業内容等	事業費（千円）
2024（令和6）年度	空調機（大会議室、警備室等）ガス漏れ修繕	550
〃	一般収蔵庫空調機 熱交換器交換（ガス漏れ）	519
〃	除湿器（地下空調機械室、一般収蔵庫、特別収蔵庫）修繕	528
〃	上水加圧ポンプ用アキュムレータ取替	539
〃	ブラインチラーサーミスタ交換整備	567
〃	ブラインチラーガス漏れ修繕	2,239
〃	防火シャッター開閉器交換	638
〃	監視カメラ設備更新工事	9,625
〃	その他修繕	2,951
2025（令和7）年度	空調機室外機整備（MAC-4 系統）	1,839
〃	上水加圧給水ポンプ修繕	550
〃	照明制御盤リモコンリレー部品修繕	671
〃	空調機室外機整備（MAC-2 系統）	2,314
〃	中水圧力ポンプ修繕	550
〃	その他修繕	1,618
※50万円以上の修繕を記載し、それ以下の修繕は「その他修繕」としてまとめた。 事業費合計		1,089,978

7 令和7年度に来館された方々

天皇・皇后両陛下、愛子様のご来館（令和7年6月4日）



沖縄戦から80年の節目に、天皇・皇后両陛下と愛子様は、戦没者の慰霊等を目的に令和7年6月4日から5日の日程で沖縄県を訪問されました。4日には、沖縄県平和祈念資料館を訪問、天皇陛下は3回目、皇后陛下は2回目で、両陛下とも令和4年10月以来のご来館、愛様は初めてのご来館となります。

両陛下及び愛様は、沖縄戦展示をご覧になられ、「大変痛ましい」と幾度となく感想を述べられていました。第4室の証言の部屋では、愛様が、前回の両陛下ご訪問時にお読みになられた戦争体験者の証言を読まれ「なんと壮絶な・・・戦場ではこのよう

な痛ましい状況が起こるのですね。」と感想を述べられていました。

また、戦争体験者や語り部、遺族連合会の方々との御懇談では、両陛下及び愛様が熱心に質問されました、ご懇談後、天皇陛下から「大変貴重なお話を聞きことができました。」とお言葉をいただきました。今回の両陛下及び愛様のご訪問を契機に、多くの方々が、沖縄戦について学び「平和や命の尊さ」について改める機会に繋がっていただければと思います。

入館者 900 万人達成（令和8年2月25日）



当資料館は開館以来、県内外から多くの皆様が訪れています。令和8年2月25日（水）には、大阪府在住の自営業 橋野尚孝^{はしの なおたか}さんが900万人目の来館者となりました。友人2人ともに平和について学ぶために、来館されたそうです。

橋野さんは、「戦後80年経つが、僕は子供もいて平和に暮らせている。改めて、戦時中の人々のことについて振り返りたいと思い来館しました。」と話してくれました。

Ⅱ 調査研究事業

1 第 32 回日本平和博物館会議

日本平和博物館会議は、戦争の惨禍を人々に伝え平和の実現に資することを目的とする博物館等が協力して調査・研究等を行うことにより、相互の連携を図りつつ平和推進事業の一層の発展を期することを目的として設立された。年 1 回の定例会開催のほか、研修や共同事業を行っている。

令和 7 年度は、立命館大学国際平和ミュージアムが事務局を担当し、同館会議室にて対面とオンラインのハイブリッド形式で討議になった。令和 8 年度は当館で開催予定。

- (1) 期日：令和 8 年 1 月 8 日（木）15:00 ～ 17:00
- (2) 場所：立命館大学国際平和ミュージアム（対面・オンライン）
- (3) 参加博物館（10 館）
 - ① 埼玉県平和資料館【埼玉県】
 - ② 川崎市平和館【神奈川県】
 - ③ 立命館大学国際平和ミュージアム【京都府】
 - ④ ピースおおさか【大阪府】
 - ⑤ 広島平和記念資料館【広島県】
 - ⑥ 長崎原爆資料館【長崎県】
 - ⑦ 沖縄県平和祈念資料館【沖縄県】
 - ⑧ 神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぶらざ）【神奈川県】
 - ⑨ ひめゆり平和祈念資料館【沖縄県】
 - ⑩ 対馬丸記念館【沖縄県】
- (4) 次第
 - ① 事務局館挨拶
 - ② 会議日程説明
 - ③ 出席館紹介
 - ④ 議長選出
 - ⑤ 議 事
 - 「戦後 80 年の取り組みについて」「SNS 等を通じた情報発信」
 - 「ワークショップの取り組み」
 - 聴取事項について報告
 - 次回開催館の紹介（沖縄県平和祈念資料館）



アカナちゃん

Ⅲ 展示企画事業

1 常設展

1 常設展

(1) 展示構成

常設展示は1階と2階の2つのゾーンで構成されている。

〔歴史を体験するゾーン〕

2階の「歴史を体験するゾーン」は、来館者が沖縄戦及び戦後の歴史的体験をとおりて平和の尊さや戦争の悲惨さを知り、この歴史的教訓を次の世代へと継承していくねらいがあり、5つの展示室で構成される。

第1展示室「沖縄戦への道」

沖縄が日本の国家体制に組み込まれていく過程を琉球処分からアジア・太平洋戦争末期の沖縄戦前夜までの映像や写真パネルで解説する。

第2展示室「住民の見た沖縄戦－鉄の暴風－」

およそ3ヶ月に及んだ地上戦の経緯と住民犠牲の諸相について、映像と造形物であらわす。被弾した旧沖縄県庁の門柱や糸満市に現存する水タンクなど、破壊し尽くされ、瓦礫と化した街のようすを原寸で再現した造形物が沖縄戦の凄まじさを物語る。

第3展示室「住民の見た沖縄戦－地獄の戦場－」

空間全体が戦場をイメージして作られる。軍民入り乱れた戦場での住民犠牲の出来事を写真パネル、焼け焦げた衣服や当時の水が入った水筒などの実物資料を展示する。また、住民や日本兵の避難場所を利用された、ガマ（自然の鍾乳洞）とその中で起こった出来事が造形物で再現される。

第4展示室「住民の見た沖縄戦－証言－」

旧資料館の証言展示を踏襲しながら、新たに離島や北部の証言を加え、犠牲を強いられた一般住民の心の叫びを証言文と証言映像で紹介する。沖縄戦を直接体験した人々が重い口を開いて語ってくれた証言は、歴史の真実として心にじかに訴える。

ニュートラルゾーン

第4展示室と第5展示室との間にある壁面には、旧資料館から受け継いだ「展示～むすびのことば～」が掲げられている。

第5展示室「太平洋の要石」

終戦後の収容所生活から27年間の米軍統治を経て1972年5月15日に沖縄が日本復帰を果たすまでの住民のようすや政治状況を実物資料、写真パネル、造形物、映像などで展示する。米軍の沖縄統治の状況、土地闘争、基地に起因するさまざまな問題、復帰運動、さらには「太平洋の要石」と呼ばれて今日まで続く「基地の島」沖縄の実態が浮かび上がる。

これらの展示は、県民をはじめ、平和学習や平和交流、慰霊などで訪れた県外や海外からの来館者が沖縄の歴史的体験をできるように構成される。また、観光バスツアーなど、見学時間が短い来館者にも配慮し、短時間で沖縄の歴史が概観できる設定となっている。



第1展示室



第2展示室



第3展示室

〔未来を展望するゾーン〕

1 階の「未来を展望するゾーン」の展示は参加型となっており、主に児童・生徒を対象にしている。子ども・プロセス展示室は、未来を担う子どもたちが積極的に平和を愛する心を育むためのもので、大きく3つのゾーンに分かれる。

「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」コーナー

さまざまな国の子どもたちの学校の様子、友だち、遊びのことなどを紹介し、かけがえのない命、そしてぬちどう宝・せかいの子どもたち・いのちのわ（輪）についてメッセージを発信する。

「いま、世界で何が…」コーナー

やまない戦争・紛争、人権問題、環境破壊などを取り上げ、その原因や解決方法を考える機会を提供する。

「わらびなー（庭）」コーナー

展示物に触れながら遊びをとおして多様性と共通性に気づき、異文化を認め理解し合う。また、展示内容に関する子ども・プロセス企画や学習作品の展示を行う「ひろば・ゆいまーる」というスペースがあり、平和活動に貢献した人々の言葉を若い世代へ送るメッセージとして展示する。

なお、この階には1クラス程度の子どもたちが一度に利用できるスペースと観覧後の疑問を調べるための情報ライブラリーが設置され、一般図書、児童図書など約1万2千冊のほかに、平和学習のためのビデオなどが備えられており、子どもたちの質問への対応や資料調べのためのアドバイスなどの学習支援活動を実施する。

（2）展示資料等の充実

- ①常設展示室2階の殆ど全ての映像機器（LD プレーヤーからブルーレイディスクプレーヤー）とコントローラー、映像ディスク（LD ディスクから DVD ディスクへ）を刷新した。（平成 22 年度）
- ②常設展示室2階の第1室と第5室の年表パネルを刷新した。（平成 22 年度）
- ③常設展示室第1室、第2室の展示ケース照明の LED 化。企画展示室の照明装置を LED 照明に刷新した。（平成 22 年度）
- ④常設展示室、子ども・プロセス展示室、情報ライブラリー、大会議室、事務室の照明装置を LED 照明に刷新した。（平成 26 年度）
- ⑤常設展示室2階の第2室の大型スクリーンを刷新した。（平成 26 年度）
- ⑥タブレット端末による常設展示室展示内容の多言語化（日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語）を進めた。（平成 27 年度）
- ⑦常設展示室音声ガイドシステム機器 50 台を新規導入。音声データをフランス語、イタリア語、ドイツ語、アラビア語、マレー語、英語、中国語、韓国語、スペイン語に翻訳した。（平成 27 年度）
- ⑧デジタルサイネージシステムの導入。（平成 27 年度）
- ⑨第4室 住民の見た沖縄戦証言多言語映像モニター 4 台設置（平成 30 年度）



第4展示室



第5展示室



情報ライブラリー

2 企画展

(1) 子ども・プロセス企画展

ア 第1回「捕虜になった時－多くの命を救った決断－」

沖縄戦で最も犠牲になったのは一般住民でした。米軍の無差別攻撃や避難対策の不十分さ、日本軍の住民迫害などの要因に加え、米軍への投降を拒み攻撃を受けたことも多くの犠牲につながりました。本展では、捕虜になった人びとと、それに応じずに命を絶った人びとに焦点を当て、「なぜ生と死の判断が分かれたのか」を証言や資料などから考え、戦争で大きな被害を受けるのは一般住民であるという歴史的教訓を理解する機会としました。

[期 間] 令和7年<前期>6月6日(金)～7月13日(日)
<後期>9月6日(土)～10月13日(月)



見学の様子



ポスター

イ 第2回「チャレンジ！ 夏休み自由研究－沖縄戦について調べてみよう!!－」

夏休みの機会に、子どもたちに沖縄戦に関心を持ってもらう企画として、夏休みの自由研究についてのヒントなどを紹介する展示を行いました。情報ライブラリー内に、自由研究学習コーナーを設置し、子どもたちが学習に集中して取り組めるようにしました。また、子どもたちへの助言・指導のため、会期中に自由研究相談室や子ども教室を開催しました。

[期 間] 令和7年7月19日(土)～8月31日(日)



見学の様子



ポスター

ウ 第3回「沖縄の民間人収容所と捕虜収容所」

米軍は沖縄戦の開始直後から、住民を民間人収容所に、日本兵を捕虜収容所に収容しました。民間人収容所は保護が目的でしたが、食糧不足や医療体制の不備、米兵による事故や犯罪で多くの人びとが苦しみました。本展では、両収容所の設置の目的や終戦後も長く続いた厳しい生活の状況について紹介し、写真や資料を通して戦争の実相への理解を深める機会としました。

【期 間】 令和7年10月24日（金）～令和8年2月8日（日）



見学の様子



ポスター

エ 第4回「県外での戦争体験と沖縄への引き揚げ」

戦前から戦中にかけて、沖縄の多くの人びとは移民や出稼ぎ、疎開のため、日本本土やアジア太平洋地域へ渡りました。しかし、太平洋戦争の戦局の悪化により、強制収容や空襲、戦闘に巻き込まれるなど、移民や疎開者の生活は厳しい状況に置かれました。本展では、移民や疎開の始まりから引き揚げまでの様子、各地の戦闘状況を紹介し、戦争の実相を学ぶとともに、戦争体験の記憶や歴史的教訓の継承について考える機会としました。

【期 間】 令和8年2月19日（木）～5月24日（日）



見学の様子



ポスター

(2) ギャラリー展「建設 30 年 平和の礎が伝えてきたもの」

①期間：令和 7 年 6 月 3 日～令和 8 年 3 月 22 日

②会場：平和祈念資料館 2 階ギャラリー

③内容：平和の礎建設 30 年を記念して、建設の趣旨・基本理念などの特徴などを紹介した。氏名が刻銘されていない方もいるなど、平和の礎の意義や課題なども考えてもらうこともねらいとした。

また、玉木利枝子氏、田本徹氏、平良宗潤氏のご遺族の協力をいただき、3 氏のご家族・親戚のうち刻銘されている方の人となりや戦争体験を紹介し、沖縄戦の実相や刻銘者・平和の礎そのものをより深く考えてもらうねらいで展示を開催した。



—建設30年—
**平和の礎が
伝えてきたもの**

入場無料

2025 6月3日[火] ~ 2026 3月22日[日]

企画 ギャラリー展 時間 9:00~17:00

会場 沖縄県平和祈念資料館 2F ギャラリー

施設 住所：糸満市摩文仁614-1 TEL：098-997-3844

沖縄県平和祈念資料館



展示の様子

Ⅳ 資料収集・活用事業

1 新収蔵品目録

(1) 実物資料

令和7年度の受入れ実績なし。

(2) 図書資料

図書資料

令和7年度は、個人及び諸機関より、書籍164点、購入図書41点を受け入れた。

番号	受入月日	書籍名	著 者	数量
1	令和7年4月23日	令和6年度美術館企画展『○でも×でもないもの!』 ～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～	川口美保ほか[編]	1
2	令和7年4月23日	川崎市平和館 2024(令和6)年度版 ミニ企画展要覧 中学生・高校生のつくった絶戦教育プログラム集	川崎市平和館[編]	1
3	令和7年4月23日	恩納村博物館年報 第14号 令和4・5年度	恩納村博物館[編]	1
4	令和7年4月23日	報告書 子どもたちと考える 「戦争と平和展」 in高槻・島本2024	子どもたちと考える 「戦争と平和」展in高槻・島本実行委員会[編]	1
5	令和7年4月23日	立命館平和研究 第26号	立命館大学国際平和 ミュージアム[編]	1
6	令和7年4月23日	中城村護佐丸歴史資料図書館紀要 第1号	中城村護佐丸歴史資料図 書館[編]	1
7	令和7年4月23日	中城村護佐丸歴史資料図書館企画展 「中城の地域・字展 添石」企画展図録	中城村護佐丸歴史資料図 書館[編]	1
8	令和7年4月23日	社会安全学研究 第15巻	関西大学社会安全学部内社 会安全研究センター[編]	1
9	令和7年4月23日	沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要 第18号	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
10	令和7年4月23日	沖縄県立博物館・美術館年報 No.17 (令和5年度 実績報告)	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
11	令和7年4月23日	令和6年度博物館特別展 喜如嘉の芭蕉布保存会50周年記念 「芭蕉布展」	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
12	令和7年4月23日	沖縄県立博物館・美術館 令和6年度博物館 企画展 「いのちのキ・セ・キ。琉球列島 地質・化石展」	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
13	令和7年4月23日	博物館企画展 「新収蔵品展－令和5年度収蔵資料－」	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
14	令和7年4月23日	沖縄国際大学校友会創立50周年記念誌－ ともに新時代へ－	校友会記念誌部会 交友会 事務局[編]	1
15	令和7年4月23日	令和5年度 滋賀県平和祈念館企画展等実 施報告書	滋賀県平和祈念館[編]	1
16	令和7年4月23日	広島平和研究 第12号	広島平和研究所編集委員 会[編]	1

番号	受入月日	書籍名	著 者	数量
17	令和7年4月23日	沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要 第12号	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
18	令和7年4月23日	沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要 第13号	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
19	令和7年4月23日	所沢市平和推進事業のまとめ 令和6年度	所沢市経営企画部企画総務課[編]	1
20	令和7年5月23日	琉球アジア文化論集 琉球大学人文社会学部紀要 大胡太郎先生退職記念号 第11号	琉球大学 人文社会学部琉球アジア文化学科[編]	1
21	令和7年5月23日	創大平和研究 第39号	創価大学平和問題研究所[編]	1
22	令和7年5月23日	つながる～戦争は最大の人権侵害～	小郡市教育委員会 人権・同和教育課[編]	1
23	令和7年5月23日	令和4・5年度試掘調査報告 －宮古島市内遺跡発掘調査報告書7－	宮古島市教育委員会[編]	1
24	令和7年5月23日	宮古島市内戦争遺跡分布調査報告書(4) －補遺編－	宮古島市教育委員会[編]	1
25	令和7年5月23日	戦争と美術 －戦後80年、若者たちに伝えたい－	安斎育郎 ほか[著]	1
26	令和7年5月23日	北海道博物館研究紀要 第10号	北海道博物館[編]	1
27	令和7年5月23日	北海道博物館資料目録 第4号	北海道博物館[編]	1
28	令和7年5月23日	北海道博物館 アイヌ民族文化研究センター研究紀要 第10号	北海道博物館アイヌ民族文化研究センター[編]	1
29	令和7年5月23日	福岡市総合図書館研究紀要 第25号	福岡市総合図書館[編]	1
30	令和7年5月23日	うみべのタイムマシーン	古谷千佳子	1
31	令和7年6月29日	宮古島市総合博物館年報 No.33	宮古島市総合博物館[編]	1
32	令和7年6月29日	宮古島市総合博物館紀要 第29号	宮古島市総合博物館[編]	1
33	令和7年6月29日	浦添市美術館紀要 第20号	浦添市美術館[編]	1
34	令和7年6月29日	世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム 令和5年度 年報	世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム[編]	1
35	令和7年6月29日	令和6年度 壺屋焼物博物館年報	那覇市立壺屋焼物博物館[編]	1
36	令和7年6月29日	壺屋焼物博物館紀要 第26号	那覇市立壺屋焼物博物館[編]	1
37	令和7年6月29日	那覇市立壺屋焼物博物館 令和6年度企画展「國吉清尚」	那覇市立壺屋焼物博物館[編]	1
38	令和7年6月29日	那覇市歴史博物館紀要 第2号	那覇市市民文化部文化財課 歴史博物館グループ[編]	1
39	令和7年6月29日	令和6年度 那覇市歴史博物館企画展 「新収蔵品展 皆の記憶Ⅲ」	那覇市歴史博物館[編]	1
40	令和7年6月29日	与那原の民俗・芸能 与那原町史 図説編	与那原町史編集委員会[編]	1
41	令和7年6月29日	2025年度版 わたしの願い	徳島県中学校人権教育研究会[編]	1

番号	受入月日	書籍名	著 者	数量
42	令和7年6月29日	ポスト体験時代の記憶の継承 ーアジア地域史の視座から祈念する私たちのダイアログー	三好恵真子・吉成哲平[編]	1
43	令和7年6月29日	戦後80年からのメッセージ 2045年のあなたへ～私たちは沖縄戦から何を学んだのか～	新城俊昭	1
44	令和7年6月29日	日本の歴史 4 学習資料集・索引	大石学[監修]	1
45	令和7年6月29日	久米島博物館紀要 第24号	久米島博物館[編]	1
46	令和7年6月29日	久米島博物館紀要 第25号	久米島博物館[編]	1
47	令和7年6月29日	宜野座村立博物館館報 第31号	宜野座村立博物館[編]	1
48	令和7年6月29日	宜野座村立博物館紀要 ガラマン31	宜野座村教育委員会(宜野座村立博物館)[編]	1
49	令和7年6月29日	ピース・ウイング長崎 平和のあゆみ(令和6年度 事業報告)	公益財団法人 長崎平和推進協会[編]	1
50	令和7年6月29日	八重瀬町立具志頭歴史民俗資料館 年報 2024(令和6)年度	八重瀬町立具志頭歴史民俗資料館[編]	1
51	令和7年6月29日	浦添市文化財調査報告書 浦添城跡 内郭西地区 ー浦添市内遺跡発掘調査事業に伴う発掘調査報告書ー	浦添市教育委員会[編]	1
52	令和7年6月29日	浦添市文化財調査報告書 前田・経塚近世墓群14 経塚下平大名原C丘陵 ー浦添南第一土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査報告書ー	浦添市教育委員会[編]	1
53	令和7年6月29日	浦添市文化財調査報告書 前田・経塚近世墓群15 前田黒島原A丘陵 前田西田原D丘陵 ー浦添南第一土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査報告書ー	浦添市教育委員会[編]	1
54	令和7年6月29日	浦添市文化財調査報告書 前田・経塚近世墓群13 経塚子の方原B丘陵・前田真知堂D丘陵 前田真知堂A丘陵・前田東前田原丘陵 ー浦添南第一土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査報告書ー	浦添市教育委員会[編]	1
55	令和7年6月29日	浦添市文化財調査報告書 前田・経塚近世墓群16 前田真知堂E丘陵・前田前原B丘陵 ー浦添南第一土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査報告書ー	浦添市教育委員会[編]	1
56	令和7年6月29日	浦添市文化財調査報告書 当山宗地原近世墓群(2) ー民間開発に伴う発掘調査報告書ー	浦添市教育委員会[編]	1
57	令和7年6月29日	浦添市文化財調査報告書 当山東原遺跡(3) ー開発事業に伴う緊急発掘調査報告書ー	浦添市教育委員会[編]	1
58	令和7年7月30日	歴史研究の最前線 Vol.26 「もの」と「こと」:痕跡から行為・認識へ	藤原哲ほか[編]	1
59	令和7年7月30日	済州4・3平和祈念館常設展示館展示図録	梁祚勳ほか[編]	1
60	令和7年7月30日	4・3平和祈念館のハンドブック 一目で見る4・3	済州4・3平和財団[編]	3
61	令和7年7月30日	栃木県立文書館 研究紀要 第29号	栃木県立文書館[編]	1

番号	受入月日	書籍名	著 者	数量
62	令和7年7月30日	戦争を知らないキミへ 1945年、14歳の僕が考えていたこと。 下・戦後編	大串潤児[監修]	1
63	令和7年7月30日	令和6年度 八重山平和祈念館企画展 「八重山人が語る戦」	八重山平和祈念館[編]	1
64	令和7年7月30日	戦後80年からのメッセージ 2045年のあ なたへ ～私たちは沖縄戦から何を学んだのか～	新城俊昭	1
65	令和7年7月30日	北谷町文化財調査報告書 第37集 平安山 原B遺跡－桑江伊平土地区画整理事業に 伴う発掘調査事業(平成20・21・23年度)－	北谷町教育委員会[編]	1
66	令和7年7月30日	史跡『伊礼原遺跡』保存管理計画書	北谷町教育委員会[編]	1
67	令和7年7月30日	県指定史跡 宇江城城跡環境整備報告書Ⅰ	久米島町教育委員会[編]	1
68	令和7年7月30日	竹富町指定有形文化財(建造物)旧与那国家 住宅主家修理工事報告書	OFFICE萬瑠夢[編]	1
69	令和7年7月30日	浦添市文化財悉皆調査報告書	浦添市教育委員会[編]	1
70	令和7年7月30日	沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書 第76集 基地内文化財7 大山加良当原 第四遺跡確認調査 神山黒数原古墓群分布 調査 付編:沖縄県における駐留軍用地内 の埋蔵文化財取扱い方針	沖縄県立埋蔵文化財セン ター[編]	1
71	令和7年7月30日	沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書 第95集 中城御殿跡－県営首里城公園 中 城御殿跡発掘踏査報告書(6)－	沖縄県立埋蔵文化財セン ター[編]	1
72	令和7年7月30日	沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書 第100集 白保竿根田原洞穴遺跡 重要 遺跡範囲確認調査報告書3－補遺編－	沖縄県立埋蔵文化財セン ター[編]	1
73	令和7年7月30日	中城村護佐丸歴史資料図書館紀要 第1号	中城村護佐丸歴史資料図 書館[編]	1
74	令和7年7月30日	令和6年度 沖縄語(しまくとぅば)保存継 承事業報告書	読谷村教育委員会 文化振 興課 読谷村史編集室[編]	1
75	令和7年7月30日	第37回読谷村平和創造展 「『基地の村』読谷 米軍統治の始まり」展示 資料集	読谷村教育委員会 文化振 興課 読谷村史編集室[編]	1
76	令和7年7月30日	『読谷村のしまくとぅば展[衣食住]展示資 料集』	読谷村教育委員会 文化振 興課 読谷村史編集室[編]	1
77	令和7年7月30日	とみぐすく写真アーカイブ 32 平和台	豊見城市教育委員会教育 部文化課[編]	1
78	令和7年7月30日	とみぐすく写真アーカイブ 33 根差部希 望ヶ丘	豊見城市教育委員会教育 部文化課[編]	1
79	令和7年7月30日	とみぐすく写真アーカイブ 34 とよみ	豊見城市教育委員会教育 部文化課[編]	1
80	令和7年8月30日	とみぐすく写真アーカイブ 31 豊見城団 地南	豊見城市教育委員会教育 部文化課[編]	2
81	令和7年8月30日	「伊計村遊草」漢詩書道展～蔡大鼎(伊計親 雲上)が見たうるまの風景～	うるま市立図書館市史編 さん係[編]	1
82	令和7年8月30日	伊計村遊草 訳注解説	うるま市立図書館市史編 さん係[編]	1

番号	受入月日	書籍名	著 者	数量
83	令和7年8月30日	蔡大鼎漢詩精選集 漏刻樓集・欽思堂詩文集	うるま市立図書館市史編さん係[編]	1
84	令和7年8月30日	蔡大鼎『伊計村遊草』等調査研究事業 研究成果報告書	うるま市立図書館市史編さん係[編]	1
85	令和7年8月30日	うるま漢詩ロード散策 No.1	うるま市立図書館市史編さん係[編]	1
86	令和7年8月30日	うるま漢詩ロード散策 No.2	うるま市立図書館市史編さん係[編]	1
87	令和7年8月30日	うるま漢詩ロード散策 No.3	うるま市立図書館市史編さん係[編]	1
88	令和7年8月30日	うるま漢詩ロード散策 No.4	うるま市立図書館市史編さん係[編]	1
89	令和7年8月30日	うるま漢詩ロード散策 No.5	うるま市立図書館市史編さん係[編]	1
90	令和7年8月30日	おきなわ建築ハンドブック 2025	おきなわ建築ハンドブック学生制作チーム[編]	1
91	令和7年8月30日	竹富町史だより 第54号	竹富町教育委員会[編]	1
92	令和7年8月30日	竹富町史だより 第55号	竹富町教育委員会[編]	1
93	令和7年8月30日	竹富町史だより 合冊1－第一号(一九九二年)～第一八号(二〇〇〇年)－	竹富町史編集委員会[編]	1
94	令和7年8月30日	板井優遺稿集1 川辺川編	中島熙八郎[編]	1
95	令和7年8月30日	ながさき平和案内	長崎平和教育研究会[編]	1
96	令和7年8月30日	沖縄戦を考える 教科書記述補填資料	民主教育をすすめる沖縄県民会議[編]	1
97	令和7年8月30日	みんなの県政 号外	沖縄県知事公室[編]	1
98	令和7年8月30日	2025 独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所 概要	独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所[編]	1
99	令和7年8月30日	平和な未来をせたがやから せたがや未来の平和館10周年記念誌	世田谷区生活文化政策部 人権・男女共同参画課 平和資料館[編]	1
100	令和7年8月30日	令和7(2025)年度 国立歴史民俗博物館要覧	国立歴史民俗博物館[編]	1
101	令和7年8月30日	戦後80年 特別企画展「社会を映す、動かすーポスターにあらわれる国策宣伝の姿ー」	昭和館[編]	1
102	令和7年9月29日	『語り 伝える 戦争の話』記録集 4	嘉麻市教育委員会[編]	1
103	令和7年9月29日	北海道博物館第11回特別展「新選組 永倉新八と会津藩士 栗田鉄馬ー二人のサムライが歩んだ幕末・近代ー」展示図録	北海道博物館[編]	1
104	令和7年9月29日	日本人の忘れもの フィリピンと中国の残留邦人	大友麻子[編]	1
105	令和7年9月29日	ダニーさんのちゃぶだい	なるかわしんご	1
106	令和7年9月29日	相思樹挽歌	琴森戀	2
107	令和7年9月29日	沖縄県平和祈念資料館年報 第25号	沖縄県平和祈念資料館[編]	5

番号	受入月日	書籍名	著 者	数量
108	令和7年9月29日	那覇市歴史博物館紀要 第2号	那覇市市民文化部文化財課歴史博物館グループ [編]	1
109	令和7年9月29日	横内家文書 教育関係史料翻刻集VI	那覇市歴史博物館[編]	1
110	令和7年9月29日	感想文集 ひめゆり 第36号	ひめゆり平和祈念資料館 [編]	1
111	令和7年9月29日	年報 第36号	ひめゆり平和祈念資料館 [編]	1
112	令和7年9月29日	令和7年度 夏季企画展「安雲野～知られざる里山の祈り～」	長野県立歴史館[編]	1
113	令和7年9月29日	浦賀引揚船関連写真資料集～よみがえる戦後史の空白～	中島三郎助と遊ぶ会[編]	1
114	令和7年9月29日	浦賀引揚船関連体験集～よみがえる戦後史の空白～	浦賀探訪くらぶ[編]	1
115	令和7年9月29日	滋賀県平和祈念館 年報 第13号(令和6年度)	滋賀県平和祈念館[編]	1
116	令和7年10月30日	昭和のくらし研究 第23号	昭和館[編]	1
117	令和7年10月30日	竹富町史だより 第56号	竹富町教育委員会[編]	1
118	令和7年10月30日	徳島県立博物館年報 第34号(令和6年度)	徳島県立博物館[編]	1
119	令和7年10月30日	産業情報論集 第21巻 第1・2号合併号	沖縄国際大学産業情報学部[編]	1
120	令和7年10月30日	竹富町史 第八巻 西表島(上)	竹富町史編集委員会[編]	1
121	令和7年10月30日	沖縄県公文書館写真展 「アメリカが撮った戦世」	公益財団法人沖縄県文化芸術振興会[編]	1
122	令和7年10月30日	令和7年度 沖縄県立博物館・美術館 沖縄戦後80年 博物館特別展「戦災文化財－失われた沖縄の文化財と取り戻した軌跡－」	沖縄県立博物館・美術館 [編]	1
123	令和7年10月30日	ヒロシマ、顔「久永洪」	NPO法人 ANT-Hiroshima[編]	1
124	令和7年10月30日	ヒロシマ、顔「李鍾根」	NPO法人 ANT-Hiroshima[編]	1
125	令和7年10月30日	ヒロシマ、顔「田中稔子」	NPO法人 ANT-Hiroshima[編]	1
126	令和7年10月30日	ヒロシマ、顔「鎌田七男」	NPO法人 ANT-Hiroshima[編]	1
127	令和7年11月27日	令和6年度(2024年度) 年報 帰還者たちの記憶ミュージアム(平和祈念展示資料館)	平和祈念展示資料館[編]	1
128	令和7年11月27日	明治大学平和教育登戸研究所資料館 館報 第11号 2025年度	明治大学平和教育登戸研究所資料館[編]	1
129	令和7年11月27日	被爆80年記念事業 しまってはいけない記憶 ー被爆体験記集Vー	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館[編]	1
130	令和7年11月27日	被爆81年記念事業 しまってはいけない記憶 ー被爆体験記集VIー	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館[編]	1
131	令和7年12月25日	國學院大學博物館學紀要 第49輯	國學院大學博物館学研究室[編]	1

番号	受入月日	書籍名	著 者	数量
132	令和7年12月25日	金武鍾乳洞(日秀洞)名勝調査報告書 金武町の歴史と文化 第11集	金武町教育委員会[編]	1
133	令和7年12月25日	REKIHAKU 特集「海藻 東アジアをつなぐ海の資源」	国立歴史民俗博物館[編]	1
134	令和7年12月25日	令和7年度秋季企画展「疫病退散！除災祈願の考古学～木製祭祀具にみる古代の祈り～」	長野県立歴史館[編]	1
135	令和7年12月25日	BRUTUS 特別編集 合本 通いたくなるミュージアム 今行きたい、国内外の博物館&美術館255	BRUTUS編集部[編]	1
136	令和8年1月29日	今井書店古書目録 第24号	今井書店[編]	1
137	令和8年1月29日	The Community of Nuchi Du Takara(“Life Is the Ultimate Treasure”)in Postwar Okinawa	Masamichi(Marro) Inoue	1
138	令和8年1月29日	霧一一六号 都城文化誌	霧之会 編集部[編]	1
139	令和8年1月29日	第35回児童・生徒の平和メッセージ展実施報告書	沖縄県平和祈念資料館[編]	5
140	令和8年1月29日	沖縄県平和祈念資料館 戦後80年祈念巡回展 「島々の沖縄戦」	沖縄県平和祈念資料館[編]	3
141	令和8年1月29日	鳥取市歴史博物館開館25周年記念 令和7年度企画展 「鳥取藩主池田家の養子たち」	公益財団法人 鳥取市文化財団 鳥取市歴史博物館[編]	1
142	令和8年3月25日	沖縄戦後80年企画 戦ぬ前ー沖縄文化の近代ー	沖縄県立博物館・美術館[編]	1
143	令和8年3月25日	令和7年度 なんじょう歴史文化保存継承事業 年報	南城市教育委員会文化課[編]	1
144	令和8年3月25日	うるま市文化財保存活用地域計画	うるま市教育委員会[編]	1
145	令和8年3月25日	令和7年度 企画展 「もずく～うるま市の”いちばん”をもとめて～」	うるま市立海の文化資料館[編]	1
146	令和8年3月25日	令和7年度 文化庁「Innovate MUSEUM事業」実施報告書	緒方泉[編]	1
147	令和8年3月25日	令和7年度「平和への思い(ウムイ)」発信・交流・継承事業報告書	特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター(OPAC)[編]	1
148	令和8年3月25日	令和7年度 沖縄戦の語り継ぎ手養成事業報告書	株式会社 うなゑ沖縄[編]	1
149	令和8年3月25日	沖縄県史 ビジュアル版14 沖縄戦	沖縄県教育庁文化財課史料編集班[編]	1
150	令和8年3月25日	沖縄県立農林学校最後の校長 渋谷秀雄の沖縄戦中日記	渋谷秀雄[著] 手塚好幸[編注]	1
				164

(3) 購入図書一覧

番号	受入月日	書籍名	著 者	数量
1	令和8年2月28日	ひめゆり学徒だった山内祐子さんが沖縄の高校生に伝えたこと	渡辺考	1
2	令和8年2月28日	戦争をめぐる戦後沖縄文学の諸相	柳井貴士	1
3	令和8年2月28日	完全版 沖縄戦 大戦略なき作戦指導の経緯と結末	齋藤達志	1
4	令和8年2月28日	沖縄「平和宣言」全文を読む	諸見里道浩[監修]	1
5	令和8年2月28日	引き揚げを語る 子どもたちの戦争体験	読売新聞生活部[編]	1
6	令和8年2月28日	いのちの未来の平和学 <ガマフヤー>の沖縄戦遺骨収集と平和教育	須藤義人	1
7	令和8年2月28日	沖縄戦 なぜ20万人が犠牲になったのか	林博史	1
8	令和8年2月28日	はるなか島の声 沖縄戦と3人の少女の長い旅	宮武実知子	1
9	令和8年2月28日	戦場の人事係 玉砕を許されなかったある兵士の「戦い」	七尾和晃	1
10	令和8年2月28日	終戦後の日本軍	高石弘明	1
11	令和8年2月28日	歴史に葬られた特攻隊長 故郷・石垣島から出撃した伊舎堂用久中佐	将口泰浩	1
12	令和8年2月28日	戦争童話集 完全版	野坂昭如	1
13	令和8年2月28日	COCOON	今日マチ子	1
14	令和8年2月28日	大田昌秀 ―沖縄の苦悶を体現した学者政治家	野添文彬	1
15	令和8年2月28日	昭和百年への鎮魂 江成常夫のレンズがとらえた戦争	伊藤俊治	1
16	令和8年2月28日	ヤンバルの戦い1 ―国頭支隊末記―	しんざとけんしん	1
17	令和8年2月28日	ヤンバルの戦い2 ―国頭支隊末記―	しんざとけんしん	1
18	令和8年2月28日	おばあのサーターアンダギー	上條さなえ[作]	1
19	令和8年2月28日	子どもも兵士になった 沖縄・三中学徒隊の戦世	真鍋和子	1
20	令和8年2月28日	日本史教科書検定三十五年史 教科書調査官が回顧する	照沼康孝	1
21	令和8年2月28日	日本の歴史 19 コンパクト版 高度成長の時代	安田 常雄[監修]	1
22	令和8年2月28日	新版 ひめゆりの少女 十六歳の戦場	宮城喜久子	1
23	令和8年2月28日	比嘉トーマス太郎 沖縄の宝になった男	下嶋哲朗	1
24	令和8年2月28日	沖縄交差するまなざし ジャーナリストが見つめた戦争と現在	藤原健	1
25	令和8年2月28日	増補版 つながる沖縄近現代史 ―沖縄のいまを考えるための十五章と二十五のコラム	前田勇樹ほか[編]	1
26	令和8年2月28日	かたりあう沖縄近現代史 ―沖縄のこれからを引き継ぐための七つのムヌガタイ	前田勇樹ほか[編]	1
27	令和8年2月28日	カラー化写真で見る沖縄	ホリーニョ[編]	1
28	令和8年2月28日	沖縄戦場定点写真集	水ノ江拓治	1

番号	受入月日	書籍名	著 者	数量
29	令和8年2月28日	「守礼の光」が見た琉球 ―写真が語る―米軍統治下のプロパガンダ誌は沖縄をどう描こうとしたのか	ボーダーインク編集部 [編]	1
30	令和8年2月28日	こども戦争と平和 戦争と平和について考えるきっかけになる本	小原政博 ほか	1
31	令和8年2月28日	"障害者たちの太平洋戦争 狩りたてる・切りすてる・つくりだす"	林雅行	1
32	令和8年2月28日	沖縄県から琉球へ よくわかる沖縄の歴史	来間泰男	1
33	令和8年2月28日	変ってしまったぼくの町、ぼくの学校 ウクライナの少年・ダニールが見た戦争	ダニール	1
34	令和8年2月28日	歴史アドベンチャー 語られなかった沖縄 の真実	上里隆史[監修]	1
35	令和8年2月28日	沖縄戦後史ビジュアル年表vol. 1 世替わりの轍	三嶋啓二[編]	1
36	令和8年2月28日	いま、日本は戦争をしている ―太平洋戦争のときの子どもたち―	堀川理万子	1
37	令和8年2月28日	教えて！池上彰さん 沖縄から考える戦争 と平和 第1巻 沖縄はどんなところ？	池上彰[監修]	1
38	令和8年2月28日	教えて！池上彰さん 沖縄から考える戦争 と平和 第2巻 沖縄の歩みと戦争	池上彰 [監修]	1
39	令和8年2月28日	くらしをしらべる戦前・戦中・戦後 衣食住のうつりかわり 1	古舘明廣	1
40	令和8年2月28日	くらしをしらべる戦前・戦中・戦後 文化や娯楽のうつりかわり 3	古舘明廣	1
41	令和8年2月28日	13歳から考える戦争入門 なぜ、戦争は なくならないのか？	長谷川敦	1
				41

2 資料貸出実績

(1) 資料の貸出

令和7年度は、県内外あわせて計68件、629点の貸出を行った。

【県内 52件 404点】

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	那覇市立高良小学校	沖縄戦実物資料(6点)	6	4/8～4/27
2	宮古島市総合博物館	平和のウムイ地域版セット(宮古)	1	5/9～6/28
3	那覇市立城東小学校	平和のウムイ地域版セット(那覇南部) 平和学習キットA・B	3	5/9～5/18
4	那覇市立与儀小学校	平和学習キットA・B	2	5/16～5/30
5	宜野座村立宜野座中学校	沖縄戦実物資料(2点)	2	5/19～5/31
6	那覇市立小禄中学校	平和学習キットA・B	2	5/23～6/6
7	県立美来工科高等学校	沖縄戦の絵パネル(7点) 平和のウムイ地域版セット(中部) 平和学習キットA	9	6/6～6/20 5/25～6/6

8	県立南部商業高等学校	沖縄戦実物資料(8点) 沖縄戦写真パネル(6点)	14	5/26～6/26
9	那覇市立上山中学校	沖縄戦実物資料(3点)	3	5/26～6/24
10	豊見城市立豊見城小学校	平和学習キット A・B	2	5/27～6/9
11	県立大平特別支援学校	児童・生徒平和メッセージ作品(7点) 沖縄戦の絵パネル(7点) 沖縄戦実物資料(6点) 平和学習キット A	21	5/28～6/27 6/9～6/20
12	糸満市立真壁小学校	沖縄戦の絵パネル(4点) 沖縄戦実物資料(7点) 平和のウムイ地域版セット(中部) 平和学習キット C	13	5/28～6/27 6/11～6/24
13	県立那覇西高等学校	沖縄戦実物資料(2点)	2	5/29～6/29
14	県立南部農林高等学校	沖縄戦実物資料(4点)	4	5/30～6/30
15	豊見城市立豊見城中学校	沖縄戦の絵パネル(5点) 児童生徒平和メッセージ(5点) 平和学習キット C	11	5/30～6/30 6/13～6/27
16	県立鏡が丘特別支援学校	沖縄戦の絵パネル(9点) 児童・生徒平和メッセージ作品(11点)	20	5/30～6/28
17	県立真和志高等学校	沖縄戦実物資料(3点)	3	5/30～6/30
18	那覇市立小禄南小学校	沖縄戦実物資料(4点)	4	6/1～6/30
19	竹富町立波照間小中学校	沖縄戦実物資料(7点)	7	6/2～6/27
20	県立浦添高等学校	平和学習キット A	1	6/2～6/13
21	西原町立西原東中学校	沖縄戦実物資料(3点) 平和学習キット B	4	6/4～6/18
22	西原町立西原中学校	沖縄戦実物資料(4点)	4	6/4～6/18
23	恩納村情報文化センター	平和学習キット A・B	2	6/6～6/19
24	県立那覇工業高等学校	平和学習キット C	1	6/6～6/20
25	那覇市立城北中学校	沖縄戦実物資料(8点)	8	6/7～6/21
26	県立美咲特別支援学校	沖縄戦実物資料(4点) 沖縄戦の絵パネル(8点) 人権宣言パネル(8点)	20	6/8～6/20
27	浦添市立浦添小学校	沖縄戦実物資料(12点) 沖縄戦の絵パネル(11点) 平和学習キット B	24	6/8～6/22
28	久米島町立球美中学校	沖縄戦写真パネル(5点) 児童・生徒平和メッセージ作品(5点)	10	6/9～7/9
29	那覇市立松城中学校	沖縄戦実物資料(7点) 平和学習キット A	8	6/10～6/24
30	那覇市立中央図書館	平和のウムイ地域版セット(那覇南部) 平和学習キット B	2	6/10～6/24
31	豊見城市役所	児童・生徒平和メッセージ作品(10点)	10	6/11～6/25
32	西原町立西原小学校	平和学習キット A・B	2	6/11～6/24
33	県立那覇国際高等学校	児童・生徒平和メッセージ作品(9点) 沖縄戦の絵パネル作品(9点)	18	6/11～7/4
34	豊見城市立豊崎小学校	平和学習キット C	1	6/12～6/26

35	糸満市立中央図書館	写真パネル(8点) 沖縄戦の絵パネル(12点) 沖縄戦実物資料(7点) 平和学習キットA・B	29	6/12～7/2
36	宗教法人本願寺沖縄別院	沖縄戦の写真パネル(20点)	20	6/12～7/2
37	那覇市立松島小学校	沖縄戦実物資料(7点)	7	6/13～6/27
38	浦添市立前田小学校	平和学習キットC・D	2	6/14～6/27
39	今帰仁村立今帰仁中学校	沖縄戦実物資料(5点) 沖縄戦の絵パネル(7点)	12	6/15～6/29
40	名護平和委員会	平和のウムイ地域版セット(北部)	1	6/16～6/24
41	久米島教育委員会	平和のウムイ地域版セット(久米島)	1	6/13～6/26
42	県立那覇みらい支援学校	平和学習キットA	1	6/16～6/30
43	県立名護特別支援学校	平和学習キットA	1	6/22～7/6
44	沖縄高等特別支援学校	平和学習キットA	1	6/16～6/28
45	県立豊見城南高等学校	沖縄戦実物資料(4点) 沖縄戦写真パネル(15点)	19	6/24～6/30
46	県立名護特別支援学校	沖縄戦実物資料(9点)	9	6/28～7/28
47	南大東村立南大東小中学校	沖縄戦実物資料(7点) 平和学習キットA	8	7/1～7/14 7/1～7/30
48	嘉手納町役場	沖縄戦写真パネル(18点) 沖縄戦の絵パネル(2点) 平和のウムイ地域版セット(那覇南部)	21	8/4～8/15
49	沖縄市立中の町小学校	児童・生徒平和メッセージ作品(1点) 沖縄戦実物資料(7点)	8	8/27～9/24
50	県立那覇商業高等学校	平和学習キットA	1	9/8～9/22
51	石垣市立新川小学校	沖縄戦実物資料	3	11/14～ 12/12
52	宗教法人本願寺沖縄別院	沖縄戦写真パネル	16	3/7～3/31

【県外 16件 225点】

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	(埼玉県) 朝霞市役所	沖縄戦の絵パネル(20点)	20	7/16～8/15
2	(東京都) 港区役所	沖縄戦実物資料(10点) 沖縄戦の写真パネル(10点)	20	7/22～8/22
3	(埼玉県) 入間市役所	沖縄戦実物資料(12点) 沖縄戦の写真パネル(20点) 平和のウムイ地域版(北部) 平和のウムイ地域版(久米島)	34	7/25～8/25 7/30～8/25
4	(岐阜県) 高山市職員労働組合	沖縄戦写真パネル(13点) 沖縄戦実物資料(9点)	22	7/31～8/12
5	(奈良県) ピースメッセージ展実行委員会	児童・生徒平和メッセージ作品(4点)	4	8/1～8/31
6	(愛知県) 豊田沖縄ふれあいエイサーまつり実行委員会	沖縄戦実物資料(7点) 沖縄戦写真パネル(9点) 平和学習キットB	17	8/1～8/30

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
7	(東京都) 平和を願う文京戦争展実行委員会	沖縄戦の写真パネル (15 点)	15	8/2 ~ 8/14
8	(愛知県) 長久手市役所	沖縄戦の写真パネル (13 点)	13	8/4 ~ 8/15
9	(静岡県) 掛川市勤労者協議会	沖縄戦の写真パネル (20 点)	20	8/6 ~ 8/10
10	(岐阜県) 岐阜市職員労働組合連合会	沖縄戦の写真パネル (20 点)	20	8/26 ~ 9/5
11	(栃木県) 鹿沼平和写真展実行委員会	平和学習キット A・B	2	8/25 ~ 9/2
12	(埼玉県) 正智深谷高等学校	沖縄戦の写真パネル (20 点)	20	9/10 ~ 9/18
13	(兵庫県) 播磨町役場	平和学習キット B	1	9/19 ~ 10/3
14	(千葉県) 東海大学付属市原望洋高等学校	平和学習キット A・C	2	10/24 ~ 10/31
15	(京都府) 社会科学研究会ピース・ナビ	平和学習キット C	1	11/14 ~ 11/28
16	(奈良県) 大淀町教育委員会	沖縄戦の写真パネル (14 点)	14	12/8 ~ 12/19

当館では、以下の資料を貸出しています。

沖縄戦写真パネル (201 点)、沖縄戦実物資料 (20 種類)、子や孫につなぐ平和のウミ地域版セット、児童・生徒平和メッセージ展入選作品パネル (図画・作文・詩)、世界人権宣言絵画パネル一式、沖縄戦絵パネル (52 点)、平和学習キット (4 種類)

(2) 証言映像の貸出

令和 7 年度の貸出実績

10 件 (20 本) [県内 8 件 17 本、県外 2 件 3 本]

県内外の方々により深く沖縄戦の実相と平和の尊さを伝える事を目的に、戦争体験証言ビデオ (DVD・Blu-ray) の貸し出しを行っている。県内外の団体や学校が、沖縄戦を取り上げた展示や授業等の資料として活用した。近年は当資料館 HP から WEB 公開されている証言映像を視聴する利用者も増えている。

当館では、以下の戦争体験証言ビデオ (DVD・Blu-ray) を貸出している。

- ①戦争体験証言ビデオ・DVD(全 28 巻)・・・1 巻に 1 ~ 3 名収録 [全 79 名]
- ②DVD『やーさん ひーさん しかーさん～集団疎開学童の証言～』【通常版・ダイジェスト版】
- ③DVD『そしてぼくらは生き残った』・・・米軍撮影の記録映像。捕虜住民の収容所での生活。
- ④DVD『強制集団死 (集団自決) に係わる証言映像』
- ⑤DVD『平和のウミイ』(全 36 巻)・・・1 巻に 10 名収録 [全 300 名]
- ⑥DVD『戦争体験者証言多言語吹き替え映像』・・・1 枚に 1 名収録
- ⑦DVD『日系二世が見た戦中・戦後』(全 4 巻)1 巻に 4 ~ 6 名収録 [全 19 名]【日本語版・英語版】
- ⑧Blu-ray『住民の見た沖縄戦証言』(2 枚 1 組セット [全 70 名])
- ⑨戦後の戦争体験者証言映像収録「戦世からのあゆみ」(日本語版 DVD 6 枚に 30 名収録)
- ⑩戦後の証言映像「世替わりを生きて」(DVD 1 枚に 1 名収録)《20 名分》
- ⑪沖縄戦学習動画「礎が紡ぐ沖縄戦の記憶」(小学生版、中高校生版)

3 撮影・掲載等利用／特別利用一覧

令和8年3月31日現在

番号	申請者名（敬称等略）	資 料 名	点数	区分	許可日
1	共同通信社 岩崎 稔	実物資料8点 （「投稿勧告ビラ /SYZ000004968」「投稿勧告ビラ /SYZ000007497」「認識票（日本軍） /SYZ000016324」「懷中時計 /SYZ000016371」「櫛 /SYZ000016854」「ラッパ /SYZ000017181」「双眼鏡 /SYZ000017941」「軍靴 /SYZ000019017」）	8	撮影 掲載 放映	4月8日
2	合唱団ひぐらし 宮部 好広	第25回「児童・生徒の平和メッセージ」 【詩部門】高等学校の部 知念捷 「みるく世がやゆら」	1	掲載 利用	4月15日
3	株式会社 NHK グロー バルメディアサービス 事業推進室 室長 高木 克文	常設展示室内（第5展示室） ※令和4年度撮影の再放映 ※当館に著作権がある資料のみ	1	放映	4月16日
4	日本映画振興財団 林 隆行	常設展示室内（第1～第5展示室） ※ロケ ※当館に著作権がある資料のみ	1	撮影 放映	4月22日
5	わかやま市民生活協同 組合 松原 くるみ	米軍記録写真 [0231、0269、0296]	3	掲載	4月30日
6	若梅会 いのうえ ちず	沖縄県立第二高等女学校校章（白梅同窓 会寄託資料）	1	撮影	5月12日
7	株式会社 RBC ビジョン 代表取締役社長 砂川 恵一郎	常設展示室展示状況（第1、第2展示室） ※当館に著作権がある資料のみ 展示物「模型：防衛隊・義勇隊・学徒隊 ／軍事教練」「臨時召集令状」	3	撮影 放映 利用	5月13日
8	広島テレビ放送株式会 社 報道部専門部長 道閑 慎一	常設展示室（第2展示室、第3展示室、 第5展示室） ※ロケ ※当館に著作権が ある資料のみ	3	撮影 放映 利用	5月13日
9	読売新聞東京本社メ ディア局 寺沢昭典	米軍記録写真 [0019,0085,0137,0296]	4	利用	5月14日
10	沖縄タイムス社 武富 和彦	荒井退造氏肖像写真	1	掲載	5月15日
11	戦争と平和の資料館 ピースあいち 館長 宮原 大輔	戦世の記憶 - 戦争体験者多言語証言映像 - [No.03_堀川澄子 No.07_吉浜朝徳 No.10_金城重明 No.10_與座章健 No.16_西平幸子 No.21_仲本政子 No.26_喜屋武米子 No.27_宮城已知子 No.35_長嶺健一]	9	複製 掲載 放映	5月25日
12	太秦株式会社 小林 三四郎	資料番号：33-1「方言札（複製）」	1	複製 放映	6月17日
13	筑前町立大刀洗平和記 念館 館長 稲葉 佳奈	米軍記録写真 [0019, 0032]	2	複製 利用	6月17日
14	日本テレビ放送網株式会 社 プロデューサー 徳丸 郁	沖縄戦の絵 187-1_ 宮良 幸宏「疎開船へ の攻撃（台湾疎開途上 尖閣諸島近海での 空襲）」	1	複製 放映 利用	6月17日

番号	申請者名 (敬称等略)	資 料 名	点数	区分	許可日
15	ムーサ ピアノスクール 津田 裕子	平成 25 年度 第 23 回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 小学生低学年の部 最優秀賞 「へいわってすてきだね」安里 有生	1	利用	6 月 30 日
16	嘉手納町教育委員会 教育長 浦崎 直哉	戦争体験証言映像 (平成 16 年度収録) [松堂忠仁、吉浜朝徳、吉浜千代子、稲嶺盛純、嶺井巖、奥間偉功、伊波剛]	7	利用	7 月 7 日
17	平和へのメッセージ 2025 実行委員会 川島 明	令和 7 年度 第 35 回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 高等学校の部 最優秀「いしじの前に」座覇 結月	1	利用	7 月 7 日
18	劇団民藝おはなし会 藤巻 るも	平成 25 年度 第 23 回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 小学生低学年の部 最優秀賞 「へいわってすてきだね」安里 有生	1	利用	7 月 7 日
19	とやま朗読劇の会 浅田 陽子	平成 26 年度 第 24 回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 小学生低学年の部 最優秀賞 増田 健琉「空はつながっている」	1	利用	7 月 13 日
20	Force Blue Jim Ritterhoff	常設展示室 (第 4 展示室)	1	特別利用	7 月 17 日
21	NPO 法人 多摩住民自治研究所 荒井 文昭	令和 7 年度 第 35 回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 高等学校の部 最優秀「いしじの前に」座覇 結月	1	特別利用	7 月 25 日
22	日本共産党札幌東区後援会 渡部 克夫	令和 7 年度 第 35 回「児童・生徒の平和メッセージ」【詩部門】小学校高学年の部 最優秀 「おばあちゃんの歌」城間一步輝	1	特別利用	7 月 25 日
23	NPO 法人 多摩住民自治研究所 荒井 文昭	令和 7 年度 第 35 回「児童・生徒の平和メッセージ」【詩部門】小学校高学年の部 最優秀 「おばあちゃんの歌」城間一步輝	1	特別利用	7 月 31 日
24	日本友和会 理事長 野副 達司	令和 7 年度 第 35 回「児童・生徒の平和メッセージ」【詩部門】小学校高学年の部 最優秀 「おばあちゃんの歌」城間一步輝	1	特別利用	8 月 6 日
25	株式会社 鳥影社 百瀬 精一	「展示むすびのことば」	1	特別利用	8 月 6 日
26	女声合唱団 Stella 大塚 美保子	平成 27 年度 第 25 回「児童・生徒の平和メッセージ」【詩部門】高等学校の部 知念捷「みるく世がやゆら」	1	特別利用	8 月 9 日
27	広島のうたごえ協議会 高田 龍治	平成 27 年度 第 25 回「児童・生徒の平和メッセージ」【詩部門】高等学校の部 知念捷「みるく世がやゆら」	1	特別利用	9 月 18 日
28	女声合唱団 「不来方エコー」 野里 史子	令和 6 年度 第 34 回「児童・生徒の平和メッセージ」【詩部門】小学校高学年の部 「私は知りたい」酒井 琉羽奈	2	特別利用	9 月 22 日
29	斎藤宏子 個人の自主製作 鈴木 浩、市川 任男	常設展示室 (第 3、第 4 展示室)	1	特別利用	9 月 25 日

番号	申請者名 (敬称等略)	資 料 名	点数	区分	許可日
30	株式会社マガジンハウス 代表取締役社長 鉄尾周一	沖縄県平和祈念資料館の外観 常設展示室 (第2展示室)	1	特別 利用	10月28日
31	Futural Fundação Roberto Marinho Anna Penteado	常設展示室 (第3、第4展示室)	1	特別 利用	10月29日
32	ゆめのきフェスタ実行 委員会 石浜 繁子	平成25年度第23回「児童・生徒の平和 メッセージ」 詩部門 小学生低学年の部 最優秀賞 「へいわってすてきだね」安里 有生	1	特別 利用	11月10日
33	三上 智恵	常設展示室 (第3、第4展示室)	1	特別 利用	11月10日
34	合唱団ひぐらし 宮部 好広	平成27年度第25回「児童・生徒の平和 メッセージ」 詩部門 高等学校の部 知念捷「みるく世 がやゆら」	1	特別 利用	12月4日
35	エイベックス・エンタ テインメント株式会社 事業管理本部 契約管理 グループ 執行役員 ゼネラルマ ネージャー 五十嵐 真二	平成25年度第23回「児童・生徒の平和 メッセージ」 詩部門 小学生低学年の部 最優秀賞 「へいわってすてきだね」安里 有生	1	特別 利用	12月17日
36	Ever Green Travel 株式会社 代表取締役 社長 渡部 正章	常設展示室 (第3、第4展示室)	1	特別 利用	12月24日
37	東京書籍株式会社 代表取締役社長 渡辺 能理夫	米軍記録写真 0227 SYZ000017506 九七式手榴弾 (弾体)	2	特別 利用	1月21日
38	株式会社アルバ 藤富士乃	沖縄県平和祈念資料館外観写真、常設展 示室 (第2、第3展示室)	3	特別 利用	1月28日
39	一般社団法人 東北 ユースオーケストラ 押木 正人	平成25年度第23回「児童・生徒の平和 メッセージ」 詩部門 小学生低学年の部 最優秀賞 「へいわってすてきだね」安里 有生	1	特別 利用	2月3日



アカナちゃん

V 教育普及事業

1 教育普及事業

(1) 第35回「児童・生徒の平和メッセージ展」

本県は、去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦の場となり、20万余の貴い生命とかけがえのない文化遺産を失った。戦後80年を経過した現在、この歴史的な事実を風化させることなく次の世代に正しく継承させていくために児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して、児童・生徒が戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会とした。また、応募作品の中から優秀な作品を選定し、展示、広報することを通して、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを発信する機会とした。



ポスター

①応募総数 1,976 点

(図画 746 点 作文 293 点 詩 973 点)

②戦後80年沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読者

豊見城市立伊良波小学校6年 城間 一步輝 「おばあちゃんの歌」

③展示会

- ・糸満市（沖縄県平和祈念資料館） 期間： 6月23日（月）～ 7月 2日（水）
8月18日（月）～ 8月31日（日）
- ・石垣市（八重山平和祈念館） 期間： 7月 9日（水）～ 7月19日（土）
- ・宮古島市（宮古島市未来創造センター） 期間： 7月26日（土）～ 8月 6日（水）
- ・名護市（名護市立中央図書館） 期間： 9月 5日（金）～ 9月14日（日）
- ・那覇市（沖縄県立図書館） 期間：10月 1日（水）～ 10月13日（月）

④表彰式

- ・令和7年8月23日（土）14:00～16:00
平和祈念資料館 1階平和祈念ホール

⑤入賞作品数（214点）

【小学校低学年の部】40作品

	最優秀	優 秀	優 良	佳 作	合 計
図 画	1	2	4	5	12 作品
作 文	1	2	2	14	19 作品
詩	1	1	1	6	9 作品

【小学校高学年の部】45作品

	最優秀	優 秀	優 良	佳 作	合 計
図 画	1	2	4	9	16 作品
作 文	1	2	3	4	10 作品
詩	1	2	7	9	19 作品

【中学校の部】45 作品

	最優秀	優 秀	優 良	佳 作	合 計
図 画	1	2	7	6	16 作品
作 文	1	2	6	4	13 作品
詩	1	2	7	6	16 作品

【高等学校の部】58 作品

	最優秀	優 秀	優 良	佳 作	合 計
図 画	1	2	7	11	21 作品
作 文	1	3	9	9	22 作品
詩	1	2	7	5	15 作品

【特別支援（学校及び学級）の部】26 作品

	最優秀	優 秀	優 良	佳 作	合 計
図 画	1	2	5	8	16 作品
作 文	0	0	1	1	2 作品
詩	1	1	2	4	8 作品

⑥展示会の様子（沖縄県平和祈念資料館）



展示会開会式（6月23日）



記念撮影（作品の朗読者）（6月23日）



図画紹介

沖縄県立小禄高等学校
3年 板良敷 花怜



浦添市立浦添小学校
6年 具志堅 まある



作文朗読

那覇市立天久小学校
2年 知念 芽生



沖縄県立開邦中学校
2年 謝花 日菜



詩朗読

糸満市立西崎小学校
6年 金城 佐亮



詩朗読

沖縄県立那覇西高等学校
3年 座覇 結月

⑦表彰式の様子



記念撮影（図画部門）



作品紹介（図画）
沖縄市立宮里中学校
2年 安仁屋 優奈



記念撮影（作文部門）



朗読（作文）
那覇市立天久小学校
6年 知念 由依



記念撮影（詩部門）



朗読（詩）
石垣市立登野城小学校
3年 宮里 一誓

(2) 「こどもの日」ビデオ上映会

[期日] 令和7年5月5日(月)

[場所] 平和祈念資料館 1階平和祈念ホール

[内容] こどもの日は、子どもを対象に無料入館を実施するとともに、沖縄戦に関するアニメの上映会を実施した。



(3) 「慰霊の日」沖縄戦関連ビデオ上映会

[期日] 令和7年6月23日(月)

[場所] 平和祈念資料館 1階平和祈念ホール

[内容] 当館設立理念の普及啓発を図る目的で、慰霊の日は、開館時間を1時間延長するとともに、沖縄戦関連ビデオの上映会を実施した。



(4) 夏休み子ども向け企画

① 夏休み自由研究相談室

[期間] 令和7年7月19日(土)～8月31日(日) 10:00～17:00

[場所] 平和祈念資料館 1階情報ライブラリー

[内容] 沖縄戦に関する自由研究の進め方や疑問点などの相談に対応した。

[相談者数] 32名

② 夏休み子ども教室 ーきいて、みて、さわってー

[期日] 令和7年7月27日(日) 13:00～16:00

[場所] 平和祈念資料館 1階情報ライブラリー

[内容] 学芸員の解説や戦争体験者の証言を聞き、当時の写真や資料を見て、実際に戦争で使用された道具などの実物資料に触ることにより、子どもたちが戦争や平和について理解を深める機会とした。また、研究シートを活用し、自由研究ノートなどの作成を行った。

[参加者数] 12名



学芸員の解説を聞く親子



実物資料に触れる子ども

2 教育機関等との連携

(1) 平和講話

設立理念にうたわれた「沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、もって恒久平和の樹立に寄与する」ことを具体化したものに県内の小中高校、特別支援学校等に実施している平和講話がある。

児童・生徒が常設展示室を見学する前に、沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや戦闘の経緯、特徴、常設展示室の紹介など、60分程度で要点をおさえて説明するとともに平和のために一人ひとりが取り組めることは何かを考えさせる内容としている。

[平和講話実施状況] 総計 96 校 (101 回) [9,460 人]

- ・ 小学校 75 校 (77 回) [6,808 人]
- ・ 中学校 8 校 (8 回) [1,028 人]
- ・ 高等学校 9 校 (12 回) [1,433 人]
- ・ 特別支援学校 4 校 (4 回) [191 人]



(2) 離島・遠隔地講師派遣事業

所在地が離島又は遠隔地にある沖縄県内の学校（※）が、当館の展示室見学に係る事前学習又は事後学習として平和講話を依頼する場合、申請理由を検討し当館が当該学校へ講師を派遣している。

令和 7 年度の実績はなし。

【※対象について】

- ① 沖縄県内の学校教育法における小学校、中学校及び高等学校で、所在地が小中学校は国頭地区・恩納村、高等学校・特別支援学校は北部地区にあって、当館での平和講話の受講が困難なもの。
- ② いじめや疾病等の理由で、学校教育法に定める学校に通うことができない児童生徒の教育支援を行っている、いわゆるフリースクールで、所在地が沖縄県内の離島または遠隔地にあって、当館での平和講話受講が困難なもの。

(3) 児童・生徒の職場体験（インターンシップ）の受け入れ

児童・生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では、学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの生徒・学生を受け入れている。

令和 7 年度の実績はなし。

(4) 沖縄少年院連携事業

児童・生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では、沖縄少年院からの要望に応じて、平和講話及びフィールドワークの生徒を受け入れている。

令和 7 年度の実績はなし。

(5) 大学連携事業

県内大学のゼミ等と連携した取組を通して、沖縄戦の実相と教訓の継承を担う人材の育成を図る。学芸員養成課程を受講する学生が常設展示室の見学を通して沖縄戦及び平和の大切さについて学習する。

令和7年度の実績はなし。

(6) 博物館学芸員実習の受け入れ

県内外の大学で学芸員資格を得ようとする学生を受け入れ、当館事業の一端を学ぶことを通して、学芸員としての資質を磨くことを目的としている。

令和7年度の実績はなし。

(7) 大人のための平和学習 ～1から学ぶ沖縄戦～

[期 日] 令和7年5月25日、6月29日、7月27日、8月24日、9月28日、10月26日、
11月23日、12月21日、令和7年1月25日、2月22日【10回実施】

[場 所] 平和祈念資料館 2階大会議室

[内 容] 大人を対象に、平和講話（沖縄戦の経緯と特徴、沖縄戦の記憶の継承）及び常設展示室見学を行う。大人世代が「沖縄戦を1から学ぶ」ことを通して、家庭で子や孫と一緒に沖縄戦や平和について話し合う契機とし、世代間における沖縄戦の実相と教訓の継承に繋げることを目的とする。

[参加者] 合計 130 名



沖縄戦に関する平和講話



実物資料を手にする受講者



アカナちゃん

3 講座・講習会・研修会

(1) 沖縄県平和祈念資料館利用案内説明会

沖縄戦の実相と歴史的教訓を後世へ正しく伝え、平和発信に関する当館の取り組みを広く県内小中高等学校及び特別支援学校等の教育現場に周知し、平和学習における連携を深め、児童・生徒に平和を大切にする「沖縄のこころ」を育むことを目的として、毎年、年度当初に説明会を開催している。

〔期 日〕 令和7年4月4日（金） 14:00～15:30

〔場 所〕 平和祈念資料館 2階大会議室

〔参加者〕 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭等

当日参加者6人（4校） オンデマンド動画視聴19校

※令和7年度よりオンデマンド動画配信を実施

【配信期間：令和7年4月3日（木）～4月17日（木）】

〔内 容〕（1）沖縄県平和祈念資料館について（設立理念、資料館の概要等について）

（2）令和6年度事業紹介（児童・生徒の平和メッセージ展等）

（3）教育機関との連携事業

①県内学校向け平和講話

②平和学習キット、証言映像貸出等

③離島・遠隔地講師派遣事業

（4）質疑応答

（5）学芸員による常設展示室案内



貸出資料の展示



資料の説明



学芸員による展示室案内

(2) 県立学校初任者研修

県立高等学校及び県立特別支援学校において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。

〔期 日〕 令和7年5月8日（木） 14:00～15:00

〔場 所〕 平和祈念資料館 1階平和祈念ホール及び常設展示室、平和祈念公園

〔受講者〕 県立学校初任者 78名

〔内 容〕 講義「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

(3) 養護教諭初任者研修

本年度新採用された養護教諭初任者を対象とする研修会において講義を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資することをねらいとしている。

〔期 日〕 令和7年5月13日（火） 11:00～12:00

〔場 所〕 県立総合教育センター 第3研修室（本館3階）

〔受講者〕 養護教諭初任者 5名

〔内 容〕 講義「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

〔方 法〕 オンライン研修

(4) 島尻教育事務所中堅教諭等資質向上研修

教員の中堅教諭を対象とする島尻教育事務所主催の研修会における研修動画を作成した。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資することをねらいとしている。

[配信日] 令和7年5月20日(火)～6月17日(火)

[場 所] 各学校

[受講者] 島尻教育事務所管内 小・中学校、養護教諭、学校栄養職員、幼稚園・認定こども園の中堅教諭等

[内 容] 講義「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

[方 法] オンデマンド配信

(5) 幼稚園・幼保連携型認定こども園初任者研修

幼稚園及び幼保連携型認定こども園において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。

[期 日] 令和7年6月5日(木) 10:50～12:00

[場 所] 沖縄県立総合教育センター 多目的研修等

[受講者] 幼稚園・認定こども園初任者 94名

[内 容] 講義「学校教育における平和教育の意義と必要性について」

(6) 島尻教育事務所初任者研修

教員の初任者を対象とする島尻教育事務所主催の研修会において講義及び常設展示室見学を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資することをねらいとしている。

[期 日] 令和8年1月22日(木) 14:00～16:45

[場 所] 平和祈念資料館 2階大会議室及び常設展示室

[受講者] 島尻教育事務所管内 小・中学校 88名

[内 容] 講義「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

[見 学] 常設展示室案内：本館学芸班職員3名

(7) 那覇教育事務所初任者研修

教員の初任者を対象とする那覇教育事務所主催の研修会における研修動画を作成した。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資することをねらいとしている。

[配信日] 令和7年7月24日(木)～8月22日(金)

[場 所] 各学校

[受講者] 那覇教育事務所管内 小・中学校 25名

[内 容] 講義「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

[方 法] オンデマンド配信

(8) 学校栄養職員初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修

本年度新採用された学校栄養職員初任者及び中堅者を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、関わり方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。また、児童・生徒が身近に感じる学校給食との関連性から平和を意識させる工夫・改善や、学校教諭との連携を密にしながら平和教育に取り組む姿勢を学ぶことをねらいとしている。

[期 日] 令和7年8月20日(水) 10:45 ~ 12:00

[場 所] 沖縄県立総合教育センター 第1研修室(本館3階)

[受講者] 学校栄養職員初任者及び中堅者 2名

[内 容] 講義「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

(9) JICA 課題別研修「基礎教育における格差対策のための教育行政強化コース」

[対象国: インドネシア他 11ヶ国]

本研修は、基礎教育行政を担当する開発途上国中央省庁等の行政官を対象とし、教育格差是正にかかる日本や沖縄の経験を学ぶことで、それぞれの国の教育格差に関する課題を明らかにするとともに、実現性・実効性の高い改善策を検討していくことを目的として実施した。

[期 日] 令和7年6月5日(木) 14:00 ~ 15:00

[場 所] 平和祈念資料館 2階大会議室(※講義後、常設展示室見学)

[受講者] 13名(インドネシア他 11ヶ国)

[機 関] 特定非営利活動法人 レキオウィングス

[内 容] 講義「沖縄戦についての講話及び沖縄県平和祈念資料館の平和事業の取り組み」

(10) JICA 日系社会研修「沖縄ルーツの再認識を通して学ぶソフトパワー活用と地域活性化」

沖縄にルーツのある日系人や沖縄県人会等地域社会のリーダーを対象に、沖縄の歴史・文化・戦後復興の歩みを学び、ルーツである沖縄を再認識すると共に、薄れつつある沖縄アイデンティティを強化し、研修員所属日系地域のコミュニティの活性化と発展に寄与する若きリーダーを育成することをねらいとしている。

[期 日] 令和7年10月17日(金) 14:00 ~ 15:00

[場 所] 平和祈念資料館 2階大会議室(※講義後、常設展示室見学)

[受講者] 沖縄にルーツのある県系人 13名(ブラジル、ペルー)

[機 関] 特定非営利活動法人 レキオウィングス

[内 容] 講義「沖縄県平和祈念資料館の平和事業の取り組み」

(11) JICA 国別研修 コロンビア「和解と平和に向けた教育強化研修」

本研修は、前身である「平和教育における現職教員研修制度強化」を通して沖縄及び日本の平和教育の意義・実践方法を教授し、コロンビアの平和教育の改善、質の向上を図ってきたが、基礎的な知見の習得だけに留まらず開発効果を上げるために、紛争被害の影響を大きく受け、和平協定の一環である地域重点開発計画対象自治体向けに、現職教員を対象とした研修計画やアクションプランの策定と継続的な実践能力の強化を図ることで、平和教育のさらなる普及・拡大を目指している。

[期 日] 令和7年11月19日(水) 14:00 ~ 15:00

[場 所] 平和祈念資料館 2階大会議室(※講義後、常設展示室見学)

[受講者] 10名(コロンビア国)

[機 関] 特定非営利活動法人 レキオウィングス

[内 容] 講義「沖縄県平和祈念資料館の平和事業の取り組み」

(12) 沖縄県平和祈念資料館講習会

県内の旅行・観光等の関係機関において、当館への案内業務に携わる方々を対象に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容や沖縄戦について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に、講習会を毎年開催している。

[期 日] 令和8年3月10日(火) 13:30～15:45 (15:45～16:45 希望者のみ展示室見学)

[場 所] 平和祈念資料館 2階大会議室、常設展示室

[受講者] 県内観光業、旅行業および案内ガイド等関係機関 34名

[内 容] ・平和祈念資料館の概要について

- ・講話：「沖縄戦の特徴」(講師：平和祈念資料館学芸班学芸員 仲程 勝哉)
- ・平和祈念資料館展示の内容について
- ・展示室自由見学(希望者のみ)



平和講話の様子



平和講話の様子



自由見学する参加者



アカナちゃん

Ⅵ 広報活動・出版等

○『沖縄県平和祈念資料館 年報 第25号』

2024（令和6）年度、当館事業の実績報告書に関わる行政資料
入館者の概要、事業内容や活動報告等 A4版128頁、500部
※博物館、図書館等の施設へ配布。

○「資料館だより」 第49号、第50号

資料館の活動報告や事業計画等について掲載。年間2回発行（11月、3月）
A4版8頁、2,500部
※学校団体、公立図書館、博物館施設等へ配布。

○「第35回児童・生徒の平和メッセージ」

展示会告知ポスター A2 サイズ650枚 チラシ A4サイズ 3,000枚
次年度作品募集ポスター A3サイズ 4,300枚 報告書：A4版100頁、900部
※県内学校、市町村教育委員会等へ配布。

○『令和7年度「平和への思い（ウムイ）」発信・交流・継承事業報告書』

A4版85頁、850部（日本語版700部・英語版150部）
※参加者（各国・地域）が在籍する大学、国公立図書館、博物館、県内大学、高等学校等へ配布。

○『令和7年度 沖縄戦の語り継ぎ手養成事業報告書』

A4版35頁、600部
※県内の公立図書館、平和関連施設、平和ボランティア団体等へ配布。



Ⅶ 展示更新事業

1 沖縄県平和祈念資料館展示更新事業 実績

沖縄県平和祈念資料館の展示更新については、令和6年度に設置した監修委員会の意見等を踏まえ検討を進めており、令和7年1月に基本構想、令和7年10月に基本計画を策定し、基本設計に着手した。

2 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会

(1) 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会委員名簿

(任期：令和7年4月1日～令和8年3月31日)

部会等	氏 名	組織・役職名	備 考
会 長	仲 地 博	元沖縄大学 学長 琉球大学・沖縄大学 名誉教授	
①戦前・戦中時代	林 博 史	関東学院大学 名誉教授	
	瀬 戸 隆 博	恩納村史編さん係 会計年度任用職員	
	古 賀 徳 子	ひめゆり平和祈念資料館 学芸課長	
②戦後時代	宮 城 晴 美	新沖縄県史編集委員会 会長	副会長
	謝 花 直 美	琉球大学人文社会学部 准教授 ジャーナリスト	
	鳥 山 淳	琉球大学島嶼地域科学研究所 教授	
③平和の発信・学習	里 井 洋 一	県立博物館・美術館 館長 琉球大学 名誉教授	
	新 城 俊 昭	沖縄大学 客員教授 沖縄歴史教育研究会 顧問	
	今 理 織	NHK チーフ・ディレクター	
	山 城 彰 子	琉球大学国際地域創造学部 講師	
④八重山平和祈念館	石 堂 徳 一	八重山平和祈念館友の会 会長 石垣市文化協会 副会長	友の会：令和7年 6月1日発足
	宮 良 純一郎	八重山戦争マラリアを語り継ぐ会 事務局長 子どもと教科書を考える八重山地区住民の会 会長	
	山 口 剛 史	琉球大学教育学部 教授	

(2) 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会経過

①第5回監修委員会

期日：令和7年6月25日（水）14：00～16：00

場所：八汐荘（那覇市泉崎）

内容：・全体スケジュール

・基本計画の策定スケジュール

・沖縄県平和祈念資料館及び八重山平和祈念館展示更新基本計画（素案）

②第6回監修委員会

期日：令和7年8月27日（水）14：00～16：00

場所：平和祈念資料館 2階大会議室

内容：・基本計画（素案）に関するご意見に対する県の考え方（案）
・沖縄県平和祈念資料館及び八重山平和祈念館展示更新基本計画（最終案）

③第7回監修委員会

期日：令和7年12月16日（火）14：00～16：00

場所：平和祈念資料館 2階大会議室

内容：・各部会中間報告
・各部会と確認を要する事項等



監修委員会の様子

附記

- ①「戦前・戦中時代」部会 ： 6回開催
- ②「戦後時代」部会 ： 4回開催
- ③「平和の発信・学習」部会： 4回開催
- ④「八重山平和祈念館」部会： 5回開催



アカナちゃん

Ⅷ その他の事業

1 証言映像収録・編集・発信事業（沖縄平和啓発プロモーション事業）

(1) 実施目的

沖縄戦後の苦難及び復興と発展の道を歩んできた「終戦から復帰までの沖縄」の記憶を次世代に継承し、平和を希求する「沖縄のこころ」を世界に強く発信するために、戦後から日本復帰（1950年代～1972年）までの米国統治下の沖縄に関する証言映像の収録・編集及びWeb公開を行った。

(2) 実施主体

- ・主 催 沖縄県（主管 沖縄県平和祈念資料館）
- ・受託事業者 ①証言映像収録・編集・発信事業（収録）業務：株式会社シネマ沖縄
②証言映像収録・編集・発信事業（公開）業務：株式会社o k i c o m

(3) 事業期間

- ①証言映像収録・編集・発信事業（収録）業務
令和7年5月20日～令和8年3月17日
- ②証言映像収録・編集・発信事業（公開）業務
令和7年8月21日～令和8年3月31日

(4) 事業内容

終戦から日本復帰まで27年間に及ぶ米国統治下（「アメリカ世」）におかれた沖縄の諸相を示す証言映像20名分を収録・編集し、Webサイト「世替わりを生きて」に追加登録を行った。

(5) 事業詳細

当館では、これまで多くの沖縄戦体験者の証言を証言映像として記録し、館内及びWebサイト等。（「戦世の記憶」「戦世からのあゆみ」）を通じて公開している。令和4年度には、終戦から1972年の日本復帰まで米国統治下におかれた沖縄で、さまざまな体験をされた20名の方々の証言を戦後の証言映像「世替わりを生きて」を通して証言映像を公開し、令和5年度には多言語編集（英語、中国語、韓国語、スペイン語）を行った。今年度は令和4年度に引き続き、戦後の米国統治下時代にスポットを当てた証言映像を収録・編集・公開を行った。

証言内容も戦後の復興、米国留学、歴史編纂、沖縄ロック、琉球在来種保護、沖縄戦漫画、空手、復帰運動、戦後の流出文化財など多岐にわたり、当時の沖縄社会の諸相や人々が直面してきた問題などについて知ることができる内容となっている。映像中には、証言内容に関連した写真や映像等も挿入し、体験内容や当時の状況を理解しやすい構成となっている。県内外世代を問わず、多くの方々にご覧いただきたい。

【「世替わりを生きて」Web ページ】

<https://www.peace-museum.okinawa.jp/yogawari/>



戦後の証言映像

沖縄県平和祈念資料館では、これまで多くの戦争体験者の証言を記録し公開してきました。

令和7年度は、令和4年度に引き続き、戦後から1972年の日本復帰までの“アメリカ施政権下（アメリカ世）”におかれた沖縄で、さまざまな体験をされた20名の方々に、ご自身の体験を語っていただきました。

証言内容も、戦後の復興、復帰運動、土地闘争、コザ暴動（騒動）、オキナワンロック、国費留学（日本本土）、米国留学、沖縄空手など多岐にわたり、当時の沖縄社会の諸相や人々が直面してきた問題などについて、知ることができます。

証言者の紹介【50音順】

青川 恵昭さん

日本復帰前、琉球立法院勤務を経て、復帰後、美術デザイン社を共同経営。父が台湾2・28事件の犠牲者とする訴訟を台北高等行政法院に起こし、外国人遺族初の補償判決を受けた。

小渡 律子さん

米国統治下時代上京し、東京の大学で勉学に励む傍ら、「東京沖縄県学生会」の一員として沖縄の「祖国復帰運動」に情熱を注いだ。高校教師を退職後、「小椋9条の会」を立ち上げた。

喜屋武 幸雄さん

幼少の頃からコザ（現沖縄市）の繁華街で育つ。沖縄県ロック協会の設立に携わり、音楽イベントや文化振興、若手育成支援活動を通して、オキナワンロックの普及に尽力。

金城 正篤さん

琉球大学名誉教授。千葉大学、京都大学大学院を経て、琉球大学の教員となり、研究者・教育者の道を歩む。沖縄県史や歴代宝案編纂事業に携わる。

金城 實（実）さん

高校で英語を教える傍ら制作活動を始め、彫刻家の道へ。戦争や差別、人権をテーマにした表現活動を通して社会問題への強いメッセージを発信し続けている。

国吉 正雄さん

伊良部島佐良浜地区でグルクン（県魚・タカサゴ）のアギヤー漁を行う国吉組代表。後継者不足問題を抱えながらも古くから伝わる伝統漁法を守り続けている。

佐々木 末子さん

高校生の時に米軍の土地接収に抵抗する昆布土地闘争に参加。嘉手納基地爆音訴訟に原告として参加し、現在も沖縄の抱える基地問題について次世代に伝える活動を行っている。

島袋 正敏さん

ヤンバル（沖縄本島北部）の自然と暮らしをテーマにした名護博物館の立ち上げに関わり、初代館長を務める。泡盛文化の継承やアグー豚などの琉球在来動物の保護活動に尽力。

島袋 艶子さん

米国統治下で沖縄の民謡グループ「でいご娘」を姉妹で結成、県内外で公演する。長年にわたって地域の自治会長を務め、地域コミュニティ活動や小中高校で児童・生徒たちへ「平和の尊さ」を伝える活動を続けている。

新里 勝彦さん

沖縄空手道松林流喜舎場塾塾長。英米言語文化学科の教授として教育や研究に取り組む傍ら、「沖縄空手」の基本資料の調査・収集・編集・執筆に尽力した。「武術」としての沖縄空手を国内外に発信している。

新里 堅進さん

劇（漫）画家。膨大な「沖縄戦の証言資料」を駆使し、現場視察を通して緻密な調査を行い、50年以上に渡って「沖縄戦の実相」を描き、伝えることをテーマにした数多くの作品を発表している。

瀬名波 榮喜さん

米国留学を経験し、英文学博士号を取得。琉球大学教授を経て、名桜大学四代学長に就任。「第32軍司令部壕の保存・公開を求める会」会長や「全学徒の会」共同代表等、沖縄戦の語り部として平和活動に尽力。

平山 修さん

米国統治下時代に東京や米国での留学を経て、沖縄に戻り、沖縄キリスト教短期大学学長に就任する。沖縄の牧師として平和を訴える反戦・平和活動を精力的に行っている。

高安 藤さん

在沖米国総領事館勤務時代に沖縄戦で米国に流出した戦災文化財に関心を持ち、調査・研究を行う。沖縄戦で流出した琉球国王の肖像画「御後絵（おごえ）」返還に尽力。

高山 朝光さん

琉球大学職員、NHK勤務を経て、大田昌秀知事から知事公室長に抜擢され「平和の礎」建設の責任者を務める。沖縄戦体験者として戦争の悲惨さを語り継ぐ一方、沖縄の平和・国際交流事業に尽力。

仲宗根 将二さん

長年、宮古島の郷土史や文化財行政に携わり、平良市史編纂や文化財保護活動等の事業に多く携わる。平良市総合博物館館長や宮古郷土史研究会会長等を務める。

古堅 重子さん

宮古島の「南静園」での勤務を経て、「沖縄愛楽園」でハンセン病患者の看護に従事。定年退職後も老健施設や知的障害施設で看護職を91歳まで続ける。

宮城 涼子さん

聖クララ教会修道院シスター。幼少の頃、フィリピンで戦争を体験。現在も生活困窮者支援、反戦活動、環境保全活動、県内外からの平和学習交流プログラムの受け入れ等、様々な人材育成活動に取り組む。

宮永 英一さん

オキナワンロックの第一世代として、ロックバンド「紫」や「コンディション・グリーン」などのバンドでドラムやボーカルで活躍。ロックと琉球音階に影響を受けた楽曲制作にも取り組む。

森口 豁さん

沖縄をテーマにしたドキュメンタリーを数多く制作。米国統治下の沖縄を知る数少ない日本人ジャーナリスト。復帰前後の沖縄の実態を伝えることをライフ・ワークとして、日本本土で活動する。

沖縄県平和祈念資料館

〒901-0333

沖縄県糸満市摩文仁 614 番地の 1

TEL.098-997-3844 FAX.098-997-3947

資料館のホームページから

戦争体験者の証言映像「戦世の記憶」「戦世からのあゆみ」もご覧いただけます。



証言映像は Web サイト「世替わりを生きて」から公開しております。どうぞご覧ください。

2 「平和への思い(ウムイ)発信・交流・継承事業」(沖縄平和啓発プロモーション事業)

(1) 実施目的

沖縄と同様に、悲惨な戦争体験などを有し、体験の継承と平和構築に取り組むアジア諸国・地域と日本の学生が共に学びつつ相互理解を深め、平和について考える機会を提供し、各国・地域の平和教育・平和活動に資するとともに、本事業で培った絆により平和構築のためのネットワーク形成と広く平和のために活動する人材を育成し、事業の成果を平和教育等に継続的に活用する目的で実施した。

令和元（2019）年から事業が始まり、令和4（2022）年度は、海外の参加者はオンラインで、広島、長崎、沖縄の参加者は対面で参加するという、ハイブリッド形式で事業を実施した。令和7（2025）年度は前年度同様に完全対面実施となり、全員沖縄に参集し共同学習を行った。

(2) 実施主体

- ・主催 沖縄県（主管 沖縄県平和祈念資料館）
- ・受託事業者 特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター（OPAC）

(3) 事業期間

- ・令和7年9月～令和8年3月13日（金）
- ・共同学習：令和7年11月24日（月）～11月30日（日）（会場：平和祈念資料館ほか）

(4) 参加者

	参加国・地域	学習テーマ	参加者数	
			学生	指導者・通訳
1	カンボジア	カンボジア大虐殺 (ポル・ポト政権下の大虐殺)	5名	2名
2	韓国	済州島4.3事件	5名	1名
3	台湾	2.28事件	5名	1名
4	ベトナム	ベトナム戦争	5名	1名
5	日本（沖縄県）	沖縄戦	5名	1名
6	日本（広島県）	広島県における原爆投下	5名	1名
7	日本（長崎県）	長崎県における原爆投下	5名	1名

注）学生は、大学生・大学院生である。通訳は指導者が務めた。

(5) 事業成果

昨年と同様に、参加者全員が沖縄に集い、共同学習を開催することが出来た。共同学習では、初日に「チームビルディング・ワークショップ」、新聞紙タワーの作成を通して親睦を深め、以後の研修を潤滑に進めることが出来た。また、参加者による各国・地域の戦争体験等に関する学習成果の発表及び質疑応答を通して、アジア諸国の学生が戦争・紛争等の実相や悲惨な経験を通して得た教訓を学んだ。

平和祈念資料館、平和の礎では沖縄戦の実相を理解し、嘉数高台公園では、日米の戦闘経緯を学び、眼下に広がる普天間基地を体感した。首里城公園では、琉球王国の繁栄と先の大戦を指揮した第32軍司令部壕跡から、明暗を分ける2つの歴史を学んだ。また、「モノが語る沖縄戦」や「沖縄の基地問題と安全保障」の講義では、多角的な視点に立ち考えることの重要性を学んだ。

南風原文化センターでは、戦跡を通した平和の発信について学んだ。戦争の記憶の継承手段が「人」から「モノ」へ変わっていくなかで、現場に足を運ぶことの重要性や語り継ぐことの意味を深く考えさせられた。また、地元の高校生への出前事業と交流会では、自分たちが学んだ内容をポスターセッション形式で発表し、大学生との国際交流は有意義だったと好評であった。最終日には成果報告会を実施し、各国・地域の学習成果の発表、「痛みをどのように共有するのか」というテーマでパネルディスカッションを行った。「痛み」について核心にせまる議論が行われた。



1 チームビルディング



2 各発表



3 嘉数高台公園



4 第32軍司令部壕跡



5 南風原陸軍病院壕



6 安全保障の講義



7 高校生との交流



8 シンポジウム

3 沖縄戦の語り継ぎ手養成事業(平和啓発プロモーション事業)

(1) 実施目的

戦後 80 年が経過し、戦争体験者の高齢化に伴い、これまで第一線で平和講話（学習）を担ってきた貴重な人材が減少しており、体験談を直に聞く機会がなくなる日が近づいている。また、現在活動中のボランティア団体等による平和講話の担い手の高齢化に伴い、後継者の育成が急務となっている。本事業では、沖縄戦の実相について語れる平和ガイドや、平和学習を实践できる人材を育成するための養成講座を実施している。また、令和 6 年度の受講生を対象としたフォローアップ研修も行った。

(2) 実施主体

- ・主 催：沖縄県（主管 沖縄県平和祈念資料館）
- ・受託業者：株式会社 うなゐ沖縄

(3) 事業期間及び会場

- ・期 間：令和 7 年 8 月 23 日（土）～ 12 月 6 日（土）
- ・会 場：平和祈念資料館（糸満市）・結い心センター（石垣市）ほか

(4) 事業スケジュール

月	日	回	内 容	時間
8 月	23	1	オリエンテーション 開校式	2.5
		2	講座：沖縄の近代史・琉球王国～戦前の沖縄	3
	30	3	講座：沖縄本島及び離島地域における沖縄戦	2.5
		4	講座：八重山戦争マラリア	3
9 月	13	5	講座：沖縄の戦後復興、戦後～現在	2.5
		6	講座・実習：沖縄戦体験者の語り継ぎ手に関する講座及び実習	3
	20	7	沖縄島中部の戦争関連遺跡及び施設（フィールドワーク：沖縄会場） 石垣島内の戦争関連遺跡及び施設（フィールドワーク：石垣会場）	5 5
10 月	4	8	沖縄島南部の戦争関連遺跡及び施設（フィールドワーク：沖縄会場） 西表島内の戦争関連遺跡及び施設（フィールドワーク：石垣会場）	5 5
	11	9	講座：レポートの作成について	2.5
		10	講座・実習：平和学習ファシリテートについて	3
11 月	8	11	講座・実習：沖縄戦体験者の語り継ぎ手に関する講座及び実習	2.5
		12	講座・実習：平和講話・ガイド、語り継ぎの実践に関する講座及び実習	3
	15	13	講座・実習：平和講話・ガイド、語り継ぎの実践に関する講座及び実習	2
		14	閉校式・修了証書授与	1
12 月	6	1	R 6 年度受講生へのフォローアップ研修	3

(5) 事業成果

「沖縄戦の語り継ぎ手」を 37 名（沖縄本島会場 27 名、石垣会場 10 名）が修了した。



4 平和発信・継承活動強化事業(戦後80年平和祈念巡回展「島々の沖縄戦」) ※令和7年度限り

(1) 事業概要

戦後 80 年を祈念し、「平和を考える機会」を創出するため、離島を含めた各地の沖縄戦について分かりやすく、写真、地図、やさしい日本語を用いて、パネルで簡潔に紹介する平和祈念巡回展「島々の沖縄戦」を開催した。

(2) 展示日程

ア 座間味会場

会 場：慶良間諸島国立公園ビジターセンター
さんごゆんたく館（阿嘉島）

会 期：令和7年12月4日（木）～12月11日（木）

イ 伊江島会場

会 場：伊江村農村環境改善センター
（伊江村中央公民館となり）

会 期：令和7年12月18日（木）～12月25日（木）

ウ 宮古島会場

会 期：宮古島市未来創造センター

会 場：令和8年1月10日（土）～1月18日（日）

エ 与那国会場

会 場：DiDi 与那国交流館

会 期：令和8年1月24日（土）～1月31日（土）

オ 石垣島会場

会 場：八重山平和祈念館

会 期：令和8年1月28日（水）～2月19日（木）



巡回展ポスター



各会場で配布した図録

(3) 写真等



展示実施状況

(左上：伊江島会場 右上：石垣島会場
左下：宮古島会場)

Ⅸ 沖縄県平和祈念資料館入館者状況

1 月別入館者数

年 月	個人入館者数 ※1			団体入館者数 ※1			入館者総数 ※1			開館 日数	一日平均 入館者数※1	入館者 総数※2
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計			
令和7年4月	6,828 (261)	935 (44)	7,763 (305)	2,545 (257)	13,254 (1934)	15,799 (2191)	9,373 (518)	14,189 (1978)	23,562 (2496)	30	785	28,175
令和7年5月	7,001 (365)	876 (123)	7,877 (488)	4,334 (305)	27,835 (3487)	32,169 (3792)	11,335 (670)	28,711 (3610)	40,046 (4280)	31	1,292	44,431
令和7年6月	11,627 (2900)	3,780 (2074)	15,407 (4974)	3,173 (469)	22,074 (5380)	25,247 (5849)	14,800 (3369)	25,854 (7454)	40,654 (10823)	29	1,402	54,261
令和7年7月	7,783 (343)	1,978 (39)	9,761 (382)	934 (167)	2,585 (1373)	3,519 (1540)	8,717 (510)	4,563 (1412)	13,280 (1922)	31	428	19,319
令和7年8月	9,985 (450)	4,532 (67)	14,517 (517)	484 (58)	1,210 (346)	1,694 (404)	10,469 (508)	5,742 (413)	16,211 (921)	31	523	23,366
令和7年9月	6,147 (186)	1,513 (13)	7,660 (199)	970 (106)	6,355 (1052)	7,325 (1158)	7,117 (292)	7,868 (1065)	14,985 (1357)	30	500	20,638
令和7年10月	7,642 (263)	992 (52)	8,634 (315)	2,662 (38)	27,815 (633)	30,477 (671)	10,304 (301)	28,807 (685)	39,111 (986)	31	1,262	43,984
令和7年11月	8,427 (671)	967 (90)	9,394 (761)	3,425 (82)	36,553 (1252)	39,978 (1334)	11,852 (753)	37,520 (1342)	49,372 (2095)	30	1,646	52,381
令和7年12月	6,782 (538)	1,044 (42)	7,826 (580)	2,505 (140)	21,130 (1261)	23,635 (1401)	9,287 (678)	22,174 (1303)	31,461 (1981)	28	1,124	34,002
令和8年1月	6,387 (352)	887 (45)	7,274 (397)	1,926 (217)	11,311 (1261)	13,237 (1478)	8,313 (569)	12,198 (1306)	20,511 (1875)	28	733	24,442
令和8年2月	6,843 (271)	1,496 (37)	8,339 (308)	1,687 (45)	10,965 (584)	12,652 (629)	8,530 (316)	12,461 (621)	20,991 (937)	28	750	25,794
令和8年3月	7,926 (327)	2,769 (43)	10,695 (370)	1,586 (0)	5,739 (0)	7,325 (0)	9,512 (327)	8,508 (43)	18,020 (370)	31	581	23,713
合 計	93,378 (6927)	21,769 (2669)	115,147 (9596)	26,231 (1884)	186,826 (18563)	213,057 (20447)	119,609 (8811)	208,595 (21232)	328,204 (30043)	358	917	394,506

()は内数で無料入場者数

※1 は平和祈念資料館2階常設展示室に入室した人数

※2 は平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数

2 年度別入館者数

年度別	有料観覧										※無料 観覧者	観覧者 総 数	開館 日数	平均
	観覧券種別					出身別								
	大人個人(%)	大人団体(%)	小人個人(%)	小人団体(%)	県内	県外	外国	計						
平成12年度	161,361 (38)	71,140 (17)	24,658 (6)	163,644 (39)	111,401	305,812	3,590	420,803	60,215	481,018	310	1,552		
平成13年度	111,197 (37)	62,902 (21)	18,195 (6)	107,802 (36)	43,820	251,983	4,293	300,096	36,149	336,245	313	1,074		
平成14年度	97,221 (29)	40,624 (12)	17,362 (5)	184,047 (54)	27,955	307,328	3,971	339,254	39,539	378,793	314	1,206		
平成15年度	101,015 (27)	37,618 (10)	17,236 (5)	214,535 (58)	29,643	337,730	3,031	370,404	36,748	407,152	317	1,284		
平成16年度	91,980 (26)	33,004 (9)	16,329 (5)	215,603 (60)	31,597	321,305	4,014	356,916	37,195	394,111	312	1,263		
平成17年度	96,355 (25)	35,303 (9)	18,972 (5)	230,791 (61)	41,577	336,415	3,429	381,421	34,741	416,162	314	1,325		
平成18年度	107,813 (26)	33,767 (8)	21,342 (5)	253,821 (61)	14,330	398,291	4,122	416,743	32,987	449,730	359	1,253		
平成19年度	107,767 (26)	35,679 (9)	20,563 (5)	245,093 (60)	13,504	390,661	4,937	409,102	30,394	439,496	358	1,228		
平成20年度	96,789 (24)	32,933 (8)	18,998 (5)	252,573 (63)	8,985	388,269	4,039	401,293	31,870	433,163	359	1,207		
平成21年度	86,412 (23)	34,241 (9)	16,252 (4)	237,756 (64)	9,634	358,583	6,444	374,661	32,712	407,373	359	1,135		
平成22年度	81,124 (22)	31,767 (9)	15,092 (4)	234,255 (65)	9,906	345,521	6,811	362,238	33,992	396,230	355	1,116		
平成23年度	69,648 (19)	28,662 (8)	11,586 (3)	249,400 (70)	9,199	344,282	5,815	359,296	32,336	391,632	355	1,103		
平成24年度	70,341 (21)	29,600 (9)	10,469 (3)	227,827 (67)	8,869	322,946	6,422	338,237	29,318	367,555	352	1,044		
平成25年度	74,165 (22)	26,641 (8)	11,004 (3)	232,295 (68)	7,947	328,333	7,825	344,105	31,306	375,411	359	1,046		
平成26年度	70,529 (21)	27,000 (8)	10,276 (3)	223,917 (68)	7,486	314,598	9,638	331,722	30,370	362,092	353	1,026		
平成27年度	78,673 (23)	29,449 (9)	12,481 (4)	218,478 (64)	9,038	317,869	12,174	339,081	32,287	371,368	358	1,037		
平成28年度	75,390 (22)	27,261 (8)	12,454 (4)	226,001 (66)	7,963	319,109	14,034	341,106	31,396	372,502	356	1,046		
平成29年度	77,008 (24)	26,842 (8)	13,428 (4)	209,461 (64)	9,329	299,935	17,475	326,739	29,880	356,619	356	1,002		
平成30年度	73,156 (23)	26,482 (8)	13,434 (4)	204,277 (64)	7,793	292,491	17,065	317,349	31,274	348,623	349	999		
令和元年度	75,543 (25)	23,743 (8)	11,951 (4)	194,972 (64)	5,424	286,333	14,452	306,209	33,422	339,631	352	965		
令和 2 年度	21,096 (52)	1,838 (5)	4,053 (10)	13,485 (33)	3,542	34,994	1,936	40,472	7,104	47,576	278	171		
令和 3 年度	20,046 (36)	2,780 (5)	4,168 (8)	28,436 (51)	1,732	52,002	1,696	55,430	11,337	66,767	237	282		
令和 4 年度	38,961 (28)	7,931 (6)	8,801 (6)	81,988 (60)	4,163	130,429	3,089	137,681	22,115	159,796	243	658		
令和 5 年度	64,921 (26)	19,606 (8)	13,435 (5)	153,717 (61)	5,930	231,837	13,912	251,679	27,519	279,198	324	862		
令和 6 年度	75,187 (26)	22,549 (8)	16,379 (6)	171,313 (60)	6,148	260,401	18,879	285,428	27,923	313,351	356	880		
令和 7 年度	86,451 (29)	24,347 (8)	19,100 (6)	168,263 (56)	10,623	268,287	19,251	298,161	30,043	328,204	358	917		
累 計								8,205,626	814,172	9,019,798	8,656	1,042		

参考: 慰霊の日無料入館者数

年度	入館者数	年度	入館者数	年度	入館者数
平成12年度	4,966	平成21年度	4,649	平成30年度	3,333
平成13年度	3,157	平成22年度	5,479	令和元年度	2,888
平成14年度	4,750	平成23年度	3,665	令和2年度	1,038
平成15年度	4,259	平成24年度	3,240	令和3年度	0
平成16年度	4,849	平成25年度	3,797	令和4年度	2,697
平成17年度	3,815	平成26年度	3,239	令和5年度	2,959
平成18年度	2,813	平成27年度	4,007	令和6年度	3,578
平成19年度	3,785	平成28年度	3,701	令和7年度	4598
平成20年度	4,257	平成29年度	3,619	合 計	93,138

3 月別県内・県外学校、その他団体見学者(小人)観覧状況

月		児童・生徒・学生															その他 団体見学者 (小人)	合計
		県内					県外					県内・県外総計						
		小学校	中学校	高等学校	大学	計	小学校	中学校	高等学校	大学	計	小学校	中学校	高等学校	大学	計		
4月	団体数	16 (16)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	20 (20)	1 (0)	73 (0)	22 (2)	1 (0)	97 (2)	17 (16)	76 (3)	23 (3)	1 (0)	117 (22)	5 (3)	122 (25)
	人数	1,509 (1509)	356 (356)	18 (18)	0 (0)	1,883 (1883)	44 (0)	8,230 (8,230)	3,001 (3,001)	21 (0)	11,296 (11,296)	1,553 (1509)	8,586 (356)	3,019 (69)	21 (0)	13,179 (1934)	55 (0)	13,234 (1934)
5月	団体数	31 (31)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	37 (37)	2 (0)	160 (160)	33 (3)	0 (0)	195 (3)	33 (31)	165 (5)	34 (4)	0 (0)	232 (40)	2 (0)	234 (40)
	人数	2,714 (2714)	659 (659)	8 (8)	0 (0)	3,381 (3381)	112 (0)	20,485 (20,485)	3,798 (3,798)	0 (0)	24,395 (24,395)	2,826 (2714)	21,144 (659)	3,806 (114)	0 (0)	27,776 (3487)	22 (0)	27,798 (3487)
6月	団体数	42 (42)	11 (11)	8 (8)	1 (0)	62 (61)	4 (1)	76 (76)	39 (0)	3 (0)	122 (1)	46 (43)	87 (11)	47 (8)	4 (0)	184 (62)	22 (13)	206 (75)
	人数	2,881 (2886)	1,210 (1210)	1,066 (1066)	115 (0)	5,272 (5144)	514 (161)	10,607 (10,607)	5,323 (5,323)	71 (0)	16,515 (161)	3,395 (3029)	11,817 (1210)	6,389 (1066)	186 (0)	21,787 (5305)	193 (75)	21,980 (5380)
7月	団体数	15 (15)	1 (1)	4 (4)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	3 (0)	11 (0)	0 (0)	14 (0)	15 (15)	4 (1)	15 (4)	0 (0)	34 (20)	9 (0)	43 (20)
	人数	876 (876)	16 (16)	481 (481)	0 (0)	1,373 (1373)	0 (0)	361 (361)	621 (621)	56 (0)	1,038 (1,038)	876 (876)	377 (16)	1,102 (481)	56 (0)	2,411 (1373)	174 (0)	2,585 (1373)
8月	団体数	0 (0)	2 (2)	1 (1)	2 (0)	5 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (0)	0 (0)	3 (2)	2 (1)	4 (0)	9 (3)	25 (1)	34 (4)
	人数	29 (0)	233 (233)	18 (18)	55 (0)	335 (251)	0 (0)	92 (0)	20 (0)	45 (0)	157 (0)	29 (0)	325 (233)	38 (18)	100 (0)	492 (251)	718 (95)	1,210 (346)
9月	団体数	4 (4)	4 (4)	0 (0)	1 (0)	9 (8)	0 (0)	1 (0)	26 (0)	4 (0)	31 (0)	4 (4)	5 (4)	26 (0)	5 (0)	40 (8)	9 (0)	49 (8)
	人数	415 (415)	637 (637)	0 (0)	208 (0)	1,260 (1052)	0 (0)	116 (116)	4,589 (4,589)	207 (0)	4,912 (4,912)	415 (415)	753 (637)	4,589 (0)	415 (0)	6,172 (1052)	142 (0)	6,314 (1052)
10月	団体数	6 (6)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	7 (7)	1 (0)	15 (15)	132 (132)	0 (0)	148 (148)	7 (6)	15 (0)	133 (133)	0 (0)	155 (7)	1 (0)	156 (7)
	人数	313 (313)	0 (0)	320 (320)	0 (0)	633 (633)	38 (0)	1,974 (1,974)	25,123 (25,123)	13 (0)	27,148 (27,148)	351 (313)	1,974 (0)	25,443 (320)	13 (0)	27,781 (633)	34 (0)	27,815 (633)
11月	団体数	11 (11)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	12 (0)	183 (183)	0 (0)	195 (195)	11 (11)	14 (2)	184 (1)	0 (0)	209 (14)	1 (0)	210 (14)
	人数	518 (518)	100 (100)	634 (634)	0 (0)	1,252 (1252)	0 (0)	1,561 (1,561)	33,640 (33,640)	0 (0)	35,201 (35,201)	518 (518)	1,661 (100)	34,274 (634)	0 (0)	36,453 (1252)	100 (0)	36,553 (1252)
12月	団体数	18 (18)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	23 (23)	113 (113)	0 (0)	136 (136)	18 (18)	23 (0)	117 (5)	0 (0)	158 (23)	2 (0)	160 (23)
	人数	900 (900)	0 (0)	346 (346)	0 (0)	1,246 (1246)	0 (0)	1,751 (1,751)	17,830 (17,830)	0 (0)	19,581 (19,581)	900 (900)	1,751 (0)	18,176 (361)	0 (0)	20,827 (1261)	138 (0)	20,965 (1261)
1月	団体数	10 (10)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	1 (0)	5 (0)	58 (58)	0 (0)	64 (64)	11 (10)	5 (0)	59 (4)	0 (0)	75 (14)	4 (1)	79 (15)
	人数	829 (829)	0 (0)	381 (381)	0 (0)	1,210 (1189)	19 (0)	602 (602)	9,321 (9,321)	0 (0)	9,942 (9,942)	848 (829)	602 (0)	9,702 (432)	0 (0)	11,152 (1261)	139 (0)	11,291 (1261)
2月	団体数	5 (5)	2 (2)	0 (0)	1 (0)	8 (7)	4 (0)	9 (0)	55 (55)	1 (0)	69 (69)	9 (5)	11 (2)	55 (0)	2 (0)	77 (7)	2 (0)	79 (7)
	人数	234 (234)	350 (350)	0 (0)	333 (0)	917 (584)	253 (0)	1,437 (1,437)	8,307 (8,307)	18 (0)	10,015 (10,015)	487 (234)	1,787 (350)	8,307 (0)	351 (0)	10,932 (584)	7 (0)	10,939 (584)
3月	団体数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	38 (38)	1 (0)	42 (42)	0 (0)	3 (0)	38 (0)	1 (0)	42 (0)	7 (0)	49 (0)
	人数	21 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (0)	0 (0)	370 (370)	5,096 (5,096)	78 (0)	5,544 (5,544)	21 (0)	370 (0)	5,096 (0)	78 (0)	5,565 (0)	174 (0)	5,739 (0)
人数 合計	団体数	158 (158)	30 (30)	22 (22)	5 (0)	215 (210)	13 (1)	381 (381)	711 (711)	12 (0)	1,117 (1,117)	171 (159)	411 (31)	733 (31)	17 (0)	1,332 (220)	89 (18)	1,421 (238)
	人数	11,239 (11176)	3,561 (3561)	3,272 (3251)	711 (0)	18,783 (17988)	980 (161)	47,586 (47,586)	116,669 (116,669)	509 (0)	165,744 (165,744)	12,219 (11337)	51,147 (3561)	119,941 (3495)	1,220 (0)	184,527 (18393)	1,896 (170)	186,423 (1863)

() は内数で無料入館者数

4 市町村別団体入館者数

市町村名		小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校総数	人数	その他の団体		総計	
		学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1	那覇市	28	2,541	7	909	7	423	1	7	43	3,880	47	1,595	90	5,475
2	うるま市	7	552	3	465	3	704	0	0	13	1,721	6	285	19	2,006
3	宜野湾市	8	846	2	496	0	0	0	0	10	1,342	6	203	16	1,545
4	宮古島市	12	556	1	38	0	0	0	0	13	594	3	114	16	708
5	石垣市	14	421	0	0	0	0	0	0	14	421	1	69	15	490
6	浦添市	10	1,113	1	205	0	0	0	0	11	1,318	11	401	22	1,719
7	名護市	11	649	5	68	1	17	0	0	17	734	3	185	20	919
8	糸満市	7	502	3	163	2	258	0	0	12	923	7	169	19	1,092
9	沖縄市	3	267	1	76	5	766	0	0	9	1,109	15	500	24	1,609
10	豊見城市	7	848	1	181	1	45	0	0	9	1,074	9	208	18	1,282
11	南城市	6	410	0	0	0	0	0	0	6	410	1	26	7	436
12	国頭村	2	19	0	0	0	0	0	0	2	19	1	29	3	48
13	大宜味村	1	21	0	0	0	0	0	0	1	21	0	4	1	25
14	東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	今帰仁村	3	95	0	0	0	0	0	0	3	95	1	36	4	131
16	本部町	4	145	0	0	0	0	0	0	4	145	0	18	4	163
17	恩納村	2	66	0	0	0	0	0	0	2	66	2	16	4	82
18	宜野座村	1	27	0	0	0	0	0	0	1	27	1	52	2	79
19	金武町	3	114	0	0	0	0	0	0	3	114	1	35	4	149
20	伊江村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	21	1	21
21	読谷村	0	0	0	0	1	320	0	0	1	320	4	174	5	494
22	嘉手納町	0	0	1	127	1	25	0	0	2	152	6	279	8	431
23	北谷町	3	202	1	174	0	0	0	0	4	376	2	91	6	467
24	北中城村	1	68	2	195	1	51	0	0	4	314	0	65	4	379
25	中城村	2	190	1	149	1	75	1	22	5	436	2	82	7	518
26	西原町	3	363	0	0	0	0	1	22	4	385	3	59	7	444
27	八重瀬町	4	469	2	328	1	85	0	0	7	882	2	194	9	1,076
28	与那原町	3	223	0	0	0	0	0	0	3	223	1	27	4	250
29	南風原町	2	299	2	9	1	60	0	0	5	368	2	44	7	412
30	久米島町	4	61	0	0	0	0	0	0	4	61	0	17	4	78
31	渡嘉敷村	2	16	0	0	0	0	0	0	2	16	1	5	3	21
32	座間味村	1	5	0	0	0	0	0	0	1	5	0	3	1	8
33	粟国村	1	10	0	0	0	0	0	0	1	10	0	5	1	15
34	渡名喜村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	南大東村	1	9	0	0	0	0	0	0	1	9	0	3	1	12
36	北大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	伊平屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38	伊是名村	1	13	0	0	0	0	0	0	1	13	0	3	1	16
39	多良間村	1	15	0	0	0	0	0	0	1	15	0	4	1	19
40	竹富町	3	35	0	0	0	0	0	0	3	35	1	16	4	51
41	与那国町	3	24	0	0	0	0	0	0	3	24	0	9	3	33
合 計		164	11,194	33	3,583	25	2,829	3	51	225	17,657	140	5,046	365	22,703

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

5 都道府県別団体入館者数

都道府県名		小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
		学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1	北海道	0	0	0	17	12	1,413	0	0	12	1,430	7	347	19	1,777
2	青森県	0	0	1	78	0	0	0	0	1	78	0	10	1	88
3	岩手県	0	0	0	0	3	222	0	0	3	222	6	198	9	420
4	宮城県	0	0	1	61	9	725	0	0	10	786	1	69	11	855
5	秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	24	1	24
6	山形県	0	0	0	0	3	386	0	0	3	386	1	39	4	425
7	福島県	0	0	1	48	7	776	0	0	8	824	1	75	9	899
8	茨城県	0	0	2	277	23	3,926	0	0	25	4,203	3	391	28	4,594
9	栃木県	0	0	2	251	19	3,597	1	56	22	3,904	1	276	23	4,180
10	群馬県	0	0	0	0	8	1,375	1	21	9	1,396	1	109	10	1,505
11	埼玉県	0	0	3	307	64	12,698	0	0	67	13,005	9	1,077	76	14,082
12	千葉県	0	0	0	0	47	9,205	1	35	48	9,240	2	582	50	9,822
13	東京都	1	87	14	2,371	159	26,986	4	203	178	29,647	63	4,739	241	34,386
14	神奈川県	0	0	13	1,761	64	14,041	1	20	78	15,822	13	1,153	91	16,975
15	新潟県	0	0	1	104	9	1,661	0	0	10	1,765	3	245	13	2,010
16	富山県	0	0	1	156	2	165	0	0	3	321	1	48	4	369
17	石川県	0	0	0	0	1	87	0	0	1	87	1	41	2	128
18	福井県	0	0	0	0	3	204	0	0	3	204	2	73	5	277
19	山梨県	0	0	0	0	17	2,206	0	0	17	2,206	2	227	19	2,433
20	長野県	0	0	1	47	7	811	0	0	8	858	5	205	13	1,063
21	岐阜県	0	0	0	0	36	5,427	0	0	36	5,427	0	295	36	5,722
22	静岡県	0	0	1	106	33	5,207	0	0	34	5,313	4	461	38	5,774
23	愛知県	0	0	10	1,729	52	9,337	0	13	62	11,079	7	895	69	11,974
24	三重県	1	132	4	324	6	772	0	0	11	1,228	3	194	14	1,422
25	滋賀県	0	0	27	3,920	4	616	0	0	31	4,536	0	330	31	4,866
26	京都府	2	73	34	4,408	9	1,382	0	0	45	5,863	4	516	49	6,379
27	大阪府	4	413	92	13,089	25	3,911	2	39	123	17,452	11	1,609	134	19,061
28	兵庫県	1	24	34	4,300	22	2,960	0	0	57	7,284	4	663	61	7,947
29	奈良県	0	0	32	3,579	1	68	0	0	33	3,647	3	327	36	3,974
30	和歌山県	0	0	4	195	4	676	0	0	8	871	1	107	9	978
31	鳥取県	0	0	1	35	0	0	0	0	1	35	2	73	3	108
32	島根県	0	0	2	137	3	203	0	0	5	340	1	49	6	389
33	岡山県	0	0	51	5,191	3	299	0	0	54	5,490	3	572	57	6,062
34	広島県	0	0	9	553	19	2,587	0	0	28	3,140	4	539	32	3,679
35	山口県	0	0	0	0	0	0	1	41	1	41	2	78	3	119
36	徳島県	1	19	3	509	0	0	0	0	4	528	0	44	4	572
37	香川県	0	0	14	2,091	0	0	0	0	14	2,091	1	188	15	2,279
38	愛媛県	0	0	1	195	7	392	0	0	8	587	2	100	10	687
39	高知県	0	0	2	133	0	0	0	0	2	133	0	12	2	145
40	福岡県	0	0	4	698	17	1,714	1	81	22	2,493	5	302	27	2,795
41	佐賀県	0	0	1	132	1	152	0	0	2	284	2	108	4	392
42	長崎県	0	0	1	189	1	224	0	0	2	413	1	60	3	473
43	熊本県	0	0	7	344	2	48	0	0	9	392	2	129	11	521
44	大分県	0	0	0	0	2	58	0	0	2	58	3	51	5	109
45	宮崎県	0	0	1	126	2	86	0	0	3	212	3	169	6	381
46	鹿児島県	3	232	3	125	2	66	0	0	8	423	3	125	11	548
合 計		13	980	378	47,586	708	116,669	12	509	1,111	165,744	194	17,924	1,305	183,668
47	沖縄県	164	11,194	33	3,583	25	2,829	3	51	225	17,657	140	5,046	365	22,703

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

6 県内小・中・高校の地区別入館状況

県内小・中・高校の入館校数

小学校**157**校 中学校**28**校 高等学校**22**校

(県内学校総数 小学校263校 中学校152校 高校59校 特支22校)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
小学校	163校	164校	157校
中学校	27校	33校	28校
高等学校	14校	25校	22校

※特別支援学校は小・中・高の各学制に分けられています。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
国頭地区 小学校	27校	21校	26校
中学校	1校	4校	5校
高校	0校	1校	1校

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
中頭地区 小学校	35校	27校	29校
中学校	13校	11校	11校
高校	8校	8校	12校

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
那覇地区 小学校	30校	46校	47校
中学校	7校	6校	8校
高校	4校	8校	7校

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
宮古地区 小学校	16校	13校	13校
中学校	1校	0校	1校
高校	0校	0校	0校

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
島尻地区 小学校	36校	35校	29校
中学校	7校	7校	8校
高校	2校	5校	5校

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
八重山地区 小学校	19校	15校	20校
中学校	0校	0校	0校
高校	0校	0校	0校



対象：県立・国立の学校及び私立の小中学校
地区：各教育事務所が所管する地区
(学童クラブ・適応指導教室での入館は含まない)

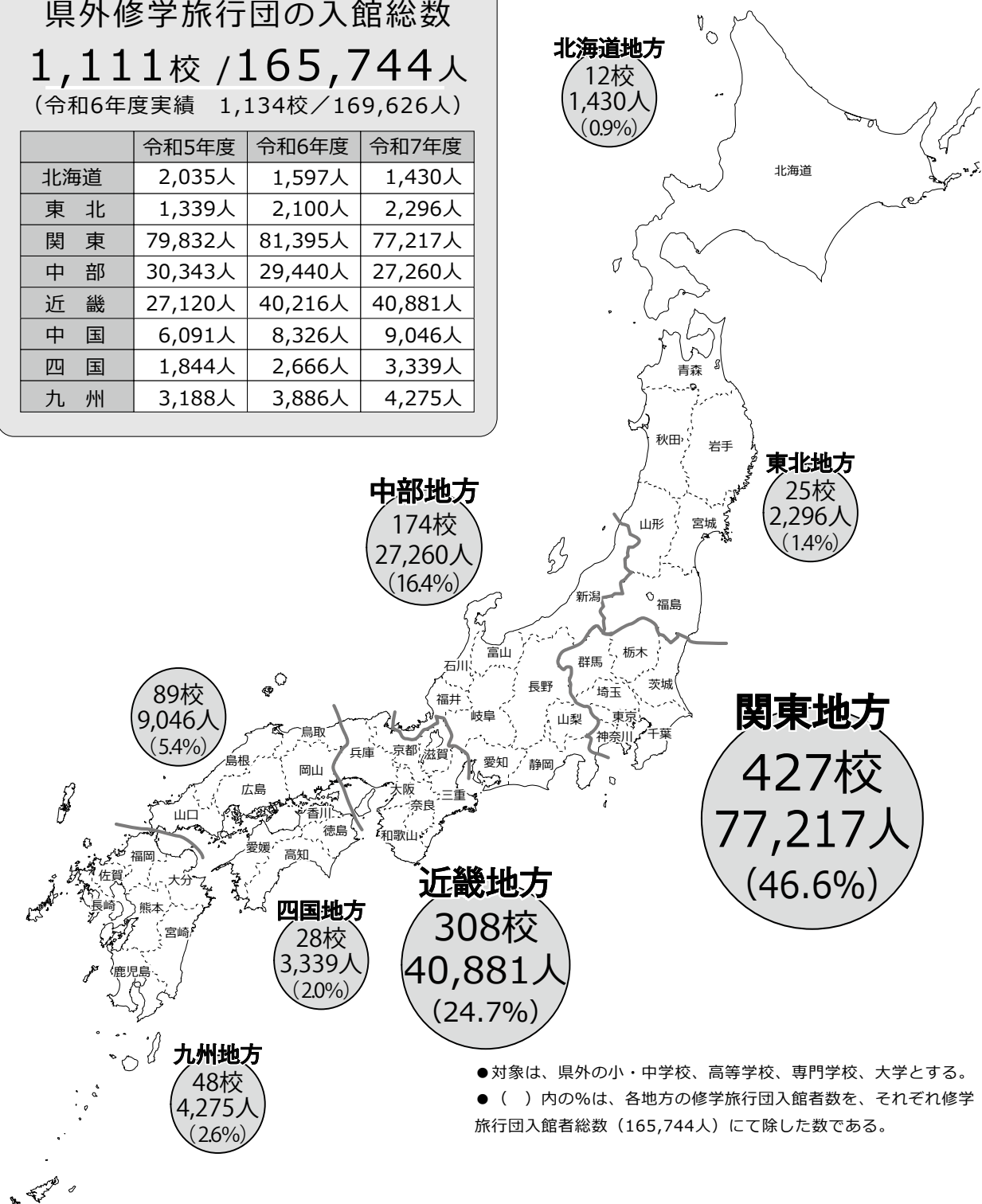
7 県外修学旅行団の地方別入館状況

県外修学旅行団の入館総数

1,111校 / 165,744人

(令和6年度実績 1,134校 / 169,626人)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
北海道	2,035人	1,597人	1,430人
東北	1,339人	2,100人	2,296人
関東	79,832人	81,395人	77,217人
中部	30,343人	29,440人	27,260人
近畿	27,120人	40,216人	40,881人
中国	6,091人	8,326人	9,046人
四国	1,844人	2,666人	3,339人
九州	3,188人	3,886人	4,275人



8 入館者数

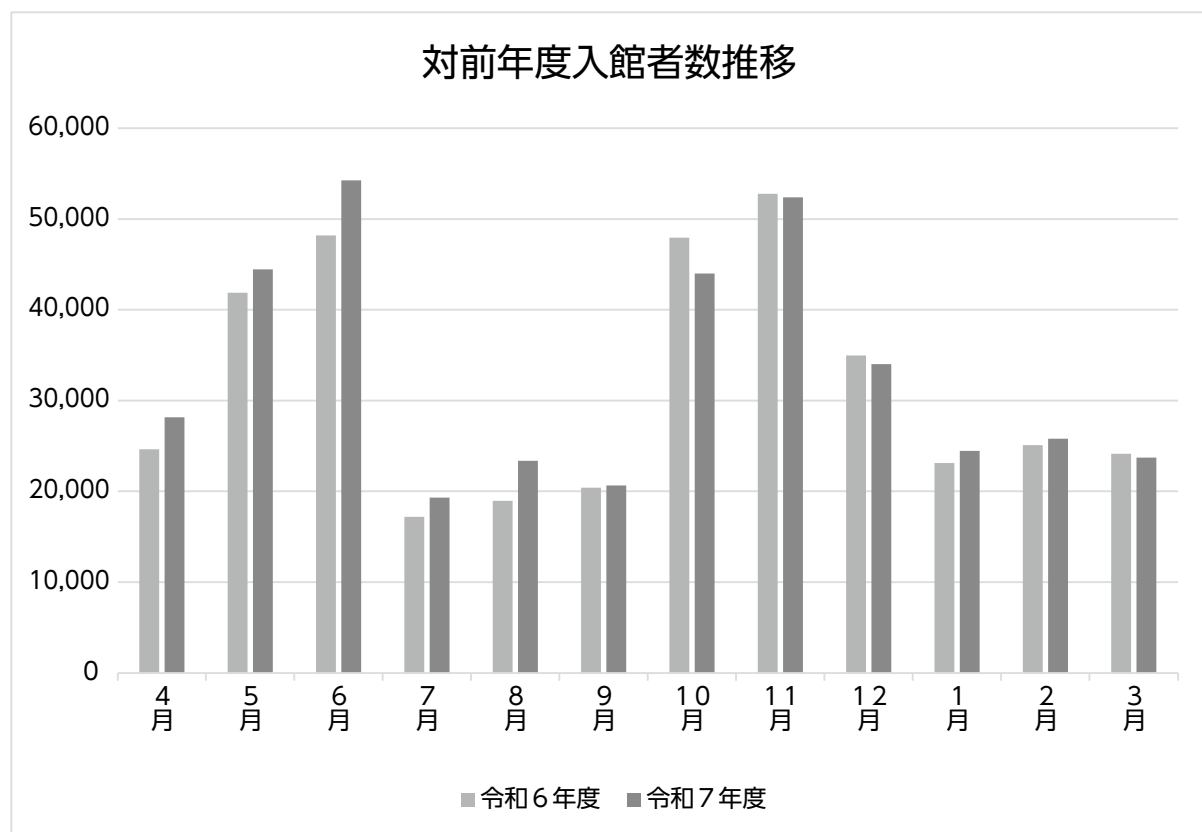
令和6年度

月	常設展示室 (有料区間)	総入館者数※
4月	18,841	24,628
5月	37,474	41,885
6月	37,298	48,183
7月	11,192	17,177
8月	13,609	18,972
9月	14,574	20,391
10月	43,519	47,941
11月	48,658	52,770
12月	31,772	34,956
1月	18,691	23,129
2月	20,225	25,089
3月	17,498	24,151
合計	313,351	379,272

令和7年度

月	常設展示室 (有料区間)	総入館者数※
4月	23,562	28,175
5月	40,046	44,431
6月	40,654	54,261
7月	13,280	19,319
8月	16,211	23,366
9月	14,985	20,638
10月	39,111	43,984
11月	49,372	52,381
12月	31,461	34,002
1月	20,511	24,442
2月	20,991	25,794
3月	18,020	23,713
合計	328,204	394,506

※平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数



9 展示案内対応一覧(令和7年度)

(昨年度比 18 回増)

No.	来館日	来 館 者
1	4 月 24 日	ジョージ・グラス 駐日米国大使
2	6 月 4 日	天皇皇后両陛下、愛子内親王殿下
3	6 月 23 日	中谷元 防衛大臣
4	6 月 23 日	中満泉 国際連合事務次長、田中重光 日本原水爆被害者団体協議会代表委員
5	6 月 23 日	金鍾旻 済州 4・3 平和財団理事長
6	7 月 4 日	内閣府政策統括官（沖縄政策担当）付企画担当参事官
7	7 月 29 日	栃木県宇都宮市議会（8 名）
8	8 月 19 日	千葉県市川市議会（2 名）
9	9 月 2 日	京都市議会（4 名）
10	9 月 10 日	愛知県地域福祉課恩給援護グループ（3 名）
11	9 月 12 日	愛知県議会（14 名）
12	9 月 18 日	自民党総合政策研究所（11 名）
13	9 月 19 日	済州道庁 4.3 支援課（5 名）
14	9 月 28 日	金愛淑 済州特別自治道政務副知事ほか（5 名）
15	10 月 12 日	ハワイ州グリーン知事ほか（49 名）
16	10 月 14 日	四日市議会（7 名）
17	10 月 17 日	東京都北区議会（6 名）
18	10 月 27 日	九州知事会（57 名）
19	10 月 29 日	岐阜県議会（11 名）
20	11 月 6 日	静岡県知事ほか（28 名）
21	11 月 18 日	愛知県豊橋市議会（2 名）
22	11 月 21 日	兵庫県議会（3 名）
23	12 月 12 日	大西洋平 外務大臣政務官
24	1 月 16 日	長崎県長崎市議会（9 名）
25	1 月 21 日	埼玉県東松山市議会（3 名）
26	1 月 22 日	蘭士博 財団法人二二八事件記念基金会執行長ほか（2 名）
27	1 月 23 日	神奈川県大和市議会（7 名）
28	2 月 6 日	岡山県笠岡市議会（7 名）
29	2 月 26 日	九州ブロック東京事務所長ほか（11 名）
30	3 月 25 日	林文喆 済州 4・3 平和財団理事長ほか（5 名）

X 八重山平和祈念館

1 概 要

「戦争マラリア」の実相を後世に正しく伝えとともに、人間の尊厳が保障される社会の構築と、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える「平和の発信拠点」の形成を目指す。

(1) 設立経過

1989 年 (平成元)	5 月 28 日	戦争マラリア犠牲者の遺族らが、篠原武夫琉球大学教授（当時）を会長に「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者援護会」結成。国家補償を求めて活動を開始する。
	10 月 16 日	沖縄県議会（9 月定例会）において、「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者の遺族補償に関する意見書」が決議される。
1995 年 (平成 7)	4 月 25 日	与党戦後 50 年問題プロジェクトチームで、八重山地域を対象とする慰藉事業の実施で合意。
	12 月 25 日	平成 8 年度国庫予算において、マラリア慰藉事業費として総額 3 億円が認められる。 慰藉事業の内訳 ① 慰霊碑建立 ② 八重山平和祈念館建設 ③ マラリア死没者慰藉の資料収集・編纂事業 ④ マラリア死没者慰藉のための追悼事業
1997 年 (平成 9)	3 月 31 日	建物竣工
1998 年 (平成 10)	1 月 27 日	八重山平和祈念館基本計画検討委員会開催（3 月 17 日まで 計 3 回）
	5 月	八重山平和祈念館基本計画策定
	11 月 20 日	八重山平和祈念館監修委員会開催（翌年 2 月 22 日まで 計 3 回） 八重山平和祈念館展示設計及び展示製作業務発注（平成 11 年 3 月まで）
1999 年 (平成 11)	3 月	「沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例」一部改正。「八重山平和祈念館」は「沖縄県平和祈念資料館」の分館となる。
	5 月 28 日	八重山平和祈念館開館式典
	5 月 29 日	八重山平和祈念館一般公開

(2) 施設の概要

- ① 延べ床面積：520㎡
- ② 各室床面積
 - 第 1 展示室：130㎡
 - 第 2 展示室：120㎡
 - 保 管 室：20㎡
 - 図 書 室：30㎡
 - 会 議 室：45㎡
 - 事 務 室：30㎡

(3) 開館時間

午前 9 時～午後 5 時



(4) 休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館）及び年末年始（12月29日から1月3日まで）

(5) 観覧料

	通常料金	団体料金 (※団体は20名以上)
大人	100円	70円
小人（小学～大学生）	50円	35円

(6) 常設展の展示構成

- ① アジア・太平洋戦争に起因する沖縄戦
- ② 沖縄戦と八重山
- ③ 戦争マラリアの悲劇
- ④ マラリア根絶に向かって
- ⑤ 戦争マラリア援護会の活動
- ⑥ 八重山地域における平和発信拠点を目標して

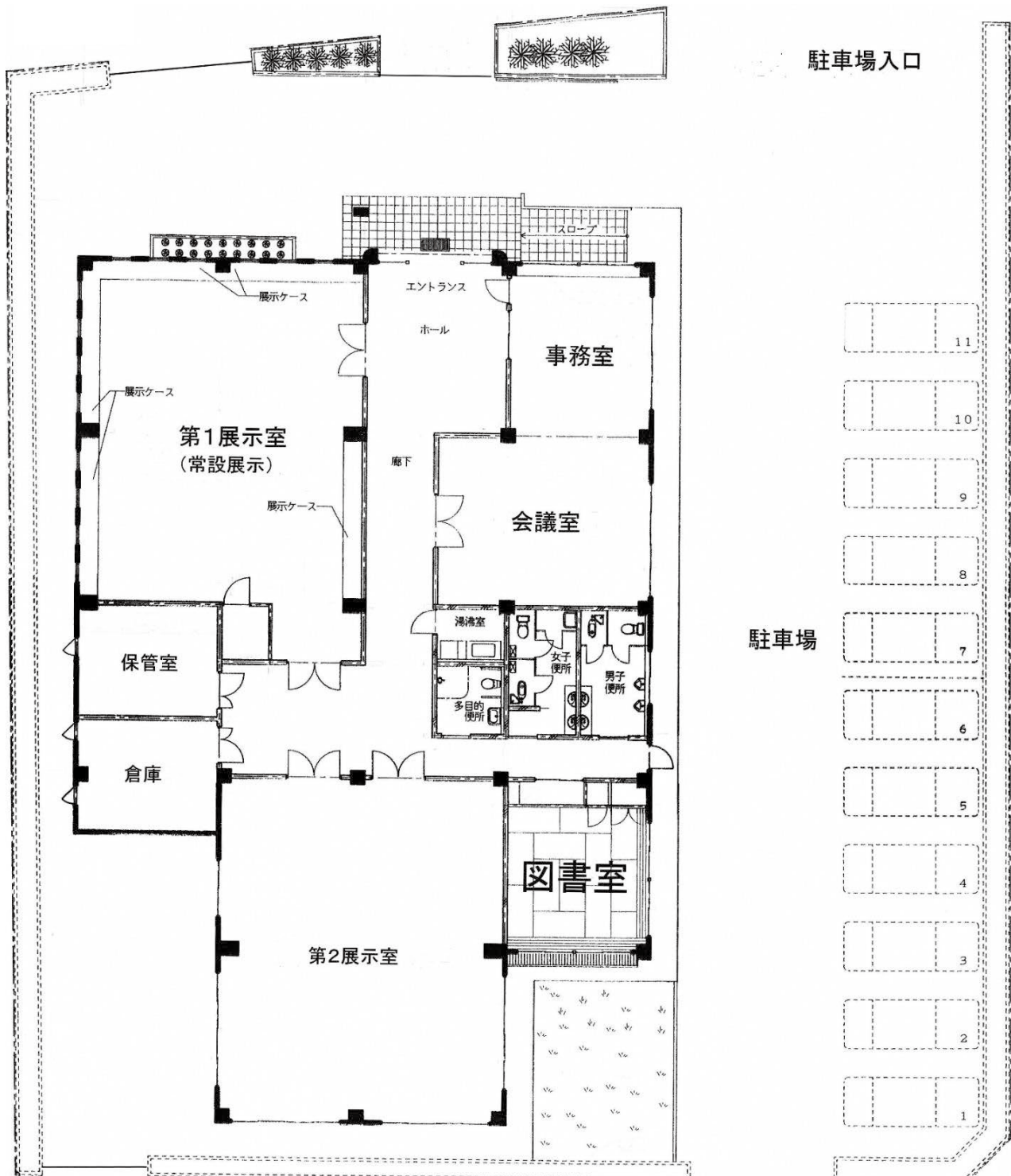
(7) 展示の内容

- ① 写真、地図、絵のパネル等
- ② 戦前の切手、紙幣、硬貨等
- ③ 遺品類（ハガキ、キセル等）
- ④ 高熱に苦しむ母子像（マラリア患者の看病の様子）
- ⑤ 児童生徒の平和メッセージ展の八重山地区受賞作品（詩、図画、作文）

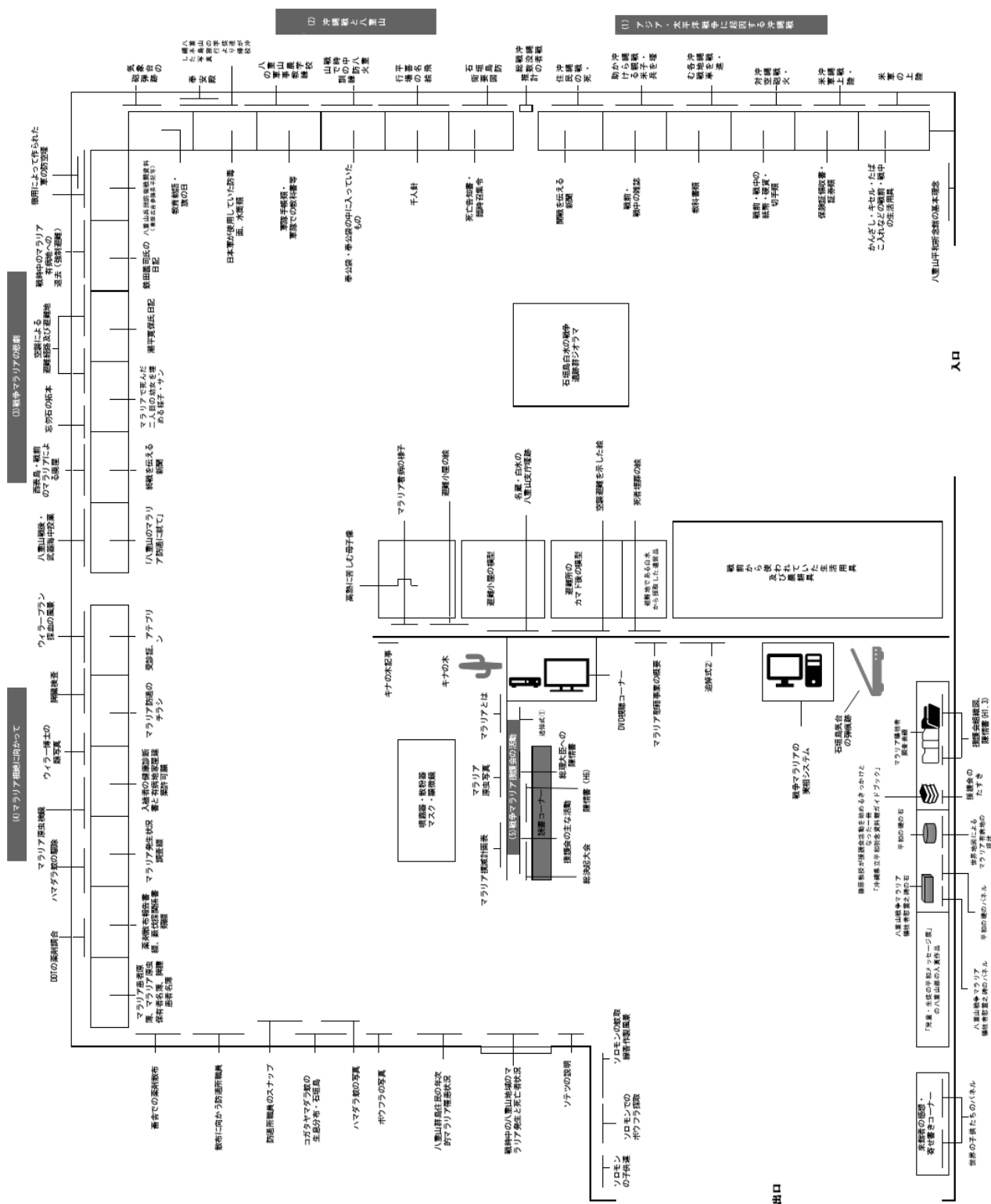


うりずんの季節には、色とりどりの花が通る人の目を楽しませ、当館の来館者を出迎えてくれます。

2 施設 平面図



第1展示室



3 事業概要

(1) 展示活動

① 6月企画展「－建設30年－平和の礎が伝えてきたもの」(本館ギャラリー展合同展)

建設から30年となる「平和の礎」をテーマに、本館ギャラリー展と合同で企画展を実施。平和の礎の「追悼の場」「平和学習の場」という基本理念や建設の趣旨、デザインコンセプトなどを紹介したほか、刻銘者とその家族・関係者の戦時下における生活の様子や証言記録等を展示した。

【期 日】 令和7年6月3日(火)～7月6日(日)

【場 所】 八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】 946名(大人639名、小人307名)



観覧の様子

② ひめゆり平和祈念資料館戦後80年移動展「ひめゆりと八重山」

(八重山平和祈念館共催・8月企画展)

公益財団法人沖縄県女師・一高女ひめゆり平和祈念財団主催、八重山平和祈念館共催として移動展を実施。「ひめゆり学徒隊」全体に関する資料や記録のほか、八重山出身である学徒や教師について詳しく紹介することで、当館常設展では紹介できていない沖縄本島での地上戦を経験した八重山出身者の記録や、それぞれの思いに目を向けていただく機会とした。

そのほか、オープニングセレモニー・ギャラリートークやワークショップといった、展示関連イベントを実施した。

【期 日】 令和7年8月1日(金)～8月31日(日)

【場 所】 八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】 974名(大人741名、小人233名)



OP セレモニー・ギャラリートーク



③ 12月企画展「移民と八重山ーなぜ人びとは八重山へ渡ってきたのかー」



本企画展では、戦前からの移民の歴史を展示することで移民の受入側の土壌が形成されてきた八重山をみていくとともに、戦後の八重山地域にも大きく影響を与えた開拓移民が「なぜ八重山に渡ってきたのか」に焦点をあて、戦後沖縄の状況や社会情勢についてあらためて学び・考察することができる展示を行った。また、新たに聞きとりを行った10名含む多くの体験者の証言を展示し、それぞれの体験から当時の状況をたどることができる内容とした。

そのほか、期間中には企画展関連ワークショップとして、沖縄ファミリーヒストリープロジェクト実行委員会による「うちなーファミ歴タイムライン」を共催した。

【期 日】 令和7年12月2日（火）～令和8年1月12日（月・祝日）

【場 所】 八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】 892名（大人722名、小人170名）



観覧の様子



ワークショップの様子

(2) 平和教育活動

① 学校教員対象見学説明会

平和学習の場として当館を活用いただくことを目的に、学校教諭を対象とした見学説明会を実施。石垣市内中学校初任教員及び指導教員（初任者研修）、八重山地区中学校社会科研究会所属教員の合計 19 名の先生方にご参加いただき、当館の設立経緯、利用手続き、八重山の戦争、常設展示の解説を行った。

【期 日】 令和 7 年 6 月 5 日（木）、6 月 7 日（土）

【場 所】 八重山平和祈念館 第 2 展示室

※ 4 月中旬頃案内。申込があれば随時実施している。



見学説明会の様子

② 慰霊の日アニメビデオ上映会

6 月 23 日慰霊の日に、戦争に関するアニメの上映会（上映作品『石の声』『かんからさんしん』）を実施。

当日は常設展示が入場無料ということもあり、児童・生徒から大人の方まで幅広く来館された。

【期 日】 令和 7 年 6 月 23 日（月）

【場 所】 八重山平和祈念館 第 2 展示室

【観覧者】 100 名



上映会の様子

③ 第 35 回「児童・生徒の平和メッセージ展」八重山会場

八重山会場では、八重山地区の入選作品を含む多くの作品の展示を実施した。

展示会場には、地域の児童生徒や入選者のご父兄等が訪れ、熱心に作品を観覧されていた。

【期 日】 令和 7 年 7 月 9 日（水）～ 19 日（土）

【場 所】 八重山平和祈念館 第 2 展示室

【入場者】 211 名（大人 157 名、小人 54 名）



観覧の様子

（３）調査研究活動

戦争体験者等の証言収集

氏名（敬称略）	生まれ年	出生地	備 考
登野城 米子	昭和 9 年	ペルー	開戦直前に 5 歳でペルー移民の両親から離れ沖縄へ渡ったこと、石垣市での戦争体験、戦争マラリアについて。
川満 勲	昭和 17 年	広島県呉市	広島県呉市での戦争体験、両親の故郷である宮古島への引き揚げ・戦後の開拓移民について。
多宇 清	昭和 7 年	石垣市白保	白保での戦争体験について。
嶺井 善	昭和 40 年	石垣市 於茂登集落	両親が戦後開拓移民で入植。現在までの於茂登集落の産業や暮らしについて。
嶺井 スミ子	昭和 12 年	玉城村中山	沖縄戦体験、戦後の生活について、開拓移民について。
喜友名 茂	昭和 27 年	北谷町上勢頭	戦後の北谷町や土地接収について、戦後開拓移民について。
比嘉 吉晴	昭和 27 年	玉城村志堅原	両親、親戚の戦争体験。戦後の開拓移民について。
川満 純子	昭和 5 年	宮古島市	宮古島での戦争体験、戦後の開拓移民について。
桑江 ヨシ子	昭和 7 年	読谷村楚辺	沖縄戦体験、戦後の生活について、戦後の開拓移民について。
奥松 和子	昭和 18 年	パラオ コロール町	パラオで生まれ両親の故郷である沖縄へ引き揚げたこと、東村での生活、戦後の開拓移民について。

(4) 共催事業：第19回平和コンサート

【主 催】八重山戦争マラリア遺族会

【期 日】令和7年11月23日（日）14：00～

【場 所】八重山平和祈念館 第2展示室

【演 目】「マラリア犠牲者 鎮魂歌」独唱、デュエット歌唱、リコーダー合奏、ギター独奏、
二重唱、独唱、バリトン独唱 など

【入場者】52名

令和7年度
第19回平和コンサート
～音楽は平和のメッセージ～

出演者

田本 徹 上江洲 ゆうな 次呂久 早苗 濱田 志帆 友利 月穂	リコアン fefe (安部 寿美子・石垣 幸江 大城 幸枝・春口 トモ子) 幸地 芳和 松川 なおみ 黒島 弘
---	--

日時：2025年11月23日（日）
14：00～（開場13：30）

会場：八重山平和祈念館 第二展示室
※駐車場に限りがございますので、お乗り合わせ等にご配慮ください。

主催：八重山戦争マラリア遺族会／共催：八重山平和祈念館
後援：八重山教育事務所、石垣市教育委員会、竹富町教育委員会
八重山広域市町村圏事務組合・八重山毎日新聞・八重山日報
石垣ケーブルテレビ株式会社・FMいしがきサンサンラジオ

入場無料



観覧の様子

4 八重山平和祈念館入館者数

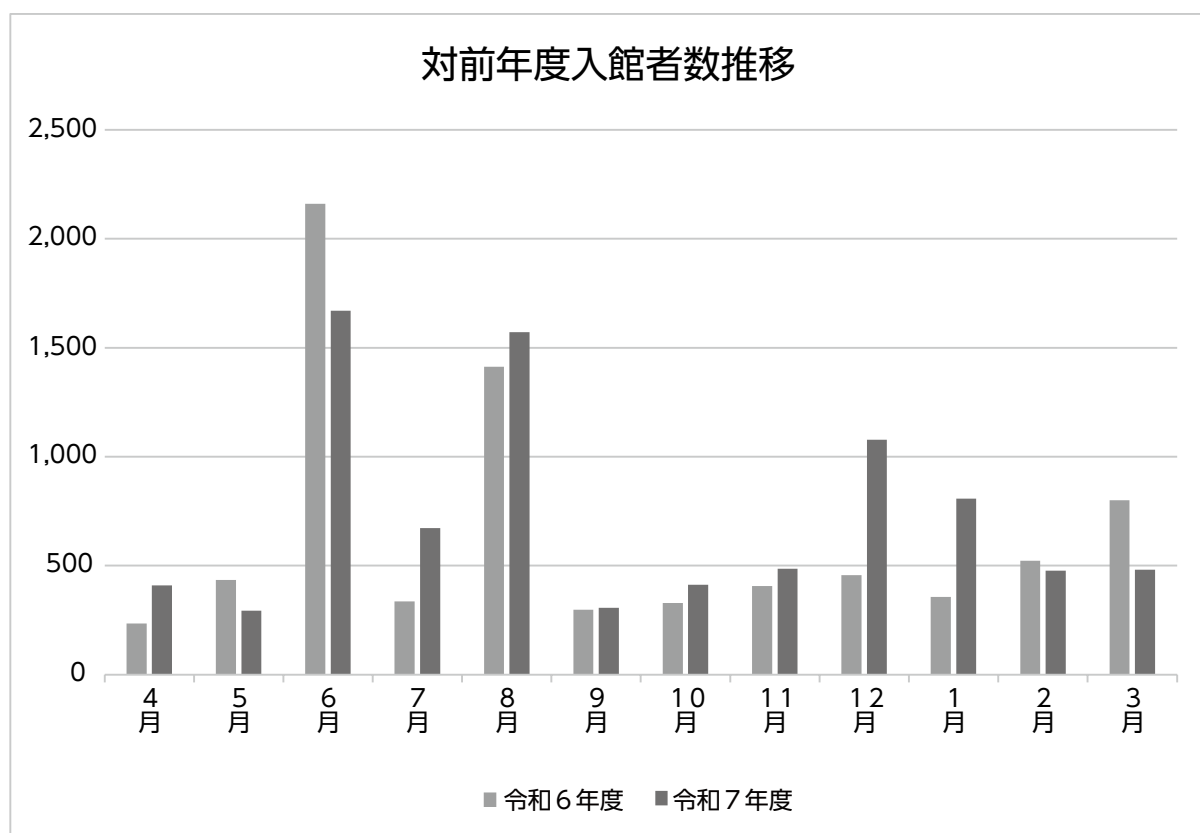
令和6年度

月	常設展示室 (有料区間)	総入館者数※
4月	235	235
5月	435	435
6月	1,045	2,161
7月	221	336
8月	692	1,413
9月	275	297
10月	328	328
11月	406	406
12月	457	457
1月	357	357
2月	364	522
3月	428	800
合計	5,243	7,747

令和7年度

月	常設展示室 (有料区間)	総入館者数※
4月	409	409
5月	293	293
6月	804	1,670
7月	382	673
8月	598	1,572
9月	307	307
10月	412	412
11月	485	485
12月	470	1,078
1月	523	807
2月	477	477
3月	482	482
合計	5,642	8,665

※企画展等の来館者を含む人数



XI 沖縄県平和祈念資料館友の会

沖縄県平和祈念資料館友の会（以下、「友の会」という）は、沖縄県平和祈念資料館設立理念をふまえ、学校及び地域における平和学習支援活動を通して、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次の世代に伝えるため、2005年1月29日に設立した。

1 活動内容

- (1) 県内学校及び地域における平和学習支援
- (2) 平和講話
- (3) ポイントガイド
- (4) 戦跡案内
- (5) バス乗車による戦跡案内
- (6) その他



友の会集合写真 令和8年2月
資料館前の桜の木前にて

2 講話・ガイド活動状況

団 体	実施件数	(前年度比)	実施人数	(前年度比)	派遣講師	(前年度比)
高等学校	32	(-8)	4,406	(-3,175)	32	(-30)
中 学 校	35	(15)	5,019	(1,300)	35	(9)
小 学 校	12	(-10)	4,770	(-1,365)	12	(-10)
そ の 他	25	(16)	784	(440)	25	(6)
合 計	104	(13)	14,979	(-2,800)	104	(-25)

※ お申込は、平和祈念資料館ホームページにある沖縄県平和祈念資料館友の会へのリンクからお願いします。

3 活動内容

- (1) 第20回友の会定期総会・平和講話会
 - 期 日：令和7年8月9日（土） 13:00～16:00
 - 場 所：平和祈念資料館 1階祈念ホール
 - ①総 会 13:00～13:40
 - ②学習会講話 14:00～16:00
 - 講 話：「沖縄戦体験者、翁長安子さん、上原美智子さんに聞く」
戦争体験者からお話を伺う質疑応答形式の学習会
 - 講 師：翁長安子さん（95歳）、上原美智子さん（88歳）



翁長安子さん



上原美智子さん

(2) 平和学習フィールドワーク

①「安里から首里への道」

期 日：令和7年5月17日(土) 10:00～14:30

主 催：沖縄県平和祈念資料館友の会

概 要：安里のシュガーローフから首里の一中健児之塔まで歩き、途中で戦争体験者の翁長安子さんの講話を聴き戦争遺跡について学習する機会とした。

参加者：70 名



シュガーローフ



安里交差点にて



首里高校合唱部と元ひめゆり学徒の交流

②「首里城周辺の埋没した戦跡壕を巡る」

期 日：令和7年5月31日(土) 10:00～13:30

主 催：沖縄県平和祈念資料館友の会

概 要：首里城周辺にかつてあった第32軍司令部壕、第五砲兵司令部壕、第62師団司令部壕瑠璃壕を巡り埋没した戦跡跡の背景について学ぶ機会とした。

参加者：90 名



一中健児之塔にて



フィールドワーク資料



首里城の日本軍陣地



第32軍司令部壕 第5坑口

③「戦争関連遺跡及び施設のフィールドワーク（読谷村）」

期 日：令和7年9月20日（土） 10：00～17：00

主 催：沖縄県平和祈念資料館友の会

概 要：沖縄戦の語り継ぎ手養成事業受講者へ向けて平和学習フィールドワークを読谷村教育委員会の中田氏と協力して行った。

参加者：37 名



日本軍の掩体壕



座喜味城より、北谷方面を望む

（3）沖縄県功労者表彰

上原美智子さんが、長年の平和活動が認められ
人権・平和推進部門で表彰された。

【主な経歴】

- ・沖縄県平和祈念資料館友の会副会長
- ・元糸満市生涯学習ボランティアバンク
平和教育講師

表彰式：令和7年11月3日（月）

会 場：パシフィックホテル沖縄

主 催：沖縄県



XII 関係条例・規則・要綱

1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例(平成12年条例第11号)

〔設置〕

第1条 第二次世界大戦で貴い命を失ったすべての人々に哀悼の意を表すとともに、悲惨な戦争の教訓を後世に伝え、世界の恒久平和の実現に寄与するため、沖縄県平和祈念資料館(以下「平和祈念資料館」という。)及び平和の礎を設置する。

2 平和祈念資料館に分館として八重山平和祈念館を置く。

〔位置〕

第2条 平和祈念資料館(分館を除く。)及び平和の礎の位置は、糸満市字摩文仁とする。

2 八重山平和祈念館の位置は、石垣市新栄町とする。

〔事業〕

第3条 平和祈念資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 沖縄戦及び平和に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 沖縄戦に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 沖縄戦における戦争体験の継承に関すること。
- (4) 平和に関する講演会、学習会等の平和を考える場の提供に関すること。
- (5) その他設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

〔平和祈念資料館の利用の禁止又は制限〕

第4条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和祈念資料館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 資料又は建物若しくは附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔観覧料〕

第5条 平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納めなければならない。

2 平和祈念資料館において特別に展示する資料等を観覧させる場合の当該資料を観覧する者は、前項の規定にかかわらず、500円を超えない範囲内でその都度知事が定める額の観覧料を納めなければならない。

3 前2項の観覧料は、観覧の際に納めなければならない。

〔使用の許可〕

第6条 別表第2に掲げる平和祈念資料館の施設又は附属設備(以下「施設等」という。)を使用しようとする者は、あらかじめ知事の許可を受けなければならない。許可を受けた者(以下「使用者」という。)が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、施設等の管理上必要と認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。

3 知事は、第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可をしないことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 公益を害するおそれがあるとき。
- (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき。

〔使用料〕

第7条 使用者は、別表第2に定める使用料を納めなければならない。

2 前項の使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。

〔観覧料又は使用料の減免〕

第8条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料を減額し、又は免除することができる。

〔観覧料及び使用料の不還付〕

第9条 既に納付した観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

〔使用権の譲渡等の禁止〕

第10条 使用者は、施設等を使用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

〔許可の取消し等〕

第11条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消し、又は施設等の使用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (3) 許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 第6条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

〔原状回復義務〕

第12条 使用者は、施設等の使用が終了したとき、又はその使用の許可が取り消されたときは、直ちにこれを原状に回復して返還しなければならない。

〔平和の礎の管理〕

第13条 平和の礎の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であって知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

〔指定管理者の業務〕

第14条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第19条の規定による利用の禁止又は制限に関する業務
- (2) 平和の礎の工作物及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、平和の礎の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

〔指定管理者の指定の申請〕

第15条 第13条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、知事に提出しなければならない。

〔指定管理者の指定等〕

第16条 知事は、前条の規定による申請があったときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に平和の礎の管理を行うことができると認めるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、平和の礎の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
- (3) 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、平和の礎の設置の目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

2 知事は、前項の規定による選定をしようとするときは、あらかじめ、平和の礎指定管理者制度運用委員会の意見を聴かなければならない。

3 前項の規定は、法第 244 条の 2 第 11 項の規定により、指定管理者の指定を取り消そうとする場合に準用する。

〔平和の礎指定管理者制度運用委員会〕

第 17 条 この条例の規定に基づく諮問に応じて調査審議を行わせるため、平和の礎指定管理者制度運用委員会（以下「運用委員会」という。）を置く。

2 運用委員会は、この条例に定めるもののほか、平和の礎に係る指定管理者の選定及び指定管理者が行う平和の礎の管理に関する重要事項について、知事の諮問に応じて答申し、又は建議することができる。

3 運用委員会は、委員 4 人以内で組織する。

4 委員は、学識経験のある者その他知事が適当と認める者のうちから、知事が任命する。

5 委員の任期は、3 年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 委員は、再任されることができる。

7 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

8 前各項に定めるもののほか、運用委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

〔指定管理者の指定等の告示〕

第 18 条 知事は、第 16 条第 1 項の規定により指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

2 前項の規定は、法第 244 条の 2 第 11 項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

〔平和の礎の利用の禁止又は制限〕

第 19 条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和の礎の観覧を拒否することができる。

(1) 工作物又は附属設備をき損するおそれがある者

(2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者

(3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者

(4) 前 3 号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔損害の賠償等〕

第 20 条 平和祈念資料館の資料若しくは建物若しくは附属設備又は平和の礎の工作物若しくは附属設備を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又は相当の代価をもって賠償しなければならない。ただし、知事がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

〔事業報告書の提出〕

第 21 条 指定管理者は、毎年度終了後 30 日以内に、規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

〔運営協議会〕

第 22 条 平和祈念資料館の運営に関する重要事項について協議するため、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。

2 運営協議会の組織、運営その他必要な事項は、規則で定める。

〔規則への委任〕

第 23 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

備考

平成 12 年 3 月 31 日全部改正（平成 12 年 4 月 1 日施行）、平成 17 年 10 月 26 日一部改正（平成 18 年 4 月 1 日施行）、平成 31 年 3 月 29 日一部改正（令和元年 10 月 1 日施行）、令和 5 年 3 月 31 日一部改正（令和 5 年 4 月 1 日施行）

別表第 1（第 5 条関係）

区 分		観覧料	
		個 人	20 人以上の団体
平和祈念資料館 (分館を除く。)	大 人	300 円	1 人につき 240 円
	小 人	150 円	1 人につき 100 円
八重山平和祈念館	大 人	100 円	1 人につき 70 円
	小 人	50 円	1 人につき 35 円

備考

- 1 この表において「大人」とは、学生を除く成年者をいう。
- 2 この表において「小人」とは、学齢に達しない者を除く未成年者又は学生をいう。

別表第 2（第 6 条、第 7 条関係）

1 施設使用料

区 分		単 位	使用料
和祈念資料館 (分館を除く。)	ホール	1 時間につき	1,570 円
	展示室	1 日につき	4,540 円
	大会議室	1 時間につき	620 円
	中会議室	1 時間につき	430 円
	小会議室	1 時間につき	190 円
八重山平和祈念館	展示室	1 時間につき	100 円

2 附属設備使用料

種 別	単 位	使用料
舞台器具	1 回 1 点又は一式につき	700 円以内で知事が定める額
音響器具	1 回 1 点又は一式につき	500 円以内で知事が定める額
照明器具	1 回 1 点又は一式につき	460 円以内で知事が定める額
その他	1 回 1 点又は一式につき	1,260 円以内で知事が定める額

備考

- 1 許可された使用時間を超過して使用する場合は、追加使用料を徴収する。この場合において、当該超過して使用した時間が 1 時間未満であるとき又は当該使用時間に 1 時間未満の端数があるときは、その使用時間又はその端数時間を 1 時間として計算する。
- 2 ホールを練習、準備のため専用して使用する場合は、この表の区分に従い、当該区分に定める額の 100 分の 30 に相当する額とする。
- 3 1 及び 2 において算出された使用料の額に 10 円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。
- 4 施設の冷房を使用する場合は、その実費に相当する額を使用料として別に徴収する。

2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則

(平成 12 年規則第 87 号)

〔趣旨〕

第1条 この規則は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成 12 年沖縄県条例第 11 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

〔開館時間〕

第2条 沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、平和祈念資料館に展示している資料等の観覧のための展示室への入室は午後 4 時 30 分までとする。

2 知事は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する開館時間外においても平和祈念資料館を使用させることができる。

〔休館日〕

第3条 平和祈念資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、第 1 号に規定する休館日は、八重山平和祈念館に限る。

(1) 定期休館日 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（元日を除く。）又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和 49 年沖縄県条例第 42 号、以下「慰霊の日を定める条例」という。）第 2 条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日を除く。）

(2) 年始休館日 1 月 1 日から同月 3 日まで

(3) 年末休館日 12 月 29 日から同月 31 日まで

(4) 臨時休館日 特別の事情により知事が休館を必要と認めた日

2 前項第 4 号の臨時休館日は、あらかじめ公告するものとする。ただし、天災地変その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

〔観覧券の交付〕

第4条 知事は、平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者が、条例別表第 1 に定める観覧料を納付した場合は、観覧券（第 1 号様式）を交付するものとする。

〔観覧料の免除〕

第5条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第 8 条の規定により、観覧料を免除する。

(1) 慰霊の日を定める条例第 2 条に規定する慰霊の日に観覧する場合

(2) 沖縄県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教職員で、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合

(3) 平和祈念資料館の広報宣伝に資すると認められる取材のために観覧する場合

(4) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項の規定に基づいて身体障害者手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 252 条の 19 第 1 項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第 2 項の規定に基づいて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(7) 前 6 号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める場合

2 前項第 2 号、第 3 号及び第 7 号の規定により、観覧料の免除を受けようとする者は、観覧料免除申請書（第 2 号様式）を知事に提出し、承認を受けなければならない。

3 第 1 項第 4 号、第 5 号及び第 6 号に該当する者が観覧料の免除を受けようとするときは、身体障害者手帳又は療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

〔使用許可の申請〕

第6条 条例第6条第1項の規定により、平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）の使用許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書（第3号様式）を知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、ホールについては使用しようとする日（引き続き2日以上使用する場合は、その最初の日。以下同じ。）の6月前から1週間前まで、ホール以外の施設については使用しようとする日の3月前から3日前までの期間内に提出しなければならない。

3 知事は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、前項に定める期間を変更することができる。

〔使用許可書の交付〕

第7条 知事は、使用許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用許可書（第4号様式。以下「使用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

〔使用許可の変更又は取消し〕

第8条 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用許可を得た事項を変更しようとするときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書（第5号様式）に使用許可書を添えて、知事に提出しなければならない。

2 知事は、使用の変更の許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書（第6号様式）を使用者に交付するものとする。

3 使用者は、使用の取消しをしようとするときは、使用許可書（前項の沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書を含む。）を添えて、沖縄県平和祈念資料館使用取消届（第7号様式）を知事に提出しなければならない。

〔附属設備等の使用料〕

第9条 条例別表第2第2号の表に規定する知事が定める額及び同表備考4の規定により実費に相当する額を使用料として別に徴収する額は、別表のとおりとする。

〔使用料の納付〕

第10条 平和祈念資料館の施設使用料は、使用許可書の交付を受ける際に、納付しなければならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

2 平和祈念資料館の附属設備使用料は、知事が定める日までにその全額を納付しなければならない。

3 条例第7条第2項ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとする。

（1）条例別表第2備考1に規定する使用料を納付するとき。

（2）国又は地方公共団体が使用するとき。

（3）知事がやむを得ないと認めるとき。

〔使用料の返還〕

第11条 条例第9条ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとし、返還する使用料の額は、当該各号に定める額とする。

（1）天災その他使用者の責めに帰すことができない事情により使用できなかったとき。 当該使用料の全額

（2）使用者が、ホールを使用しようとする日前30日までに使用の取消しを届け出たとき。 当該使用料の5割

（3）使用者がホール以外の施設を使用しようとする日前15日までに使用の取消しを届け出たとき。 当該使用料の5割

2 条例第9条ただし書の規定により使用料の返還を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書（第8号様式）を知事に提出しなければならない。

〔使用料の減免〕

第12条 条例第8条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合は、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるとおり減額し、又は免除するものとする。

(1) 沖縄県が使用するとき。 免除

(2) 国又は地方公共団体若しくは公共的団体（以下「国等」という。）が、沖縄県と共催し、平和に関する事業を行うために使用するとき。 免除

(3) 国等が、平和に関する事業を行うために使用するとき。 5割

(4) 前3号に掲げるもののほか、知事が特に必要があると認めるとき。 知事が定める割合

2 条例第8条の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書（第9号様式）を知事に提出しなければならない。

3 知事は、使用料の減額又は免除を承認したときは、沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書（第10号様式）を使用者に交付するものとする。

〔使用方法等の事前打合わせ〕

第13条 使用者は、事前に係員と施設等の使用方法、遵守事項その他必要事項を打ち合わせなければならない。

〔使用者の遵守事項〕

第14条 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。

(2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。

(3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。

(4) 施設等は、善良なる管理者の注意をもって管理すること。

〔行為の制限〕

第15条 使用者又は入場者は、平和祈念資料館において、次に掲げる行為をしてはならない。

(1) 火災、爆発その他危険を生じるおそれのある行為

(2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為

(3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為

(4) 許可を受けないで行う広告類の掲出又は配布

(5) 許可された場所以外の場所への立入り

(6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙

(7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為

(8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不適当と認める行為

〔損傷等の届出〕

第16条 使用者は、その使用に際し、施設等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、直ちにその旨を係員に届け出て、その指示を受けなければならない。

〔使用後の点検〕

第17条 使用者は、施設等の使用を終えたときは、係員の点検を受けなければならない。

〔寄贈及び寄託〕

第18条 知事は、戦争及び平和に関する資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、あらかじめ資料寄贈申込書（第11号様式）又は資料寄託申請書（第12号様式）を提出しなければならない。

3 前項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

〔受領証の交付〕

第19条 知事は、前条第1項の規定により寄託を受けたときは、寄託者に対し、寄託物受領証（第13号様式）を交付するものとする。

〔寄託資料の保管〕

第 20 条 第 18 条第 1 項の規定により寄託された資料の管理は、平和祈念資料館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

〔寄託資料の返還〕

第 21 条 寄託資料は、寄託期間の終了、寄託者の請求又は平和祈念資料館の都合により返還できるものとする。

- 2 寄託者は、前項の規定により寄託資料を返還する場合は、寄託物受領証も同時に返付しなければならない。

〔資料の貸出〕

第 22 条 知事は必要と認めたときは、条件を付して資料の館外貸出しを許可することができる。

- 2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ資料貸出申請書（第 14 号様式）を知事に提出しなければならない。

〔許可証の交付〕

第 23 条 知事は、資料の館外貸出しを許可した場合は、資料貸出許可証（第 15 号様式）を交付するものとする。

〔貸出資料の保管〕

第 24 条 第 22 条第 1 項の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）が責任をもって保管しなければならない。

〔貸出資料の返還〕

第 25 条 利用者は、貸出期間が終了したときは、貸出資料を速やかに返還しなければならない。

- 2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。
- 3 利用者は、前 2 項の規定により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

〔指定管理者の指定申請書等〕

第 26 条 条例第 15 条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第 16 号様式）によるものとする。

- 2 条例第 15 条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

- (1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る。）
- (3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
- (4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時に（5）役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

〔平和の礎指定管理者制度運用委員会の組織等〕

第 27 条 平和の礎指定管理者制度運用委員会（以下「運用委員会」という。）に会長を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、会務を総理し、運用委員会を代表する。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。
- 4 運用委員会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。
- 5 運用委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 6 運用委員会の会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 7 特定の事件につき特別の利害関係を有する委員は、運用委員会の決議があつたときは、当該事件に係る議決に参加することはできない。

- 8 運用委員会は、必要があると認めるときは、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。
- 9 運用委員会の行う指定管理者の選定に係る調査審議の手続は、公開しない。
- 10 運用委員会の庶務は、知事公室平和・地域外交推進課において処理する。
- 11 その他運用委員会の運営に関し必要な事項は、会長が運用委員会に諮って定める。

〔事業報告書〕

第28条 条例第21条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

- (1) 平和の礎の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況
- (2) 業務に係る収支状況
- (3) 前2号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

〔運営協議会の組織等〕

第29条 条例第22条に規定する沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）は、委員15人以内をもって組織する。

- 2 委員は、学識経験者、教育関係者等のうちから知事が委嘱し、又は任命する。
- 3 運営協議会の委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 4 運営協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。
- 5 会長は、会務を総理し、運営協議会を代表する。
- 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 7 運営協議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。
- 8 運営協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 9 運営協議会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 10 会議は公開とする。ただし、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。
- 11 運営協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。
- 12 運営協議会の委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
- 13 運営協議会の庶務は、平和祈念資料館において処理する。
- 14 その他運営協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

〔補則〕

第30条 この規則に定めるもののほか、平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成18年3月31日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成19年3月23日一部改正（平成19年4月1日施行）、令和元年9月13日一部改正（令和元年10月1日施行）、令和5年3月31日一部改正（令和5年4月1日施行）、令和5年4月7日一部改正（令和5年5月1日施行）

別表（第9条関係）

1 附属設備使用料

種 別		品 目	単 位	使用料
ホー ル	舞 台 器 具	演台	1 台	300 円
		司会者卓	1 台	150 円
		花台	1 台	100 円
		金びょうぶ	1 双	700 円
	音 響 器 具	ダイナミックマイク	1 本	230 円
		ワイヤレスマイク	1 本	450 円
		カセットテープレコーダー	1 台	300 円
		CDプレーヤー	1 台	500 円
		ビデオデッキ（VHS）	1 台	500 円
		ブルーレイディスク・DVDレコーダー	1 台	500 円
	照 明 器 具	ボーダーライト（150 W× 48 灯）	1 列	250 円
		サスペンションライト（500 W× 12 台）	1 列	300 円
		シーリングスポットライト（500 W× 15 台）	1 列	460 円
		アッパーホリゾントライト（150 W× 60 灯）	1 列	360 円
		ロアーホリゾントライト（150 W× 60 灯）	1 列	300 円
		フットライト（60 W× 48 灯）	1 列	100 円
	その他	ビデオプロジェクター	1 台	1,260 円
	音 響 器 具	ダイナミックマイク	1 本	230 円
		ワイヤレスマイク	1 本	450 円
		カセットテープレコーダー	1 台	300 円
		CDプレーヤー	1 台	400 円
		ブルーレイディスクプレーヤー	1 台	400 円
	その他	ビデオプロジェクター	1 台	1,260 円
展 示 室	その他	展示ケース（大）	1 台	1,000 円
		展示ケース（小）	1 台	500 円

備考 ホール及び会議室の附属設備使用料は、1 ステージごとに徴収する。ただし、長時間連続して使用する場合は、4 時間ごとに 1 ステージとみなす。

2 施設冷房使用料

区 分		単 位	使用料
和祈念資料館 （分館を除く。）	ホール	1 時間につき	2,120 円
	展示室	1 時間につき	890 円
	大会議室	1 時間につき	700 円
	中会議室	1 時間につき	460 円
	小会議室	1 時間につき	110 円
八重山平和祈念館	展示室	1 時間につき	100 円

第1号様式（第4条関係）

表

年	月	日
観覧券		
大人（個人）		
当日限り有効 300円		
沖縄県平和祈念資料館		

表

年	月	日
観覧券		
大人（団体）		
当日限り有効 240円		
沖縄県平和祈念資料館		

裏

← 5.75センチメートル →	
ご 注 意	
○ 本券は発行日に限り1枚につき1名様のみ有効です。 ○ 本券の払い戻しはいたしません。 ○ 他のお客様の迷惑にならぬよう、静かにご覧下さい。 ○ 常設展示室での写真撮影・模写はご遠慮下さい。 ○ 常設展示室への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。	

11.5センチメートル

裏

← 5.75センチメートル →	
ご 注 意	
○ 本券は発行日に限り1枚につき1名様のみ有効です。 ○ 本券の払い戻しはいたしません。 ○ 他のお客様の迷惑にならぬよう、静かにご覧下さい。 ○ 常設展示室での写真撮影・模写はご遠慮下さい。 ○ 常設展示室への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。	

11.5センチメートル

表

年	月	日
観	覧	券
小	人	(個人)
当日限り有効		150円
沖縄県平和祈念資料館		

裏

← 5.75センチメートル →		11.5センチメートル
ご 注 意 ○ 本券は発行日に限り1枚につき1名様のみ有効です。 ○ 本券の払い戻しはいたしません。 ○ 他のお客様の迷惑にならぬよう、静かにご覧下さい。 ○ 常設展示室での写真撮影・模写はご遠慮下さい。 ○ 常設展示室への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。		

表

年	月	日
観	覧	券
小	人	(団体)
当日限り有効		100円
沖縄県平和祈念資料館		

裏

← 5.75センチメートル →		11.5センチメートル
ご 注 意 ○ 本券は発行日に限り1枚につき1名様のみ有効です。 ○ 本券の払い戻しはいたしません。 ○ 他のお客様の迷惑にならぬよう、静かにご覧下さい。 ○ 常設展示室での写真撮影・模写はご遠慮下さい。 ○ 常設展示室への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。		

18センチメートル		6センチメートル
年 月 日 観 覧 券 100円 八重山平和祈念館	年 月 日 観 覧 券 100円 八重山平和祈念館 この券は当日に限り有効です。	

18センチメートル		6センチメートル
年 月 日 観 覧 券 70円 八重山平和祈念館	年 月 日 観 覧 券 70円 八重山平和祈念館 この券は当日に限り有効です。	

18センチメートル		6センチメートル
年 月 日 観 覧 券 50円 八重山平和祈念館	年 月 日 観 覧 券 50円 八重山平和祈念館 この券は当日に限り有効です。	

18センチメートル		6センチメートル
年 月 日 観 覧 券 35円 八重山平和祈念館	年 月 日 観 覧 券 35円 八重山平和祈念館 この券は当日に限り有効です。	

※ この観覧券の表には、それぞれ観覧する平和祈念資料館の背景写真が写されます。

第2号様式（第5条関係）

観 覧 料 免 除 申 請 書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 請 者

住 所

団 体 名

代表者氏名

電 話 番 号

次のとおり沖縄県平和祈念資料館（分館を除く。）の観覧料の免除を申請します。
八 重 山 平 和 祈 念 館

観覧の目的	
観 覧 者 数	人
観覧の日時	年 月 日（ ） 時 分から 時 分まで
引率者氏名 又は 観覧者氏名	
備 考	

第3号様式（第6条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 請 者

住 所

団 体 名

代表者氏名

電 話 番 号

次のとおり使用したいので申請します。

催物の名称						
使用目的						
催物の内容						
使用施設	使 用 日 時				人 員	
ホ ー ル	年	月	日 ()	午後・午前	時 分～	
	年	月	日 ()	午後・午前	時 分	
展 示 室	年	月	日 ()	午後・午前	時 分～	
	年	月	日 ()	午後・午前	時 分	
大会議室	年	月	日 ()	午後・午前	時 分～	
	年	月	日 ()	午後・午前	時 分	
中会議室	年	月	日 ()	午後・午前	時 分～	
	年	月	日 ()	午後・午前	時 分	
小会議室	年	月	日 ()	午後・午前	時 分～	
	年	月	日 ()	午後・午前	時 分	
八重山平和 祈念館展示 室	年	月	日 ()	午後・午前	時 分～	
	年	月	日 ()	午後・午前	時 分	
使用 附属設備						
入 場 料	無 有 料 料 (円)		指定席 整理券	自由席 会員券	入場予定人員 名	
使用責任者 氏 名			使用責任者 の電話番号			
	施設使用料	附属設備 使用料	冷房使用料	使 用 料 減 免 額	計	
使 用 料	円	円	円	円	円	

（注）太線の枠内は、記入しないでください。

第4号様式（第7条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用許可書

第 号
年 月 日

殿

沖縄県知事 印

年 月 日付けで申請のあった沖縄県平和祈念資料館の使用については、次のとおり許可します。

催物の名称						
使用目的						
催物の内容						
使用施設	使 用 日 時				人 員	
ホー ル	年	月	日 ()	午後・午前	時 分～	
	年	月	日 ()	午後・午前	時 分	
展 示 室	年	月	日 ()	午後・午前	時 分～	
	年	月	日 ()	午後・午前	時 分	
大会議室	年	月	日 ()	午後・午前	時 分～	
	年	月	日 ()	午後・午前	時 分	
中会議室	年	月	日 ()	午後・午前	時 分～	
	年	月	日 ()	午後・午前	時 分	
小会議室	年	月	日 ()	午後・午前	時 分～	
	年	月	日 ()	午後・午前	時 分	
八重山平和 祈念館展示 室	年	月	日 ()	午後・午前	時 分～	
	年	月	日 ()	午後・午前	時 分	
使用 附属設備						
入 場 料	無 料	料 料 (円)	指定席 整理券	自由席 会員券	入場予定人員	名
使用責任者 氏 名			使用責任者 の電話番号			
使 用 料	円					
許可の条件	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則を遵守すること。					

第5号様式（第8条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 請 者
住 所
団 体 名
代表者氏名
電 話 番 号

次のとおり変更使用したいので申請します。

催物の名称				
許可年月日 及び許可番号		年 月 日 第 号		
変更の理由				
変更事項		変更前		
		変更後		
※	使用料	納 付 済 額 円	追 加 徴 収 額 円	変 更 後 の 額 円
	備 考			

- （注） 1 使用許可書を添付すること。
2 太線の枠内は、記入しないでください。

第6号様式（第8条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書

年 月 日

殿

沖縄県知事

印

年 月 日付けで申請のあった沖縄県平和祈念資料館の使用変更については、次のとおり許可します。

催物の名称			
許可年月日 及び許可番号	年	月	日 第 号
変更事項	変更前		
	変更後		
使用料	円		
備考			

沖縄県平和祈念資料館使用取消届

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 請 者

住 所

団 体 名

代表者氏名

電 話 番 号

次のとおり使用の取消しをしたいので届け出ます。

催物の名称					
使用目的					
許可年月日 及び許可番号	年	月	日	第	号
許可を受けた 使用期間	年	月	日 ()	時	分から
	年	月	日 ()	時	分まで
使用取消 の理由					
※	使用料	既納使用料	返還割合	返還額	備考
		円	円	円	

(注) 1 使用許可書を添付すること。

2 太線の枠内は、記入しないでください。

第8号様式（第11条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 請 者

住 所

団 体 名

代表者氏名

電 話 番 号

次のとおり使用料の返還を申請します。

催物の名称					
許可年月日 及び許可番号	年	月	日	第	号
使用期間	年	月	日 ()	時	分から
	年	月	日 ()	時	分まで
返還申請 の理由					
既納使用料	円	返還申請額	円		
備考					

（注）使用料領収書を添付すること。

第9号様式（第12条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 請 者

住 所

団 体 名

代表者氏名

電 話 番 号

次のとおり使用料の減額・免除を申請します。

催物の名称	
使用目的	
催物の内容	
使用期間	年 月 日 () 年 月 日 () 時 分 から 時 分 まで
減額・免除を申請する理由	
備 考	

（注）この申請書は、使用許可申請書と同時に提出すること。

第10号様式（第12条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書

年 月 日

殿

沖縄県知事

印

次のとおり使用料を減額・免除します。

催物の名称						
使用目的						
催物の内容						
使用期間	年 月 日 () 年 月 日 () 時 分 時 分 から 分 まで					
減額・免除	減免前の 使用料	円	減 額 ・ 免 除 額	円	減免後の 使用料	円
備 考						

資 料 寄 贈 申 込 書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 込 者

住 所

氏 名

電 話 番 号

次の資料を沖縄県平和祈念資料館（分館を除く。）に寄贈いたします。

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	

寄 贈 受 諾 証

申込みのあった資料の寄贈を受諾します。

ただし、寄贈を受けた資料は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第18条第3項の規定により返還されません。

年 月 日

沖縄県知事

印

第12号様式（第18条関係）

資 料 寄 託 申 請 書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 請 者

住 所

氏 名

電 話 番 号

次の資料を八重山平和祈念資料館（分館を除く。）に寄託いたします。

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
寄 託 期 間	年 月 日から 年 月 日まで

第13号様式（第19条関係）

寄 託 物 受 領 証

年 月 日

殿

沖縄県知事

印

年 月 日付けで寄託申請のあった資料を受領しました。

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
保 管 期 間	年 月 日から 年 月 日まで

第14号様式（第22条関係）

資 料 貸 出 申 請 書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 請 者

住 所

氏 名

電 話 番 号

保 証 人

住 所

氏 名

電 話 番 号

沖縄県平和祈念資料館（分館を除く。）の資料について、貸出しを申請します。
八 重 山 平 和 祈 念 館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
貸 出 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
貸出申請理由	

資 料 貸 出 許 可 証

年 月 日

殿

沖縄県知事

印

年 月 日付けで資料貸出申請のあった資料について、条件を付して許可します。

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
貸 出 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
貸 出 条 件	1 貸出申請者は、県内に居住又は住所を有するもので県内に身元 確実な保証人がいなければならない。 2 貸出申請者は、この許可証を紛失したときは、速やかに届け出 なければならない。 3 貸出申請者は、貸出資料を他人に譲渡し、又は貸与してはなら ない。 4 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限に返還できなかった場合 は、遅延理由書を提出しなければならない。 5 貸出申請者は、貸出資料の原形に変更を加えてはならない。 6 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、又は著しく汚損し、若しく はき損した場合は、これを原形に復し、又は相当の代価をもって 損害を賠償しなければならない。

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者 所 在 地

団 体 の 名 称

代表者の氏名

指 定 管 理 者 指 定 申 請 書

平和の礎の管理に係る指定管理者の指定を受けたいので、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例第15条の規定により申請します。

添付書類

- 1 事業計画書
- 2 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- 3 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る。）
- 4 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
- 5 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）
- 6 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類
- 7 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4判とする。

3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱

〔設置〕

第1条 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第28条第13項の規定により、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、八重山平和祈念館部会（以下「部会」という。）を設置する。

〔任務〕

第2条 部会は、八重山平和祈念館の運営に関する重要事項について調査、審議し、その結果を運営協議会に報告する。

〔構成〕

第3条 部会は、運営協議会副会長を部会長とする3人の運営協議会の委員（以下「部会委員」という。）で構成する。

2 部会委員は、運営協議会で選任する。

3 部会委員の任期は、運営協議会の委員の在任期間とする。

〔部会長〕

第4条 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

2 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名した部会委員がその職務を代理する。

〔会議〕

第5条 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、必要があると認めるときは、部会に専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

3 会議は、公開とする。ただし、出席した者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

〔秘密の保持〕

第6条 部会委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

〔補 則〕

第7条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附 則

この要綱は、平成12年12月6日から施行する。

4 沖縄県平和祈念資料館資料貸出要項

(目的)

第1条 この要項は、沖縄県平和祈念資料館（以下「当館」という。）の所蔵する資料の館外貸出しを許可するにあたって必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要項において、資料とは、沖縄戦実物資料、沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル、平和のウムイ地域版セット、平和学習キット、映像資料をいう。各資料の内容については次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料とは、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（以下「規則」という。）第22条で定める資料であり、実物資料20種類をいう。
- (2) 沖縄戦写真パネルとは、沖縄戦時に撮影された写真の複製パネルをいう。
- (3) 沖縄戦の絵パネルとは、日本放送協会から寄贈された沖縄戦体験者が描いた絵の複製パネルをいう。
- (4) 児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネルとは、当館が毎年主催している児童・生徒の平和メッセージ展の作文、詩及び図画部門において最優秀賞及び優秀賞として入賞した作品をいう。
- (5) 世界人権宣言絵画パネルとは、当館が制作した世界人権宣言に関する絵画パネルをいう。
- (6) 平和のウムイ地域版セットとは、「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」により制作したDVD及びパネル、証言集をいう。
- (7) 平和学習キットとは、学校等で活用される平和学習の教材としての貸出キットの複製資料及びパネル、絵本、紙芝居をいう。
- (8) 映像資料とは、当館が制作した沖縄戦体験者証言映像などが収められた記録媒体をいう。

(貸出許可の申請)

第3条 資料の館外貸出しの許可を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、資料貸出申請書（第1号様式）により、沖縄県平和祈念資料館長（以下「館長」という。）に申請しなければならない。

- 2 申請者は、貸出日の2週間前までに資料貸出申請書を提出しなければならない。
- 3 申請者は、申請の際に身元確実な保証人がいなければならない。ただし、申請者が地方公共団体等の代表者である場合にはその限りではない。

(貸出の許可)

第4条 資料の館外貸出しは、当館が適切と認める公共団体及び任意団体が、沖縄戦の実相又は教訓を伝え、平和の発信に資する学習又は展示活動等で使用することに対して許可する。

- 2 映像資料については、沖縄戦に関する学習を目的に申請する場合は、個人に対しても許可することができる。

(許可証の交付)

第5条 館長は、資料の館外貸出しを許可した場合は、資料貸出許可証（第2号様式）を交付するものとする。

(貸出期間)

第6条 館外への貸出期間は、平和のウムイ地域版セット及び平和学習キット、映像資料については最長で2週間、それ以外については最長で1ヶ月とする。ただし、館長が必要であると判断した場合はその限りではない。

(貸出数量)

第7条 一度の申請において、貸出し可能な数量は次の各号に定める。

- (1) 沖縄戦実物資料、沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネルについては、20点以内とする。
- (2) 平和のウムイ地域版セット及び平和学習キットについては、2セット以内とする。
- (3) 映像資料については、5本以内とする。

(費用負担)

第8条 資料の貸出し及び返却に要する費用は、全て申請者がこれを負担する。

(貸出資料の保管及び禁止事項等)

第9条 第4条の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）が、責任をもって保管しなければならない。

- 2 利用者は、貸出資料を貸出申請理由以外の目的で使用してはならない。
- 3 利用者は、貸出資料を他人に譲渡し、又は貸与してはならない。
- 4 利用者は、貸出資料を複製し、又は原形に変更を加えてはならない。
- 5 利用者は、貸出資料を滅失し、又は著しく汚損し、若しくはき損した場合は、これを原形に復し、又は相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。

(貸出資料の返還)

第10条 利用者は、貸出資料を貸出期限内に返還しなければならない。

- 2 貸出資料は、当館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。
- 3 利用者は、前2項の規定により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。
- 4 利用者は、貸出資料を期限内に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。
- 5 利用者が貸出資料を返還する際の輸送方法は、原則として、専門的技量を有する輸送業者扱いとしなければならない。

(報告書の提出について)

第11条 利用者は、貸出資料の利用状況について、資料返還後6箇月以内に資料利用状況報告書（第3号様式）を提出しなければならない。ただし、映像資料についてはその限りではない。

(許可の取り消し)

第12条 館長は、利用者がこの要項に違反したとき、または許可証に付した条件に違反したときには許可を取り消すことができる。この場合において、許可の取消しにより生じた損害については、沖縄県及び当館はその責を負わない。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和2年8月3日から施行する。

附 則

この要項は、令和5年9月21日から施行する。

附 則

この要項は、令和7年4月9日から施行する。

附 則

この要項は、令和7年5月23日から施行する。

第1号様式

資料貸出申請書（実物資料を除く）

年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

申 請 者

住 所 : 〒

団 体 名 :

役職・氏名 :

電 話 番 号 :

(担当者氏名 :)

保 証 人

住 所 :

氏 名 :

電 話 番 号 :

沖縄県平和祈念資料館の資料について、貸出しを申請します。

種 別	
数 量	
名 称	
用 途	
期 間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
申 請 理 由	

(裏面)

貸 出 申 請 資 料 明 細

()

No.	種 別	名 称	数量	備 考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合 計		

第2号様式

資料貸出許可証（実物資料を除く）

沖 平 第 号
年 月 日

殿

沖縄県平和祈念資料館長
(公印省略)

年 月 日付けで資料貸出申請のあった資料について、条件を付して許可します。

種 別	
数 量	
名 称	
用 途	
貸 出 期 間	年 月 日 から 年 月 日 まで
貸 出 条 件	1 貸出資料は、利用者が責任をもって保管しなければならない。 2 利用者は、貸出資料を貸出申請理由以外の目的で使用してはならない。 3 利用者は、貸出資料を他人に譲渡し、又は貸与してはならない。 4 利用者は、貸出資料を複製し、又は原形に変更を加えてはならない。 5 利用者は、貸出資料を滅失し、又は著しく汚損し、若しくはき損した場合は、これを原形に復し、又は相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。 6 利用者は、貸出資料を貸出期限内に返還しなければならない。 7 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。 8 利用者は、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。 9 利用者は、貸出資料を期限内に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。 10 利用者が貸出資料を返還する際の輸送方法は、原則として、専門的技量を有する輸送業者扱いとしなければならない。 11 利用者は、貸出資料の利用状況について、資料返還後6箇月以内に資料利用状況報告書（第3号様式）を提出しなければならない。ただし、映像資料についてはその限りではない。

(裏面)

貸 出 許 可 資 料 明 細

()

No.	種 別	名 称	数量	備 考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合 計		

第3号様式

資料利用状況報告書

年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所 : 〒

団 体 名 :

役職・氏名 :

電 話 番 号 :

担当者氏名 :

借用した資料の利用状況について、次のとおり報告します。

利 用 目 的 (行事名等)			
借 用 期 間	年 月 日 から 年 月 日 まで		
利 用 場 所		利用者数 (参観者数)	
資 料 種 別 及 び 数 量			
利 用 状 況 及 び 感 想			

利用状況写真、参考資料などがあれば添付し、資料返還時または返還後6箇月以内にメール、ファックス、郵送等で送付してください。

5 沖縄県平和祈念資料館保管資料の特別利用許可要項

(趣旨)

第1条 この要項は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則第22条に基づき、沖縄県平和祈念資料館（以下「資料館」という。）が保管する展示物、一次資料及び一次資料を媒体変換した資料（以下「資料」という。）の特別利用に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要項における資料の特別利用とは次の各号に掲げることをいう。

- (1) 閲覧
 - (2) 撮影
 - (3) 計測及び撮影による複製品の制作
 - (4) 印刷物及び電子媒体への掲載
 - (5) 各種放映媒体（テレビ、ラジオ、動画配信サービス等）への放映
 - (6) その他、劇場及び展示施設等における朗読及び掲示等
- 2 資料館が権利を有している電子データ資料及び資料館の事業成果物の電子データについては前項と同様の取り扱いとする。ただし、次の各号に掲げる場合は、その限りでない。
- (1) 国及び地方公共団体が主催する催事等における平和発信を目的とした利用
 - (2) 博物館、図書館及び学校が主催する催事等における平和発信を目的とした利用
 - (3) 国内マスメディアにおける報道及び平和発信を目的とした利用

(許可の基準)

第3条 資料館長（以下「館長」という。）は、沖縄戦の実相を伝え、平和の構築に資する使用であると認めた場合において資料の特別利用を許可する。

- 2 次の各号に掲げる事項にあたる場合は許可しない。
- (1) 資料の保存上、悪影響が生じると認められる場合
 - (2) 公序良俗に反する用途に供されると認められる場合
 - (3) 資料のうち、ほかに権利を有する者があるものについて、事前に書面による同意を得ていない場合
 - (4) 過去に目的外使用の事実又は許可条件に違反した事実があると認められる場合
 - (5) 資料に個人の秘密等の情報が含まれ、その保護措置が困難と認められる場合
 - (6) その他、資料館の設立理念と合致しないなど許可することが適当でないと認められる場合

(申請)

第4条 資料の特別利用の許可を希望する者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館保管資料等の特別利用許可申請書（第1号様式）に事業の趣旨や主体者、事業内容を記載した企画書等を添付して特別利用開始14日前までに、館長に申請しなければならない。ただし申請期日については館長が特に認める場合において、この限りではない。

- 2 前項の申請書は、郵送、ファクシミリ及び電子メールにより提出することができる。郵送による申請の場合、返信用封筒（切手貼付）を添えて申請すること。

(審査及び決定)

第5条 前条の規定による申請があった場合、館長は次の各号に掲げる事項について、審査し、許可するかどうかを決定しなければならない。

- (1) 事業の趣旨及び内容
- (2) 事業の主体者
- (3) 事業計画
- (4) その他必要な事項

(許可書の交付)

第6条 館長は、資料の利用等を許可する決定を行ったときは、申請者に対し沖縄県平和祈念資料館保管資料等の特別利用許可書（第2号様式）を交付するものとする。

2 館長は、必要と認められる場合は、許可書に条件を付することができる。

(所蔵元の明示)

第7条 申請者は資料の特別利用時に、「沖縄県平和祈念資料館所蔵」と明示しなければならない。

(報告書の提出)

第8条 申請者は資料の特別利用の完了後、速やかに特別利用状況報告書（第3号様式）に成果品を添えて、資料館に提出しなければならない。

(費用の負担)

第9条 資料の特別利用に要する費用は、申請者が全てこれを負担する。

(禁止事項)

第10条 資料の利用等の許可を受けた者は次の各号に掲げる事項をしてはならない。

- (1) 特別利用の許可を得た用途以外の利用をすること。
- (2) 特別利用の許可を得た資料を転貸すること。
- (3) 資料の表現、意匠その他の現状を変更すること。

(許可の取り消し)

第11条 館長は、資料の利用等の許可を受けた者がこの要項に違反したとき、または許可書に付した条件に違反したときには許可を取り消すことができる。この場合において、許可の取り消しにより生じた損害については、沖縄県及び資料館はその責を負わない。

附則

この要項は平成29年4月1日から施行する。

附則

この要項は令和7年7月7日から施行する。

保管資料の特別利用許可申請書

年 月 日

沖縄県平和祈念資料館館長 殿

申請者 代表者名：
団体名：
(担当者名：)
住 所：
TEL：
FAX：
Email：

下記により保管資料の特別利用を許可くださるようお願いします。申請にあたっては、沖縄県平和祈念資料館保管資料の特別利用許可要項の規定を遵守し、著作権等貴館の権利を侵害するような行為を行わないことを誓約いたします。

記

- 1 目的
- 2 資料名
- 3 用途 (撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載)
- 4 利益発生の有無 有 ・ 無
- 5 添付書類 (企画書等、事業の内容がわかるもの)
- 6 提供成果品

〈注意事項〉

- * 申請の際には利用開始14日間前までに申請すること。(FAX・メール・郵送)
- * 郵送による申請の場合、返信用封筒(切手貼付)を添えて申請すること。

保管資料の特別利用許可書

沖 平 第 号
年 月 日

殿

沖縄県平和祈念資料館
館 長

年 月 日付けで申請のあった保管資料の特別利用について、下記のとおり許可します。

記

1 資料名

2 用途 （撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載）

3 提供成果品

* 許可条件

- ①上記の目的以外に使用しないこと。
- ②資料を利用する際「沖縄県平和祈念資料館所蔵」と明示すること。
- ③詩や絵画については作品オリジナルの表現を変更しないこと。
- ④写真データ等を使用した場合、特別利用の完了後、すみやかにデータを消去すること。
- ⑤使用目的完了後はすみやかに成果品及び「特別利用状況報告書」を提出すること。
- ⑥資料に記載されている情報のうち個人情報の保護に十分に配慮し、違法または人権を侵害すると判断される場合には文書内容をそのまま公にしないこと。
- ⑦資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
- ⑧前項に違反した行為があったときは、許可を取り消すことがある。この場合、許可の取り消しにより生じた損害については、沖縄県及び資料館はその責を負わない。

特別利用状況報告書

年 月 日

沖縄県平和祈念資料館館長 殿

申請者 代表者名：
団体名：
(担当者名：)
住 所：
TEL：
FAX：
Email：

年 月 日付け沖平第 号で許可された保管資料の使用状況について、
下記のとおり報告いたします。

記

1 目 的

2 資料名

3 用 途 (撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載)

4 完了日

5 提供成果品

〈備 考〉

- ①利用の際を記録した写真や新聞記事、参考資料等があれば添付すること。
- ②写真データ等を使用した場合、利用の完了後、すみやかにデータを消去すること。
- ③資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。

6 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会設置要綱

(設置)

第1条 沖縄県平和祈念資料館（八重山平和祈念館を含む。以下「資料館」という。）の展示更新を推進するため、沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について、検討を行う。

- (1) 展示更新基本構想・基本計画策定に関すること。
- (2) 展示更新基本設計・実施設計に関すること。
- (3) 展示更新に係る監修に関すること。
- (4) その他資料館に関すること。

(構成)

第3条 委員会の委員は、有識者等から知事が依頼する。

(任期)

第4条 委員会の委員の任期は、令和8年3月31日までとする。ただし、再任を妨げない。

(会長等)

第5条 委員会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員のうちから互選する。
- 3 会長は、会務を総括し、委員会を代表する。
- 4 会長は、展示更新に係る事項について総括し、沖縄県及び関係者と必要に応じ調整する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、会長が招集する。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。
- 3 会議の公開又は非公開の決定は委員会で審議し決定する。
- 4 会議の議事概要は、自由闊達な議論を妨げない範囲内において、公表する。

(部会)

第7条 委員会の任務を円滑に推進するために、別表の部会を設置する。

- 2 部会に、部会長を置く。
- 3 部会長は、会長があらかじめ指名する。
- 4 部会長は、部会を招集し、部会の検討の状況及び結果をとりまとめ、委員会に報告するものとする。

(秘密の保持)

第9条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は、沖縄県知事公室平和祈念資料館において処理する。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関する必要な事項は、会長が定める。

附 則

この要綱は、令和7年4月1日から施行する。

別表（第7条関係）

部会名
① 戦前・戦中時代部会
② 戦後時代部会
③ 平和の発信・学習部会
④ 八重山平和祈念館部会
⑤ 展示検討専門部会

X Ⅲ 沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

年度別	有 料 観 覧								無 料 観 覧 者	観 覧 者 数	開 館 日 数	一 日 平 均 観 覧 者 数	備 考	
	観 覧 料 種 別				出 身 別									計
	大人個人 (%)	大人団体 (%)	小人個人 (%)	小人団体 (%)	県内	県外	外国							
昭和50年度	13,784 (75)	2,025 (11)	1,759 (9)	900 (5)						18,468	248	74		
51年度	9,520 (53)	4,200 (23)	963 (5)	3,408 (19)						18,091	306	59		
52年度	10,480 (54)	4,264 (22)	818 (4)	3,932 (20)						19,494	307	72		
53年度	14,022 (40)	4,855 (14)	1,877 (5)	14,097 (41)						34,851	220	158		
54年度	22,288 (41)	6,307 (12)	3,600 (7)	21,513 (40)						53,708	305	176		
55年度	20,727 (39)	5,830 (11)	3,109 (6)	23,762 (44)	3,506	22,746	176			53,428	307	174		
56年度	20,215 (34)	5,985 (10)	3,367 (6)	29,211 (50)	33,671	24,797	310		1,786	58,778	304	199		
57年度	26,357 (36)	7,077 (10)	4,243 (6)	34,584 (48)	33,709	38,030	522		1,385	72,261	307	240		
58年度	26,359 (35)	8,051 (11)	4,827 (6)	36,272 (48)	34,795	40,029	685		1,981	75,509	307	252		
59年度	27,265 (34)	9,203 (11)	3,932 (5)	39,791 (50)	32,646	46,335	1,210		2,876	80,191	255	326		
60年度	29,888 (31)	13,263 (14)	4,701 (5)	49,073 (50)	34,993	60,371	1,561		2,698	96,925	306	326		
61年度	27,529 (27)	13,364 (13)	4,629 (5)	54,622 (55)	34,783	63,581	1,780		2,429	100,144	306	335		
62年度	40,566 (34)	14,395 (12)	5,441 (5)	57,976 (49)	33,298	83,019	2,061		4,875	118,378	306	403		
63年度	45,058 (34)	16,719 (13)	5,557 (4)	63,910 (49)	32,819	95,473	2,952		3,342	131,244	306	440		
平成元年度	35,325 (31)	14,477 (12)	7,016 (6)	59,363 (51)	27,941	84,600	3,640		5,663	116,181	307	397		
2 年度	29,514 (29)	12,281 (12)	5,950 (6)	52,511 (52)	22,855	74,010	3,391		18,362	100,256	306	388		
3 年度	26,687 (30)	11,246 (13)	5,279 (6)	45,409 (51)	20,182	64,938	3,501		8,893	88,621	305	320		
4 年度	26,500 (32)	9,778 (12)	5,661 (7)	40,021 (49)	17,197	61,011	3,752		10,930	81,960	307	303		
5 年度	22,667 (28)	11,191 (14)	5,683 (7)	41,461 (51)	15,272	62,130	3,600		4,045	81,002	310	274		
6 年度	18,056 (23)	9,161 (12)	4,563 (6)	48,084 (60)	13,551	62,528	3,785		2,970	79,864	310	267		
7 年度	70,319 (45)	16,676 (11)	13,837 (9)	53,282 (35)	45,214	104,854	4,046		7,647	154,114	308	525		
8 年度	59,643 (39)	16,393 (11)	11,056 (7)	64,840 (43)	26,540	121,886	3,506		5,593	151,932	311	507		
9 年度	62,485 (35)	13,247 (8)	10,137 (6)	91,099 (55)	20,128	153,889	2,951		6,940	176,968	310	593		
10年度	58,196 (35)	10,647 (6)	10,426 (6)	89,965 (53)	15,211	151,195	2,828		4,945	169,234	312	558		
11年度	59,654 (34)	8,367 (4)	9,952 (6)	97,464 (56)	12,128	160,724	2,585		4,810	175,437	295	611		
2,307,039										104,723	2,411,762			



平和祈念ホールの緞帳「アリア沖縄」(8.0 m× 4.5 m)

沖縄を中心にした世界地図（上下が逆になっており、沖縄とアジアの国の位置関係が一目でわかる）

沖縄戦の実相にふれるたびに

戦争というものは

これほど残酷で、これほど汚辱にまみれたものはない
と思うのです

この なまなましい体験の前では

いかなる人でも

戦争を肯定し美化することは、できないはずだ

戦争をおこすのは たしかに 人間です

しかし それ以上に

戦争を許さない奴力ができるのも
私たち 人間 ではないでしょうか

戦後このかた 私たちは

あらゆる戦争を増み

平和な島を建設せねば、と思いつけてきました

これが

あまりにも大きすぎた代償を払って得た
ゆずることのできない

私たちの信条なのです

(沖縄県平和祈念資料館 展示むすびのことば)

沖縄県平和祈念資料館年報 第26号

令和8(2026)年8月

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の 1

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947

URL <http://www.peace-museum.okinawa.jp/>

E-mail webmaster@peace-museum.okinawa.jp



日本平和博物館会議
ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE

八重山平和祈念館(分館)

住所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町 79 番地の 3

TEL / FAX 0980-88-6161

E-mail yaeyamaheiba-mararia@basil.ocn.ne.jp

印刷：有限会社 サン・エス

住所：〒901-1113 沖縄県南風原町字喜屋武380-1

TEL 098-889-7421 FAX 098-888-4383

平和祈念公園案内図

Peace Memorial Park Guide Map



沖繩県平和祈念資料館
OKINAWA PREFECTURAL PEACE MEMORIAL MUSEUM
 〒901-0333 沖縄県糸満市字厚文に 614-1 電話 098-997-3844 FAX 098-997-3947

公益財団法人 沖繩県平和祈念財団
OKINAWA PREFECTURAL PEACE MEMORIAL FOUNDATION
 〒901-0333 沖縄県糸満市字厚文に 444 電話 098-997-2765 FAX 098-997-2767

公益財団法人 沖繩協会 沖繩平和祈念堂
THE OKINAWA FOUNDATION THE OKINAWA PEACE HALL
 〒901-0333 沖縄県糸満市字厚文に 448-2 電話 098-997-3011 FAX 098-997-2678